

静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会
(令和4年度 第3回)

次 第

日 時 令和4年10月24日(月)午前10時00分から
場 所 レイアアップ御幸町ビル 5D会議室

1 開 会

2 第2回の振り返り

(1) 第2回検討会の意見と対応

資料-1

参考資料-1

3 議 題

(1) 候補地の抽出と評価について

資料-2

(2) 市民・利用者等アンケート結果について

資料-3

4 そ の 他

5 閉 会

静岡県サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会

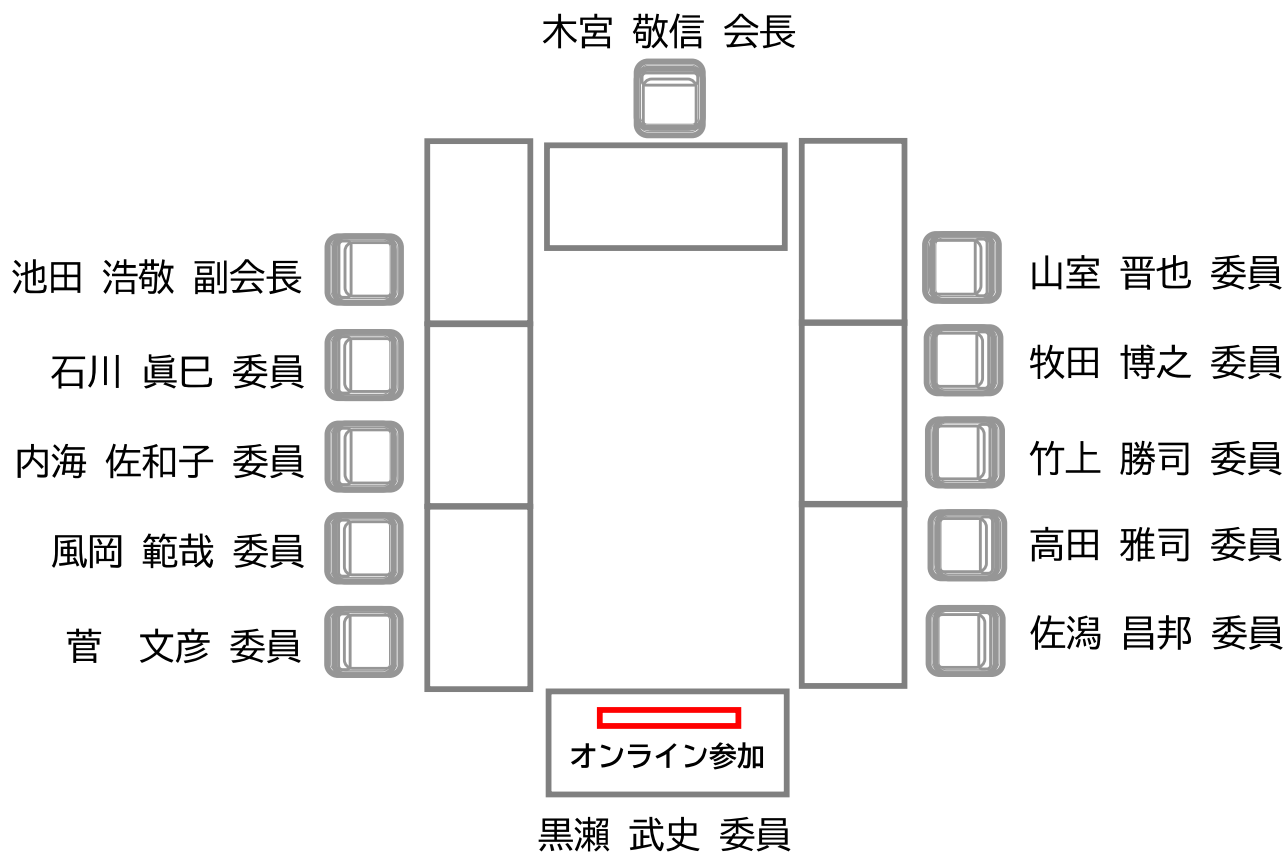
※敬称略、50音順

所属、役職等	氏名	備考
常葉大学 社会環境学部 環境学科 教授	池田 浩敬	副会長
静岡商工会議所 専務理事	石川 眞巳	
静岡県立大学 経営情報学部 経営情報学科 教授	内海 佐和子	
市民委員	風岡 範哉	
株式会社日本政策投資銀行 地域調査部 課長	桂田 隆行	
大阪成蹊大学 経営学部 スポーツマネジメント学科 准教授	菅 文彦	
常葉大学 教育学部 生涯学習学科 教授	木宮 敬信	会長
九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授	黒瀬 武史	
市民委員	佐潟 昌邦	
公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ） クラブ経営本部 クラブライセンス事務局 スタジアム推進役	佐藤 仁司	
静岡市サッカー協会 副会長	高田 雅司	
市民委員	竹上 勝司	
静岡市サッカー協会 会長	牧田 博之	
株式会社エスパルス 代表取締役社長	山室 晋也	

第3回 静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会 座席表

日時：令和4年10月24日（月）
10：00～

場所：レイアアップ御幸町ビル 5D会議室



事務局席				おざ-バー (静岡県)	
司会進行					
企画課 渡邊	企画課 久野井補佐	企画課 鈴木課長	松浦 企画局長	経営管理部 池ヶ谷理事	交通基盤部 森本理事
企画課 乗松	山田 企画局 次長	スポーツ 振興課 谷川課長	スポーツ 振興課	スポーツ 交流課 長澤課長	スポーツ 交流課
					港湾企画課 北川課長

調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

第2回 検討会の意見と対応

No	意見	委員名	当日の対応	対応
1	サンガスタジアムは関係者用の駐車場のみが含まれて3.5haとなっており、観客用の駐車スペースとして面積を確保する必要があると考える。スタジアムに加えて、十分な駐車スペースを確保できる土地を要件にする必要はないか。 JR清水駅東口にあるエネオスが所有しているタンクは使っているのか。	竹上委員	立地によって、中心となる交通手段は異なる。まずは最低限のスタジアム規模を3.5ha以上と設定し、駐車スペース等の付帯施設に関する面積は今後の評価項目として検討していきたい。正確な情報ではないが、東口のタンクは現在使われていないと聞いている。	東口のタンクは使われていないことを確認した。
2	資料2の最終ページに評価イメージの記載があるが、「○」の数を単純に合算するものではなく、「○」の中にも優先順位があると考え。また「△」があった場合はどう解消していくかも含めて議論できると良い。	黒瀬委員	検討会での意見を踏まえて、総合的に評価していく考えである。	「△」があった場合の解消については、今後検討していく。
3	「×」がついたとしてもお金をかければ解決するケースもあると考える。コストという評価基準は必要なのではないか。 例えば、地盤が悪くても膨大なコストをかければ立地出来てしまう。コスト抜きで候補地選定した場合、ほとんどの候補地が「不可能ではない立地」になってしまうのではないかと心配である。	池田委員	今年度の主となる目的は、有力な候補地を決めることであり、次年度以降の詳細な調査に繋げていくものと考えている。「不可能ではない立地」も含めて候補地として検討していきたい。コストについては、深掘りをしていく際に議論していく。	評価において費用について記載する。
4	建設期間という評価基準も必要ではないか。	牧田委員	候補地を選定していくなかで、ご指摘いただいたコストや期間などの解決しなければならない課題やその解決手段についても整理できればと考えている。	—
5	評価項目は全てで11項目あるが、11項目に加えて総合的な評価も加わるという理解で合っているか。	木宮会長	想定している評価項目として11項目並べているが、この要素に入らないものは留意事項として付記が必要。	—
6	商圏人口の議論も必要だと考える。立地によって大きくマーケットが異なるはずなので、その比較を入れてほしい。	山室委員	周辺の人口についての情報を評価項目内に加える。	評価項目の中に20分圏域(自動車・徒歩)のデータを加える。
7	想定される具体的なニーズや試合以外の用途を考えると、評価項目をみたときに何を重視するか変わる。重みづけ次第で評価の仕方も変わると思われる。	佐潟委員	何を重視するかはアンケートもひとつの参考になると考えている。	—
8	土地の特性について、地質や地盤、土壌汚染についても評価項目に入れてもらいたい。	桂田委員	評価項目に加えられるか検討したい。	地盤や土壌汚染については、調査が必要であるため、今後の検討とする。

No	意見	委員名	当日の対応	対応
9	スタジアムが駅から近ければ駐車場はそれほど広くなくてよいと思うが、そうでないなら駐車場は必要になると考える。 周辺に商業施設がある立地ならスタジアム単体で問題ないが、商業施設含めた複合施設にするのであれば3.5haでは厳しいように感じる。	風岡委員	駐車場の広さはおよそ1ha程度。スタジアムの土地以外で民間の貸し駐車場もある。スタジアムの土地にある700台の駐車場では現状足りていないという認識である。	—
10	今のIAIスタジアムの駐車場は700台とあるが、700台だと広さはどの程度になるか。また、現状では700台程度の駐車場で足りているのか。	木宮会長		
11	まちづくりという側面では、スタジアム周辺の活性化として大型商業施設の誘致が考えられるが、大型商業施設を誘致したときに既存の商店街が衰退する可能性がある。どのような方法でスタジアム周辺を活性化させていくのかも議論できるとよい。	竹上委員	引き続き検討会の中で議論できると良い。	—
12	スタジアムの規模についてどのタイミングで議論するのか。例えば今後の議論で、ワールドカップにも対応できるスタジアムが必要となった場合、検討する必要面積が変わる可能性もある。後からより大きなスタジアムが必要となる可能性もでてくると、後戻りしてしまう。そうならないためにも先に早い時期に規模を決められると良い。 サッカー協会の立場から申し上げますと、数年来、国際大会規模のスタジアムの建設を行政にお願いしている。天皇杯の準々決勝以上になるとエスパルスが勝ち上がったとしてもIAIスタジアムで出来ず、A代表の試合も出来ない。モチベーションにも影響する。 サッカー界では、ワールドカップを静岡でやりたいという要望は前回2002年大会以前から強いものがある。アジアで開催される2034年大会でワールドカップの日本招致が実現した場合、新スタジアムが候補地になれば、静岡県では開催できる会場が無くなってしまいます。規模については然るべきタイミングで十分に議論してもらいたい。	牧田委員	3.5haしかない土地ではご指摘された面積の問題は出てくる。ただ最低水準として3.5haと考えているため、それ以上の面積の候補地も検討に入る 今回は3.5ha以上を要件として定めているが、規模についてはいずれ議論していく必要がある。	—
13	スタジアムの稼働率が低いという状況もあり、まちづくりの観点で利用者がスタジアム以外でどこに寄っているのか、何にお金を使っているのかなど行動を聞く設問があると良い。	内海委員	—	スタジアムに来る前と試合終了後に行った(行く予定)場所に関する質問を追加
14	スタジアムの複合化はサッカー以外での消費を促すこととなる。行政として大きな投資をする以上、投資効率という点において、分散するのではなく一か所に施設をまとめて、多くの人々がワンストップに楽しめる施設になると良い。	山室委員	まだ、スタジアムの整備主体が決まっていない。そのため、どのような機能を持たせるかについても、今後決まってくるものではあるが、設問6(サッカースタジアムの周辺施設)で確認する。	—
15	設問6(サッカースタジアムの周辺施設)の選択肢にはもう少し詳しい情報を加えてほしい。例えば公共施設が何を指しているかわかりづらい。各項目の具体例が示されると良い。	木宮会長	—	他のスタジアムの事例を参考に設問6の選択肢を修正

No	意見	委員名	当日の対応	対応
16	利用者アンケートについては全国の様々なスタジアムに行った経験があるサポーターのような方に実施するのがより良い情報を得られる。 複合施設や周辺のまちづくりについて議論があったが、最終的には事業者が判断するものである。スタジアムの建設についても事業者と連携するのであれば事業者の意向も重要である。そのため、現時点では規模も含め決めすぎない方が良く考える。	黒瀬委員	事業主体や事業手法は様々な情報を整理しながら今後詰めていく。黒瀬委員の発言にもあったが、現段階で詳細は決めない方向で考えたい。	—
17	アウェーの観戦頻度を確認する設問があって良い。 また、今の IAI スタジアムにおける消費額は今後も新しいスタジアムにおける経済波及効果を検討するうえで重要な情報となる。	菅委員	—	アンケートにアウェーの観戦頻度に関する項目を追加。
18	市民アンケートにおける設問4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカーに関心がない人、スタジアムに行ったことがない人は回答しづらいと考えられる。サッカーに関心がない人が回答しやすいよう、サッカースタジアムにどのような機能を望んでいるのかなど、まちづくりの観点から質問するべきではないか。	佐藤委員	サッカーに興味関心がない方にとって、スタジアムに何を期待するのかという質問は難しくなってしまうのではないかと心配している。候補地が決まってからでも良いのか、現段階から聞いた方が良いのか悩ましい。	—
19	ミクニワールドスタジアム北九州では、サッカースタジアムに来る頻度の質問をすることで、サッカーに関心がない人がスタジアムにどのような機能を求めるのかという意見を抽出することができた。 スタジアムを活かしたまちづくりを検討する会議であるため、関心がない人が求める機能がどのようなものなのか質問してみてもいいかもしれない。	桂田委員		—
20	自由記載も賛成だが、サッカー愛好者以外の方にも意見を貰える質問にしなければいけない。	佐藤委員	サッカースタジアムの必要性に関しては、今のスタジアムが様々な課題を抱えていることから検討が始まっているものであり、ゼロからイチを生み出すというものではない。今のスタジアムの改修も含め検討していくというものだと考える。	各委員に相談のうえ、アンケートを修正し実施。
21	自由記述でも回答方式でも良いので、興味関心が薄い方がスタジアムにどんな機能があると良いと考えているのかという質問はあってもいい。	桂田委員	サッカーに関心がない人の意見も重要だと考えている。質問項目については頂いたご意見をもとにまた相談させていただきたい。	
22	設問4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカースタジアムの建設ありきのような設問にも見えるので、「仮に新しいサッカースタジアムが出来るとしたら」といった枕詞を入れ、サッカー以外でどのような機能があると良いか質問してはどうか。	菅委員		
23	設問4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカーに関心がない方が、優先順位をつけるのは難しいと考える。例えば、それぞれを1点～5点で評価するというやり方もある。	木宮会長	—	設問4の回答方法を優先順位ではなく5段階評価に修正。

令和4年度 第2回 静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会
会議録

- 1 日 時 令和4年8月2日(火) 午後2時00分から午後3時40分まで
- 2 場 所 レイアップビル御幸町 5D会議室
- 3 出席者 (委員) 木宮会長、池田副会長、石川委員、内海委員、
風岡委員、桂田委員、菅委員、黒瀬委員、佐潟委員、
佐藤委員、竹上委員、牧田委員、山室委員
(欠席:高田委員)
- (事務局) 松浦企画局長、
鈴木企画課長、久野井課長補佐、乗松副主幹、渡邊主査
谷川スポーツ振興課長、田村係長
長澤スポーツ交流課長
- 4 傍聴者 8人
- 5 議 題 (1)立地検討にあたっての要件及び評価について
(2)市民・利用者アンケート(案)について
- 6 会議内容
- (1) 開 会
- 【事務局(鈴木課長)】
- ・開会
 - ・高田委員はご欠席のご連絡を頂いている。
- 【木宮会長】
- ・限られた時間ではあるが、活発にご議論いただきたい。
- (2) 第1回の振り返り
- 【事務局(久野井補佐)】
- ・第1回検討会の意見と対応について説明(資料1)

【木宮会長】

- ・議題ではないが、前回会議のフォローアップとして説明いただいた。質問はあるか。

【委員】

- ・(質問なし)

(3) 議題

(3)-1 立地検討にあたっての要件及び評価について

【事務局（久野井補佐）】

- ・立地検討にあたっての要件及び評価について説明（資料2、参考資料2）

【木宮会長】

- ・最低限のスタジアム規模としてサンガスタジアムと同水準の3.5ha以上のスタジアムを作りたい、という認識。

【竹上委員】

- ・サンガスタジアムは関係者用の駐車場のみが含まれて3.5haとなっており、観客用の駐車スペースとして面積を確保する必要があると考える。スタジアムに加えて、十分な駐車スペースを確保できる土地を要件にする必要はないか。
- ・JR清水駅東口にあるエネオスが所有しているタンクは使っているのか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・立地によって、中心となる交通手段は異なる。まずは最低限のスタジアム規模を3.5ha以上と設定し、駐車スペース等の付帯施設に関する面積は今後の評価項目として検討していきたい。
- ・正確な情報ではないが、東口のタンクは現在使われていないと聞いている。

【木宮会長】

- ・サンガスタジアムの3.3haの土地には関係者用の73台分の駐車場しかなく、観客用の駐車場は含まれていない。3.5haというのはあくまでもスタジアムの最低基準として、3.5ha以上の面積を検討したい。

【桂田委員】

- ・Jリーグのスタジアム基準として、「中心市街地から概ね20分以内で到着できること」「交流人口の多い施設に隣接していること」とあるが、あくまでも推奨で、必須条件ではないという理解で正しいか。

【佐藤委員】

- ・理想のスタジアムとして示しているものであるため必須条件ではないが、現状ではアクセスに難があるスタジアムが多いため、このように記載している。

【黒瀬委員】

- ・資料2の最終ページに評価イメージの記載があるが、○の数を単純に合算するものではなく、○の中にも優先順位があると考え。また△があった場合はどう解消していくかも含めて議論できると良い。

【事務局（久野井補佐）】

- ・ご発言いただいた通り、検討会での意見を踏まえて、総合的に評価していく考えである。

【池田委員】

- ・×がついたとしてもお金をかければ解決するケースもあると考える。コストという評価基準は必要なのではないか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・今年度の主となる目的は、有力な候補地を決めることであり、次年度以降の詳細な調査に繋げていくものと考えている。「不可能ではない立地」も含めて候補地として検討していきたい。

【池田委員】

- ・例えば、地盤が悪くても膨大なコストをかければ立地出来てしまう。コスト抜きで候補地選定した場合、ほとんどの候補地が「不可能ではない立地」になってしまうのではないかと心配である。

【事務局（久野井補佐）】

- ・今年度の目的は候補地を決めきるというわけではなく、深掘りをするための有力な候補地を決めることである。コストについては、深掘りをしていく際に議論していく。

【牧田委員】

- ・建設期間という評価基準も必要でないか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・候補地を選定していくなかで、ご指摘いただいたコストや期間などの解決しなければならぬ課題やその解決手段についても整理できればと考えている。

【木宮会長】

- ・評価項目は全てで11項目あるが、11項目に加えて総合的な評価も加わるという理解で合っているか。

【事務局（鈴木課長）】

- ・想定している評価項目として11項目並べているが、この要素に入らないものは留意事項として付記が必要。

【佐藤委員】

- ・本検討会の名称は「サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」であるため、サッカースタジアムをどうするかではなく、サッカースタジアムをどうまちづくりに活かしていくかという視点を忘れてはならない。地域課題をどう解決していくかも議論すべき。
- ・なお、本件で参考にしてしているサンガスタジアムは元々別の場所に計画していたものを自然保護の観点で場所を移した経緯がある。狭い土地に元の設計を活かしたこともあり、コンコースが狭すぎるといった意見もある。一方、駅からは非常に近く、観客用の駐車場を確保しなくても問題ないのは評価できるポイントである。

【木宮会長】

- ・候補地選定の一つの条件としてまちづくりの視点を入れていくのは重要である。

【山室委員】

- ・商圏人口の議論も必要だと考える。立地によって大きくマーケットが異なるはずなので、その比較を入れてほしい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・承知した。周辺の人口についての情報を評価項目内に加える。

【佐潟委員】

- ・想定される具体的なニーズや試合以外の用途を考えると、評価項目をみたときに何を重視するか変わる。重みづけ次第で評価の仕方も変わると思われる。

【事務局（久野井補佐）】

- ・何を重視するかはアンケートもひとつの参考になると考えている。

【木宮会長】

- ・アンケートで重視すべき項目が明確になる。今は具体的な候補地が出ていないため、議論しづらい部分もあるが、最低限の要件を満たした候補地がいくつか出てくれば、重みづけも含めた議論も出来るようになる。

【桂田委員】

- ・土地の特性について、地質や地盤、土壤汚染についても評価項目に入れてもらいたい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・承知した。評価項目として検討したい。

【風岡委員】

- ・スタジアムが駅から近ければ駐車場はそれほど広くなくてよいと思うが、そうでないなら駐車場は必要になると考える。
- ・周辺に商業施設がある立地ならスタジアム単体で問題ないが、商業施設含めた複合施設にするのであれば3.5haでは厳しいように感じる。

【木宮会長】

- ・今のIAIスタジアムの駐車場は700台とあるが、700台だと広さはどの程度になるか。また、現状では700台程度の駐車場で足りているのか。

【事務局（渡邊主査）】

- ・駐車場の広さはおよそ1ha程度。スタジアムの土地以外で民間の貸し駐車場もある。スタジアムの土地にある700台の駐車場では現状足りていないという認識である。

【山室委員】

- ・700台では非常に不足していると考え。関係者だけで半分は使うことになる。シャトルバスを停める場所も含めて全く足りていない状況である。

【木宮会長】

- ・今のIAIスタジアムのような公共交通からのアクセスが不十分な立地だと、駐車場としてさらに数haの土地があると望ましいということになる。立地次第だが、最終的には広ければ広いほどいいというのは間違いない。

【石川委員】

- ・公共交通機関と自家用車のどちらを重視するか考えると、今後10年先を考えると環境への配慮という視点は重要と考える。その観点では公共交通機関を重視してもらいたい。

【竹上委員】

- ・まちづくりという側面では、スタジアム周辺の活性化として大型商業施設の誘致が考えられるが、大型商業施設を誘致したときに既存の商店街が衰退する可能性がある。どのような方法でスタジアム周辺を活性化させていくのかも議論できるとよい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・引き続き検討会の中で合わせて議論できると良い。

【牧田委員】

- ・スタジアムの規模についてどのタイミングで議論するのか。例えば今後の議論で、ワールドカップにも対応できるスタジアムが必要となった場合、検討する必要面積が変わる可能性もある。

【事務局（久野井補佐）】

- ・3.5haしかない土地ではご指摘された面積の問題は出てくる。ただ最低水準として3.5haと考えているため、それ以上の面積の候補地も検討に入る。

【牧田委員】

- ・後からより大きなスタジアムが必要となる可能性もでてくると、後戻りしてしまう。そうならないためにも先に早い時期に規模を決められると良い。
- ・サッカー協会の立場から申し上げますと、数年来、国際大会規模のスタジアムの建設を行政にお願いしている。天皇杯の準々決勝以上になるとエスパルスが勝ち上がったとしてもIAIスタジアムで出来ず、A代表の試合も出来ない。モチベーションにも影響する。
- ・サッカー界では、ワールドカップを静岡でやりたいという要望は前回2002年大会以前から強いものがある。アジアで開催される2034年大会でワールドカップの日本招致が実現した場合、新スタジアムが候補地になれなければ、静岡県では開催できる会場が無くなってしまう。規模については然るべきタイミングで十分に議論してもらいたい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・今回は3.5ha以上を要件として定めているが、規模についてはいずれ議論していく必要がある。

【木宮会長】

- ・クラス S のスタジアムを否定しているものではない。4 万人規模なら 10ha 程度の土地が必要であり、その規模の土地が静岡市内にあれば候補地として検討する。
- ・そもそも土地がなければ、現実的にスタジアムは立てられないため、候補地を見ながら議論をすることになる。

(3)-2 市民・利用者アンケートについて

【事務局（久野井補佐）】

- ・市民・利用者等アンケートについて説明（資料 3）

【内海委員】

- ・スタジアムの稼働率が低いという状況もあり、まちづくりの観点で利用者がスタジアム以外でどこに寄っているのか、何にお金を使っているのかなど行動を聞く設問があると良い。

【山室委員】

- ・スタジアムの複合化はサッカー以外での消費を促すこととなる。行政として大きな投資をする以上、投資効率という点において、分散するのではなく一か所に施設をまとめて、多くの人がワンストップに楽しめる施設になると良い。

【木宮会長】

- ・現状はスタジアムに注目した設問が中心になっているが、周辺のまちづくりに関しての設問を追加いただけると委員会でも議論がしやすくなる。

【事務局（久野井補佐）】

- ・まだ、スタジアムの整備主体が決まっていない。そのため、どのような機能を持たせるかについても、今後決まっていくものではあるが、設問 6（サッカースタジアムの周辺施設）で確認する。

【木宮会長】

- ・設問 6（サッカースタジアムの周辺施設）の選択肢にはもう少し詳しい情報を加えてほしい。例えば公共施設が何を指しているかわかりづらい。各項目の具体例が示されると良い。

【黒瀬委員】

- ・利用者アンケートについては全国の様々なスタジアムに行った経験があるサポーターのような方に実施するのがより良い情報を得られる。
- ・複合施設や周辺のまちづくりについて議論があったが、最終的には事業者が判断するものである。スタジアムの建設についても事業者と連携するのであれば事業者の意向も重要である。そのため、現時点では規模も含め決めすぎない方が良く考える。

【事務局（久野井補佐）】

- ・事業主体や事業手法は様々な情報を整理しながら今後詰めていく。黒瀬委員の発言にもあったが、現段階で詳細は決めない方向で考えたい。

【菅委員】

- ・アウェーの観戦頻度を確認する設問があって良い。
- ・また、今の IAI スタジアムにおける消費額は今後も新しいスタジアムにおける経済波及効果を検討するうえで重要な情報となる。

【木宮会長】

- ・今までの議論を踏まえてアンケートを修正し、再度委員の方々とやり取りをして最終版を作成するという流れで問題ないか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・問題ない

【佐藤委員】

- ・過去 30 年間における IAI スタジアムでの Jリーグ公式試合への来場者数は延べ 681 万人、静岡市民ひとり 10 回相当にものぼるため、利用者アンケートは十分意義があるものだと思う。
- ・市民アンケートにおける設問 4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカーに関心がない人、スタジアムに行ったことがない人は回答しづらいと考えられる。サッカーに関心がない人が回答しやすいよう、サッカースタジアムにどのような機能を望んでいるのかなど、まちづくりの観点から質問するべきではないか。

【桂田委員】

- ・ミクニワールドスタジアム北九州では、サッカースタジアムに来る頻度の質問をすることで、サッカーに関心がない人がスタジアムにどのような機能を求めるのかという意見を抽出することができた。
- ・スタジアムを活かしたまちづくりを検討する会議であるため、関心がない人が求める機能がどのようなものなのか質問してみてもいいかもしれない。

【事務局（久野井補佐）】

- ・サッカーに興味関心が無い方にとって、スタジアムに何を期待するのかという質問は難しくなってしまうのではないかと心配している。候補地が決まってからでも良いのか、現段階から聞いた方が良いのか悩ましい。

【佐藤委員】

- ・自由記載も賛成だが、サッカー愛好者以外の方にも意見を貰える質問にしなければいけない。

【桂田委員】

- ・北九州市のアンケートの時は、サッカーファンは臨場感やスタジアムがまちのシンボルになることを重視していたが、興味関心が無い市民からは、観光のシンボルになって欲しい。サッカー以外のコンサートなどにも使えると良いという意見を貰えた。ので、サッカースタジアムが必要かどうかという質問は無くても良いと考えるが、自由記述でも回答方式でも良いので、興味関心が薄い方がスタジアムにどんな機能があると良いと考えているのかという質問はあってもいい。

【菅委員】

- ・新たなサッカースタジアムが必要かどうかという質問をするという考え方もあるが、一人一人がイメージするサッカースタジアムが異なり、それによって回答も大きく変わるので、ミスリードになりかねない怖さがある。
- ・設問4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカースタジアムの建設ありきのような設問にも見えるので、「仮に新しいサッカースタジアムが出来るとしたら」といった枕詞を入れ、サッカー以外でどのような機能があると良いか質問してはどうか。

【事務局（鈴木課長）】

- ・サッカースタジアムの必要性に関しては、今のスタジアムが様々な課題を抱えていることから検討が始まっているものであり、ゼロからイチを生み出すというものではない。今のスタジアムの改修も含め検討していくというものだと考える。
- ・サッカーに関心がない人の意見も重要だと考えている。質問項目については頂いたご意見をもとにまた相談させていただきたい。

【木宮会長】

- ・設問4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカーに関心が無い方が、優先順位をつけるのは難しいと考える。例えば、それぞれを1点～5点で評価するというやり方もある。

【佐潟委員】

- ・利用者アンケート設問7（おすすめのスタジアムとその理由）について、何を重視したおすすめなのかわかりづらい。またこの形式だと1つのスタジアムしか書かれないのでは。
- ・8月20日と8月27日に開催される試合で利用者アンケートを実施することだが、両チームとも日帰りか宿泊かを選べる距離なので試合前後の行動を把握するという観点では非常に良いと思う。

【風岡委員】

- ・利用者アンケート設問7（おすすめのスタジアムとその理由）について、本来は良くない部分も聞いた方がいいのかもしれないが、本項目はあくまでも参考情報と認識している。

【事務局（久野井補佐）】

- ・認識の通り、本設問は参考情報の位置づけである。今後の検討で必要になれば具体的に調査していく。

【木宮会長】

- ・アンケートについては本日の議論も踏まえて検討いただく。実施に向けて最終版を作成いただきたい。

(4) その他

【事務局（久野井補佐）】

- ・第3回検討委員会については10月3日、第4回検討委員会については10月下旬に実施予定である。追って日程調整のご連絡をする。

(5) 閉会

【事務局（鈴木課長）】

- ・閉会

以上

(署名) 会長 木宮 敬信

候補地の抽出と評価について

1 今年度の検討の進め方（確認）

第1回 検討会資料

※現段階の概ねのスケジュールなので、検討内容、開催時期などは検討状況によっては変更となる場合があります。

検討の流れ	
第1回	検討委員会の進め方、スタジアムの現状把握
6月21日	
1 今年度の検討の進め方 2 IAIスタジアム日本平の現状と課題 3 アンケート（案）	↓
第2回	前提条件の整理
8月2日	
1 スタジアム整備に関する要件整理 2 評価項目の考え方（立地・まちづくりの展開の可能性など）	↓
第3回	候補地複数案提案
10月24日	
1 スタジアム整備候補地の提案 2 候補地の比較検討① 3 アンケート結果の報告	↓
第4回	候補地複数案評価
11月下旬	
1 候補地の比較検討② 2 最有力候補地の選出	↓
【パブリックコメント】	パブリックコメント
第5回	
2月上旬頃	
1 パブリックコメントを踏まえた委員会意見とりまとめ（最有力候補地の選出） 2 今後の進め方	とりまとめ
	次年度以降の検討

令和4年度

1 検討委員会の進め方

- ・今年度の検討の進め方について
- ・IAIスタジアム日本平の現状把握について
- ・市民、利用者アンケートについて

2 スタジアム検討の要件整理

- ・IAIスタジアム日本平の検討や候補地検討にあたっての整理（規模など）
- ・整備候補地の評価項目について

<p>IAIスタジアム日本平の改修</p> <p>3-1 求められる対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の整備、観客席の改修 ・コンコースや物販スペース拡大 など 	<p>移転整備</p> <p>3-2 候補地の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積 ・アクセシビリティ ・周辺発展可能性 ・法的規制 ・災害リスク など
現スタジアム改修及び候補地案の評価	

市民意見聴取

とりまとめ

2 候補地の抽出基準

現在の I A I スタジアム日本平の収容人数2万人を基準に、サンガスタジアム by KYOCERA（収容人数21,600人）の敷地面積約3.3haを参考とし、静岡市内から以下の条件で抽出する。

ただし、山間部の市有林を大規模造成するなど現実的でない土地は除く。

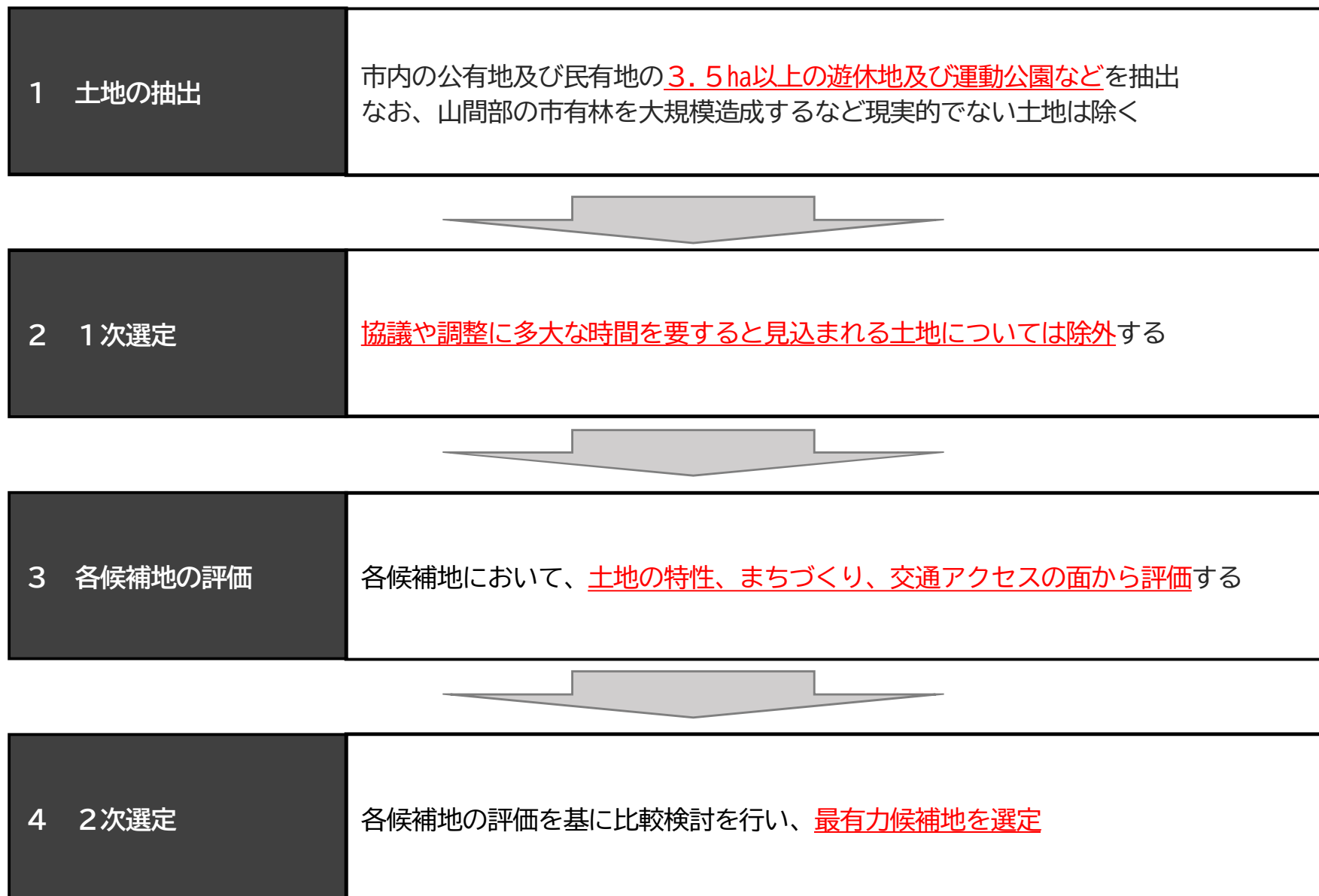
- ・ **公有地及び民有地：3.5ha以上の遊休地及び運動公園 など**

図表 スタジアム規模（サンガスタジアム by KYOCERA）



出典：地図データ©2022 Google

3 候補地の選定のフロー



4 基準に基づき抽出した土地

	土地	敷地面積	管理者	土地の所有者	土地利用
①	現スタジアムの改修 (現スタジアム敷地)	約16ha (2.3ha)	市	市	市街化調整区域 都市公園
②	草薙総合運動場	約24ha	県	県	第一種中高層住居専用地域 都市公園
③	J R清水駅東口 ENEOS株式会社 清水製油所跡地	約20haの 内の一部	民間	民間	工業専用地域 臨港地区
④	西ヶ谷総合運動場	約12.3ha	市 (借地)	民間	市街化調整区域
⑤	貝島スポーツ広場	約6.1ha	市 (借地)	民間	工業専用地域 臨港地区
⑥	清水ナショナル トレーニングセンター	約4.7ha	市	市	都市計画区域外 (一部市街化調整区域)

※ ②以降は敷地面積の大きさ順

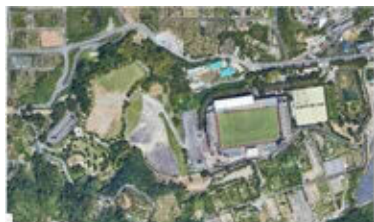
5 抽出した土地の位置と主要交通機関



西ヶ谷総合運動場



草薙総合運動場



IAIスタジアム日本平



清水ナショナル
トレーニングセンター



J R清水駅東口
ENEOS株式会社
清水製油所跡地






貝島スポーツ広場




- 東名高速道路及び新東名高速道路
- 東海道新幹線及びJ R東海道線
- 静岡鉄道

全ての地図データの出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics

6 抽出した土地の状況

	候補地	面積	所有者	土地の形状など	関係法令	都市計画	災害リスク
①	I A I スタジアム日本平（改修） 	約16ha (現スタジアム敷地2.3ha)	市	南北での整備は難しい	市街化調整区域 ・建ぺい率 60% ・容積率 200% 都市公園（建ぺい率12%） 第1種風致地区 日影規制	都市計画マスタープラン ：自然調和ゾーン 立地適正化計画：区域外	土砂災害：一部警戒区域 津波：なし 液状化：－（不明） 大雨浸水：なし
<ul style="list-style-type: none"> 傾斜地に位置することから屋根を掛ける場合や規模を拡張する場合には造成が必要となる可能性が高い。 スタジアムの公園の北西の一部が土砂災害警戒区域となっている。 							
②	草薙総合運動場 	約24ha	県	南北での整備可能	第一種中高層住居専用地域 ・建ぺい率 40% ・容積率 100% 高度地区（2種） 都市公園（建ぺい率12%） 日影規制	都市計画マスタープラン ：ゆとりある市街地ゾーン 立地適正化計画：利便性の高い市街地形成区域	土砂災害：なし 津波：なし 液状化：可能性大 大雨浸水：あり（一部）
<ul style="list-style-type: none"> 現陸上競技場及び球技場（芝グラウンド）を改修した新スタジアムが想定されるが、すでに建ぺい率の上限近くまでスポーツ施設が整備されていることから、既存施設の改修や新たな土地取得が必要となる。（×） サッカー専用スタジアムとなることから、陸上トラックなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。（×） 							
③	J R 清水駅東口 E N E O S 株式会社 清水製油所跡地 	約20haの内の一部	民間	南北での整備可能	工業専用地域 ・建ぺい率 60% ・容積率 200% 臨港地区 ガス事業法 石油コンビナート等災害防止法 土壤汚染対策法	都市計画マスタープラン ：ゆとりある市街地ゾーン（都市拠点に隣接） 立地適正化計画：ゆとりある市街地形成区域	土砂災害：なし 津波：津波浸水想定区域（東側一部を除く） 液状化：可能性大 大雨浸水：なし
<ul style="list-style-type: none"> 当該地区は、（一社）清水みなとまちづくり公民連携協議会で示された「清水駅東口・江尻地区ガイドプラン」において、「シティ・イノベーション」（立地と交通に恵まれた遊休地等の活用により市民文化と次世代エネルギー技術が融合して、清水の新たな魅力を生み出す）とされている。 津波浸水想定区域であることや液状化が想定される地区であることから、これらに対応するための費用が必要となる可能性がある。 使用されていないタンクが存在しており、整備にあたっては撤去が必要となる。また、製油所跡地であるため、土壌汚染については調査する必要がある。 ENEOS株式会社は、当地区で「次世代型エネルギー供給プラットフォームの構築」するとしており、「再生可能エネルギー由来電力およびグリーン水素の利活用促進につながり、地域との相乗効果生まれる取組を静岡県、静岡市と連携し、脱炭素社会の実現に貢献する地域づくりを推進する。」としている。このため、当該敷地内での開発にあたっては、敷地全体で次世代エネルギーの需要を創出する機能や施設を配置した複合的な土地開発を視野に検討を行っている。 							

※災害リスクについては静岡市防災情報マップ参照

	候補地	面積	所有者	形状	関係法令	都市計画	災害リスク
④	西ヶ谷総合運動場 	約12.3ha (陸上競技場 約3ha)	民間	南北での 整備は難しい	市街化調整区域 ・建ぺい率 60% ・容積率 200% 日影規制	都市計画マスタープラン ：自然調和ゾーン 立地適正化計画：区域外	土砂災害：土砂災害警戒区域 (急傾斜地)一部あり 津波：なし 液状化：可能性小 大雨浸水：なし
		○	△	△	△	△	△
<ul style="list-style-type: none"> 既存の陸上競技場を改修した新スタジアム整備が想定されるが、新スタジアムの整備にあたっては、既存施設の改修、新たな土地取得が必要となる。 サッカー専用スタジアムとなることから、陸上トラックなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。(×) 							
⑤	貝島スポーツ広場 	約6.1ha	民間	南北での 整備可能	工業専用地域 ・建ぺい率 60% ・容積率 200% 臨港地区	都市計画マスタープラン ：ゆとりある市街地ゾーン 立地適正化計画：ゆとり ある市街地形成区域	土砂災害：なし 津波：津波浸水想定区域 液状化：－(不明) その他：なし
		○	△	○	△	△	△
<ul style="list-style-type: none"> 現在、野球やソフトボール(計4面)で利用されていることから、新スタジアムの整備にあたっては現機能の移転代替整備が必要となる。(△) 津波浸水想定区域であることから、津波対策などに対応する費用が必要となる可能性がある。 清水港港湾計画で臨港道路が計画されているため調整が必要となる。 							
⑥	清水ナショナルトレーニング センター 	約4.7ha	市	南北での 整備は難しい	都市計画区域外 (一部市街化調整区域)	都市計画マスタープラン： 都市計画区域外(一部自 然調和ゾーン) 立地適正化計画：区域外	土砂災害：なし 津波：なし 液状化：－(不明) 大雨浸水：なし
		○	○	△	△	△	○
<ul style="list-style-type: none"> 現在のグラウンド形状はスタジアムの形状に適合しないことから、新スタジアムの整備にあたっては既存施設を解体、撤去し、新たに整備することとなる。 現トレーニングセンター機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。(×) 							

7 一次選定の結果

抽出された土地のうち、

② 草薙総合運動場、④ 西ヶ谷総合運動場、⑥ 清水ナショナルトレーニングセンターについては、協議や調整に多大な時間を要すると見込まれる土地であるため、候補地から除外する。

土地	敷地面積	管理者	土地所有者	土地利用	理由
① 現スタジアムの改修 (現スタジアム敷地)	約16ha (2.3ha)	市	市	市街化調整区域 (都市公園内)	—
② 草薙総合運動場	約24ha	県	県	第一種中高層 住居専用地域 (都市公園内)	<ul style="list-style-type: none"> すでに建ぺい率の上限近くまでスポーツ施設が整備されていることから、既存施設の改修や新たな土地取得が必要となる。 サッカー専用スタジアムとなることから、陸上トラックなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。
③ J R清水駅東口 ENEOS株式会社 清水製油所跡地	約20haの 内の一部	民間	民間	工業専用地域 臨港地区	—
④ 西ヶ谷総合運動場	約12.3ha	市 (借地)	民間	市街化調整区域	<ul style="list-style-type: none"> サッカー専用スタジアムとなることから、陸上トラックなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。
⑤ 貝島スポーツ広場	約6.1ha	市 (借地)	民間	工業専用地域 臨港地区	—
⑥ 清水ナショナル トレーニングセンター	約4.7ha	市	市	都市計画区域外 (一部市街化調整区域)	<ul style="list-style-type: none"> 現トレーニングセンターなど、現機能の移転代替を行うためには、大規模な整備が必要となる。

8 候補地の評価基準

【第2回検討委員会を踏まえて】

- ・交通アクセスの項目① 公共交通でのアクセスに「候補地まで20分以内にアクセスできる人口」を追加する。
- ・各項目ごとの重要性が異なることから総合評価を追加し、費用の課題についても記載する。

視点		評価方法
1 土地の 特性	① 保有状況	■ 市有地か、又は国・県の公有地や企業・個人の民間の土地であるか
	② 土地の形状	■ フィールドを南北方向に設置できるか(※スタジアム標準)
	③ 関係法令	■ 当該土地に関する法令の位置付けはどうなっているか (都市計画法、建築基準法、港湾法、埋蔵文化財法など)
	④ 都市計画	■ 都市マスタープランや立地適正化計画との関係性はどうか
	⑤ 災害リスク	■ 土砂災害(特別)警戒区、津波浸水想定区域、大雨や高潮による浸水想定区域であるか
2 まち づくり	① 周辺の活性化	■ 中心市街地や大型商業施設や商店街等と近接しているか
	② 周辺開発の可能性	■ スタジアムに必要な面積以外に活用できる余剰地があるか
	③ 周辺環境への影響	■ 影響を与える住宅地や事業所等はあるか(騒音・振動・渋滞)
3 交通 アクセ ス	① 公共交通でのアクセス	■ 静岡市内の主要最寄り駅から、候補地までの所要時間 ■ 候補地まで20分以内にアクセスできる人口(自動車、公共交通(電車)、徒歩)
	② 自家用車でのアクセス	■ 市内からアクセスしやすいか(主要幹線道路からのアクセス性) ■ 市外・県外からアクセスしやすいか(高速道路ICからのアクセス性)
	③ 周辺道路	■ 周辺道路は整備されているか(自動車及び歩行者動線)
総合評価		

9 一次選定後の候補地一覧（案）

候補地		敷地面積	管理者	土地の所有者	土地利用
①	現スタジアムの改修 (現スタジアム敷地)	約16ha (2.3ha)	市	市	市街化調整区域
②	J R清水駅東口 ENEOS株式会社 清水製油所跡地	約20haの 内の一部	民間	民間	工業専用地域 臨港地区
③	貝島スポーツ広場	約6.1ha	市 (借地)	民間	工業専用地域 臨港地区

10 一次選定後の候補地の分布



J R清水駅東口
ENEOS株式会社
清水製油所跡地



貝島スポーツ広場



IAIスタジアム日本平

- 東名高速道路及び新東名高速道路
- 東海道新幹線及びJ R東海道線
- 静岡鉄道

全ての地図データの出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics

11-1 各候補地の評価①：現スタジアムの改修（IAIスタジアム日本平）



出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics



出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics, Data Japan Hydrographic Association

基礎情報/評価項目		内容	評価
所在地		静岡県静岡市清水区村松3880-1	—
敷地面積		約16ha（現スタジアム敷地2.3ha）	—
1 土地 の 特 性	① 保有状況	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地であるため整備が可能。 ・現スタジアムは土地を造成し整備しているため、大規模改修時には更なる造成が必要となる可能性がある。
	② 土地の形状	東西方向であれば建設可能	<ul style="list-style-type: none"> ・現スタジアムを改修する場合は現状のまま東西方向となる。
	③ 関係法令	市街化調整区域（建ぺい率 60%、容積率 200%） 都市公園内、第1種風致地区、日影規制あり	<ul style="list-style-type: none"> ・風致地区、都市公園内であることから、緑化率、建ぺい率、高さ制限がある。
	④ 都市計画	都市マスタープラン：自然調和ゾーン 立地適正化計画：区域外	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域（市街化を抑制すべき地域）であり、立地適正化計画区域外であるため、都市計画への適合性は低い。
	⑤ 災害リスク	土砂災害：なし（敷地内の一部のみ警戒区域） 津波：なし 液状化：—（不明） その他：なし	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の北西の一部に土砂災害警戒区域があるが、現位置で改修する場合には支障はない。

基礎情報/評価項目		内容	評価
2 まちづくり	① 周辺の活性化	最寄りの商店街まで 3.3km(次郎長通り商店街) 最寄りの大型商業施設まで 2.1km (ペイドリーム清水)	・商店街や大型商業施設からは距離があり、周辺は住宅地であることから、周辺に対する活性化への寄与は低い。
	② 周辺開発の可能性	スタジアムは都市公園内に立地 周辺は山林と住宅地	・周辺は、山林と住宅地であることから開発の可能性は低い。 ・公園敷地内での開発が想定される。
	③ 周辺環境への影響	最寄りの住宅地までスタジアムから 150m 留意すべき施設までスタジアムから 700m (静岡市立清水病院)	・住宅地に近接していることから、騒音や渋滞対策などが必要である。(現在、Jリーグ開催時には夜9時以降の鳴り物禁止)
3 交通アクセス	① 公共交通でのアクセス	バス：JR清水駅から 27分 (バス停から徒歩10分含む) タクシー：JR清水駅から 13分 徒歩：JR清水駅から 71分 タクシー20分圏内：155,840人 徒歩20分圏内：3,507人	・公共交通での主なアクセス手段はバスであり、鉄道駅であるJR清水駅から27分を要する。 ・スタジアムの最寄りバス停からは坂道で徒歩10分かかる。 ・Jリーグの試合開催時にはシャトルバスの臨時運行を実施している。
	② 自家用車でのアクセス	国道1号長崎IC 6.9km、18分 県道407号(南幹線)から 4.0km、10分 国道150号から 2.0km、5分 東名高速道路 清水ICから 7.7km、20分	・日本平の東側山麓に位置していることから、葵区、駿河区からのアクセスに課題がある。 ・高速道路から20分かかるなど、広域からのアクセスに課題がある。 ・駐車場が不足しているため、自家用車の流入規制、隔地駐車場からのシャトルバス運行などの対策を要する。
	③ 周辺道路	東側：－ 西側：市道幅員約7mに接道 南側：市道幅員約5mに接道 北側：市道幅員約12mに接道(車道7m、歩道2.5m×2)	・東側を除く3面が接道しているが、2車線道路、歩道2.5mであることから、Jリーグ開催時には充足していない。(現在、Jリーグ開催時には、自家用車の乗り入れ制限を実施。)

- ・市有地であるため整備が可能。
- ・現スタジアムに全面屋根を設置するためには造成等が必要となる可能性がある。
(平成24年度のメインスタンドへの屋根設置検討調査では、メインスタンドのみで28~44億円の費用が掛かると算出されている。)
- ・周辺は住宅街であることから、周辺の活性化や開発可能性については限定的である。
- ・駅から離れていること、幹線道路から離れており、周辺道路も脆弱であることから公共交通、自家用車でのアクセスに課題がある。
- ・改修中のJリーグ等の試合の代替地について検討が必要となる。

11-2 各候補地の評価②： J R清水駅東口ENEOS株式会社 清水製油所跡地



出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics



出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics, Data Japan Hydrographic Association

基礎情報/評価項目		内容	評価
所在地		静岡県静岡市清水区袖師町	—
敷地面積		約20haの内の一部	—
1 土地の 特性	① 保有状況	民間（エネオス株式会社）（現況：未利用タンクが立地）	<ul style="list-style-type: none"> 土地の使用にあたっては協議を要する。 使用されていないタンクを撤去する必要がある。
	② 土地の形状	南北方向に建設可能	<ul style="list-style-type: none"> 問題なし
	③ 関係法令	工業専用地域（建ぺい率 60%、容積率 200%） 臨港地区 ガス事業法 石油コンビナート等災害防止法 土壤汚染対策法	<ul style="list-style-type: none"> 現在の土地利用規制では、サッカースタジアムの建設はできない。 LNG基地からの保安距離を確保する必要がある。 製油所跡地であるため土壤汚染の調査をする必要がある。
	④ 都市計画	都市マスタープラン：ゆとりある市街地ゾーン 立地適正化計画：区域外	<ul style="list-style-type: none"> 当該地は、「ゆとりある市街地形成区域」となっており適合性は低い。ただし、J R清水駅周辺は「集約化拠点形成区域」である。
	⑤ 災害リスク	土砂災害：なし 津波：津波浸水深2～3m 液状化：液状化可能性大 その他：なし	<ul style="list-style-type: none"> 津波浸水想定区域に指定されていることや、液状化の可能性も高いことから、これらの対策に費用を要する。

基礎情報/評価項目		内容	評価
2 まちづくり	① 周辺の活性化	最寄りの商店街まで 0.3km (清水駅前銀座商店街など) 最寄りの大型商業施設まで 1.5km イパルストリームプラザ 清水河岸の市 0.2km	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に清水中心市街地や商業施設が存在することから、まちの活性化が期待される。 ・フェリーターミナルの移転が計画されている。
	② 周辺開発の可能性	敷地はスタジアム以上の面積である。	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内での開発の可能性はある。 ・中心市街地への好影響が期待される。
	③ 周辺環境への影響	最寄りの住宅地まで敷地境界から800m 留意すべき施設まで敷地境界から(仮称)さくら病院100m 港湾関連施設及び企業が周辺に立地	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地に近接していることから、マンションも立地しており、隣接地に令和5年度中に(仮称)清水さくら病院の建設が予定されていることから、騒音対策などの検討を要する。 ・交通渋滞対策に検討を要する。
3 交通アクセス	① 公共交通でのアクセス	バス：JR清水駅より 一分 タクシー：JR清水駅より 一分 徒歩：JR清水駅より 3分 電車及び徒歩20分圏：133,012人 タクシー20分圏：231,093人 徒歩20分圏：15,537人	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅に近接していることから、公共交通でのアクセスが良い。一方で、試合終了時の混雑が想定されることから、対策に費用を要する。
	② 自家用車でのアクセス	国道1号(庵原交差点)から 3.2km、7分 国道149号から 0.7km、2分 東名高速道路 清水ICから 3.5km、8分	<ul style="list-style-type: none"> ・主要幹線道路や高速道路からのアクセスが良い。 ・一方で鉄道が南北に運行していることから、東西交通に課題があるため、対策に費用を要する可能性がある。 ・自家用車でのアクセスに対応するため駐車場の整備、アクセス道路の整備、流入規制などの対策を要する。
	③ 周辺道路	東側：－ 西側：臨港道路30.5mに隣接(車道18.5m、歩道8m、3m) 南側：臨港道路16.6mに隣接 北側：－	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設のための道路であることから、交通負荷がかからないような対策を行う必要がある。

- ・民有地であるため、使用にあたっては協議が必要である。
- ・使用されていないタンクの撤去が必要である。また、製油所跡地であるため土壌汚染の調査をする必要がある。
- ・ENEOS株式会社が進める「次世代型エネルギープラットフォーム」の開発コンセプトに沿った開発計画の検討が必要である。
- ・LNG基地からの保安距離を確保する必要がある。
- ・臨港地区であり、工業専用地域あることから、スタジアム整備にあたっては都市計画制度の活用や変更が必要である。
- ・津波浸水想定区域や液状化の可能性が高いため、対応に費用を要する。
- ・JR清水駅に近接していることから、公共交通でのアクセスが良いが、試合終了時の混雑等への対応に費用が必要となる。
- ・敷地はスタジアム以上の面積であることから、開発可能性はあると考えられる。
- ・清水中心市街地や商業施設にも近接していることから、周辺のまちの活性化が期待できる。
- ・近隣で計画される病院への対応、対策を検討する必要がある。
- ・隣接する港湾道路への負荷の軽減を図る必要があることから、対応に費用を要する可能性がある。

11-3 各候補地の評価③：貝島スポーツ広場



出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics



出典：GoogleEarth Image@2022 TerraMetrics, Data Japan Hydrographic Association

基礎情報/評価項目		内容	評価
所在地		静岡市清水区貝島	—
敷地面積		約6.1ha	—
1 土地の 特性	① 保有状況	民間（中部電力株式会社）（現況：野球グラウンド）	・土地の使用にあたっては協議を要する。
	② 土地の形状	南北方向に建設可能	・問題なし
	③ 関係法令	工業専用地域（建ぺい率 60%、容積率 200%） 臨港地区	・現在の土地利用規制では、サッカースタジアムの建設はできない。
	④ 都市計画	都市マスタープラン：ゆとりある市街地ゾーン 立地適正化計画：ゆとりある市街地形成区域	・「ゆとりある市街地ゾーン」に位置しており、都市計画への適合性が低い。しかし、幹線道路沿線は「利便性の高い市街地形成区域」となっている。
	⑤ 災害リスク	土砂災害：なし 津波：津波浸水深2～3m 液状化：—（不明） その他：なし	・津波浸水想定区域に指定されており、液状化の可能性もあることから、対策に費用を要する。

基礎情報/評価項目		内容	評価
2 まちづくり	① 周辺の活性化	最寄りの商店街まで 6.2km (次郎長通り商店街) 最寄りの大型商業施設まで 4.0km (ベイドリーム清水)	・商店街や大型商業施設からは距離があり、周辺は工場用地であることから、周辺に対する活性化への寄与は低い。
	② 周辺開発の可能性	周辺には工場などが立地している。 立地を考慮すると敷地内、敷地周辺への駐車場の設置が必要である。 (一社)清水みなとまちづくり公民連携協議会の「清水みなとまちづくりランドデザイン」において、貝島・塚間地区のリーディングプロジェクトで位置付ける、「海洋研究拠点」に隣接している。	・敷地内での駐車場の整備が想定されるため、開発の可能性は低い。 ・また、周辺は工場が立地しており、開発の可能性は低い。
	③ 周辺環境への影響	最寄りの住宅地まで敷地境界から750m 周辺には工場棟が立地しており、近隣に病院や学校などの施設はない。	・周辺には工場などが立地していることから、騒音等の課題は少ないと考えられる。 ・交通渋滞対策に検討を要する。
3 交通アクセス	① 公共交通でのアクセス	バス：JR清水駅より 39分 (バス停から徒歩 14分含む) タクシー：JR清水駅より 18分 徒歩：JR清水駅より 96分(水上バス利用約50分) 自家用車20分圏内： 51,800人 徒歩20分圏内： 6,683人	・公共交通での時間を要する。 ・日の出地区から水上バスが運航しているが、輸送力に課題がある。また、時間を要する。
	② 自家用車でのアクセス	国道1号庵原交差点から 11.0km、25分 県道407号(南幹線)から 7.2km、18分 国道150号から 3.0km、9分 東名高速道路 清水ICから 11.3km、26分	・国道150号からのアクセスは良いが、国道1号、高速道路からのアクセスには課題がある。 ・地形が半島であるため、半島の入口などでの交通の集中が想定される。 ・自家用車でのアクセスに対応するため駐車場の整備、アクセス道路の整備、流入規制などの対策を要する。
	③ 周辺道路	東側： — 西側： — 南側：市道幅員約10mに接道 北側： —	・周辺道路については車道の拡幅や歩道の設置などの対策を行う必要がある。 ・清水港港湾計画で臨港道路が計画されているため調整が必要になる。

- ・ 民有地であるため、使用にあたっては協議が必要である。
- ・ 臨港地区であり、工業専用地域であることから、スタジアム整備にあたっては都市計画制度の活用や変更が必要である。
- ・ 津波浸水想定区域であるため、対応に費用を要する。
- ・ 周辺の活性化については、商店街や大型商業施設からは距離があり、周辺は工場用地であることから寄与は低い。
- ・ 開発の可能性については、敷地内は駐車場としての活用が想定されるため、開発の可能性は低い。また、周辺は工場が立地しており、開発の可能性は低い。
- ・ 駅から離れていることや半島の地形上の特性から、公共交通、自家用車ともに、アクセスに課題がある。
- ・ 清水港港湾計画で臨港道路が計画されているため調整が必要になる。

12 抽出した候補地の比較

区分		現スタジアムの改修 (IAIスタジアム日本平)	J R清水駅東口 ENEOS株式会社 清水製油所跡地	貝島スポーツ広場			
航空写真							
面積		約16ha (現スタジアム敷地2.3ha)	約20haの内の一部	約6.1ha			
1 土地の 特性	① 保有状況	静岡市	+	民有地 (現況：未利用タンクが立地)	民有地 (現況：野球グラウンド)		
	② 土地の形状	既存のスタジアムを活用するため、 南北方向への建設は困難		南北方向に建設可能	+	南北方向に建設可能	+
	③ 関係法令	市街化調整区域 (建ぺい率 60%、容積率 200%) 都市公園内、第1種風致地区 日影規制	+	工業専用地域 (建ぺい率 60%、容積率 200%) 臨港地区 ガス事業法 石油コンビナート等災害防止法 土壌汚染対策法		工業専用地域 (建ぺい率 60%、容積率 200%) 臨港地区	
	④ 都市計画	都市マスタープラン：自然調和ゾーン 立地適正化計画：区域外		都市マスタープラン：ゆとりある 市街地ゾーン 立地適正化計画：ゆとりある市街地 形成区域		都市マスタープラン：ゆとりある 市街地ゾーン 立地適正化計画：ゆとりある市街地 形成区域	
	⑤ 災害リスク	土砂災害：なし (敷地の一部が土砂災害警戒区域) 津波：なし 液状化：- (不明) その他：なし	+	土砂災害：なし 津波：津波浸水深2～3m 液状化：液状化可能性大 その他：なし		土砂災害：なし 津波：津波浸水深2～3m 液状化：- (不明) その他：なし	

2 まちづくり	① 周辺の活性化	最寄りの商店街まで 次郎長通り商店街 3.3km 最寄りの大型商業施設まで ベイドリーム清水 2.1km		最寄りの商店街まで 清水駅前銀座商店街など 0.3km 最寄りの大型商業施設まで エスパルスドリームプラザ 1.5km 清水河岸の市 0.2km	+	最寄りの商店街まで 次郎長通り商店街 6.2km 最寄りの大型商業施設まで ベイドリーム清水 4.0km	
	② 周辺開発の可能性	スタジアムは都市公園内に立地 周辺は山林と住宅地		敷地はスタジアム以上の面積である ことから、開発可能性はありと考 えられる。 中心市街地への好影響が期待される。	+	立地を考慮すると敷地内、敷地周辺 への駐車場の設置が必要である。 周辺の開発の可能性については、 地権者等の意向を確認していないため、 現時点では判断できない。	
	③ 周辺環境への影響	最寄りの住宅地までスタジアムから 150m 留意すべき施設までスタジアムから 静岡市立清水病院 700m		最寄りの住宅地まで 800m 留意すべき施設まで敷地境界から（仮称） 清水さくら病院 100m 港湾関連施設及び企業が周辺に立地		最寄りの住宅地まで敷地境界から750m 周辺には工場棟が立地しており、近隣に病 院や学校などの施設はない。	
3 交通 アクセス	① 公共交通での アクセス	バ ス：J R清水駅から 27分 （バス停から徒歩10分含む） タクシ-：J R清水駅から 13分 徒 歩：J R清水駅から 71分 タクシ-20分圏内：155,840人 徒 歩20分圏内：3,507人		バ ス：J R清水駅から 一分 タクシ-：J R清水駅から 一分 徒 歩：J R清水駅から 3分 電車及び徒歩20分圏：133,012人 タクシ-20分圏：231,093人 徒 歩20分圏：15,537人	+	バ ス：J R清水駅から 39分 （バス停から徒歩14分含む） タクシ-：J R清水駅から 18分 徒 歩：J R清水駅から 96分 （日の出から水上バス利用約50分） 自家用車20分圏内：51,800人 徒 歩20分圏内：6,683人	
	② 自家用車での アクセス	国道1号長崎IC 6.9km、18分 県道407号(南幹線)から 4.0km、10分 国道150号から 2.0km、5分 東名高速道路 清水ICから 7.7km、20分		国道1号(庵原交差点)から 3.2km、7分 国道149号から 0.7km、2分 東名高速道路 清水ICから 3.5km、8分 ※幹線道路に近いものの、J R東海道線 により東西交通に課題あり		国道1号庵原交差点から 11.0km、25分 県道407号(南幹線)から 7.2km、18分 国道150号から 3.0km、9分 東名高速道路 清水ICから 11.3km、26分	
	③ 周辺道路	東側：－ 西側：市道幅員約7mに接道 南側：市道幅員約5mに接道 北側：市道幅員約12mに接道		東側：－ 西側：臨港道路約30.5mに隣接 南側：臨港道路約17.0mに隣接 北側：－	+	東側：－ 西側：－ 南側：市道幅員約10mに接道 北側：－	
	留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地であるため整備が可能。 ・現スタジアムに全面屋根を設置するためには造成が必要となる可能性がある。 ・周辺は住宅地であるため、周辺の活性化や開発可能性は限定的である。 ・駅や幹線道路から距離があるなど、公共交通や自家用車でのアクセスに課題がある。 ・改修中のJリーグ等の試合の代替地について検討が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地であり、使用にあたっては協議が必要である。 ・使用していないタンクの撤去が必要である。また、製油所跡地であるため土壌汚染の調査が必要である。 ・「次世代型エネルギープラットフォーム」の開発コンセプトに沿った開発計画の検討が必要となる。 ・LNG基地との保安距離を確保する必要がある。 ・臨港地区・工業専用地域であるため、スタジアム整備には都市計画制度の活用や変更が必要となる。 ・津波や液状化の対応に費用を要する可能性がある。 ・公共交通でのアクセスが良いが、試合終了時の混雑等への対応に費用が必要となる。 ・スタジアム以上の敷地面積があるため、開発可能性はありと考えられる。 ・清水中心市街地や商業施設にも近接しているため、周辺のまちの活性化が期待できる。 ・近隣病院等への対応、対策を検討する必要がある。 ・隣接する港湾道路への負荷の軽減を図る必要があり、対応に費用を要する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地であり、使用にあたっては協議が必要である。 ・臨港地区・工業専用地域であるため、スタジアム整備には都市計画制度の活用や変更が必要となる。 ・津波浸水想定区域であり、対策に費用を要する。 ・商店街や大型商業施設からは距離があり、周辺は工場用地であることから、周辺活性化への寄与は低い。 ・敷地内は駐車場としての活用が想定されるため、開発の可能性は低い。また、周辺は工場が立地しており、開発の可能性は低い。 ・駅から離れていることや半島の地形上の特性から、公共交通、自家用車ともに、アクセスに課題がある。 ・清水港港湾計画で臨港道路が計画されているため調整が必要になる。 			

静岡県サッカースタジアムに関する アンケート調査結果

1. 市民アンケート概要

目的・実施日・対象者

■目的

静岡市にとってどういったスタジアムであるべきか、新たなスタジアムへ求める機能等について調査を実施。

■実施日

市民アンケート (WEB、紙) 令和4年8月10日～26日

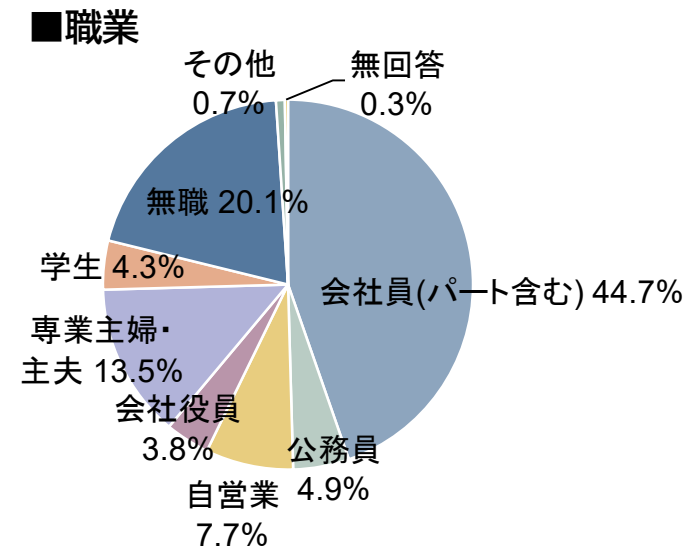
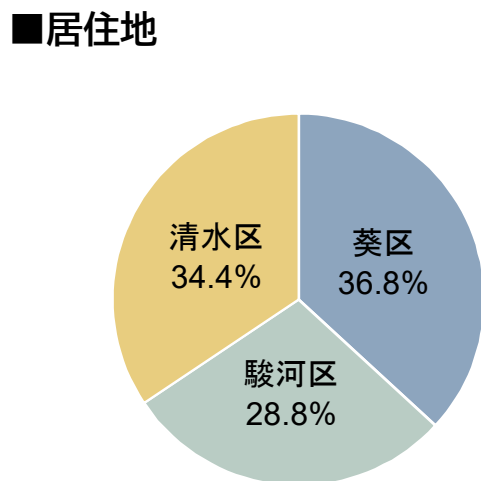
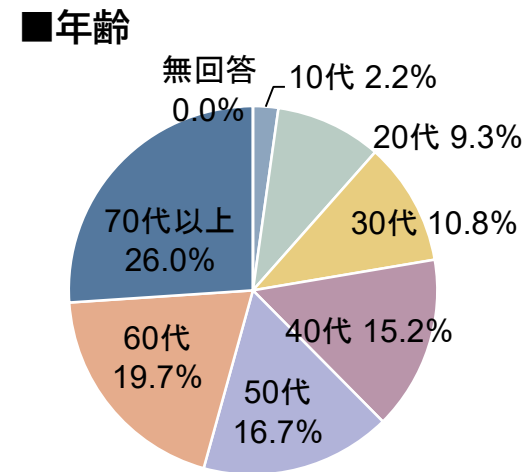
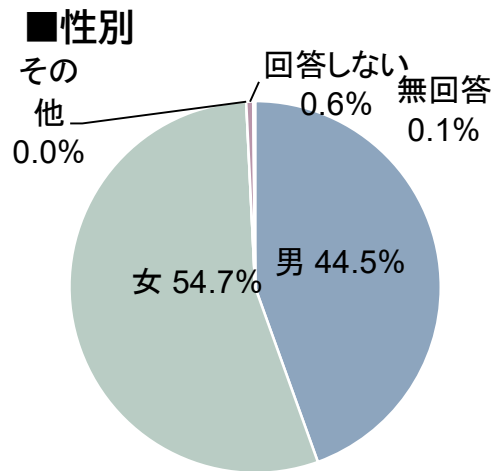
形式	対象者人数	回答者人数
市民アンケート (紙回答+WEB回答)	18歳以上の無作為抽出された 静岡市民 1,500人	676人 (回収率：45.1%)

■アンケート設問

設問No	設問
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	居住地の郵便番号
Q4	職業
Q5	サッカーに関心の有無
Q6	清水エスパルスの試合を I A I スタジアム日本平で観戦経験の有無
Q7	I A I スタジアムには主な交通手段
Q8	I A I スタジアムでの観戦頻度
Q9	観戦したことが無い理由
Q10	新たなサッカースタジアムに期待すること
Q11	その他期待すること
Q12	ご意見・ご要望

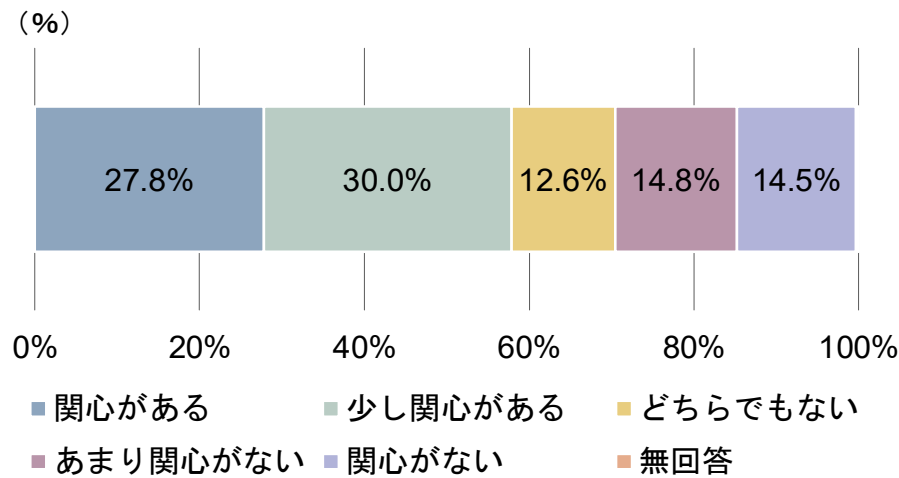
1. 市民アンケート結果

・回答者の性別、年齢、居住地、職業は以下の通り。(設問1.2.3.4) (N-676)



設問5 (SA: 単一回答)

あなたはサッカーに関心がありますか。(n=676)



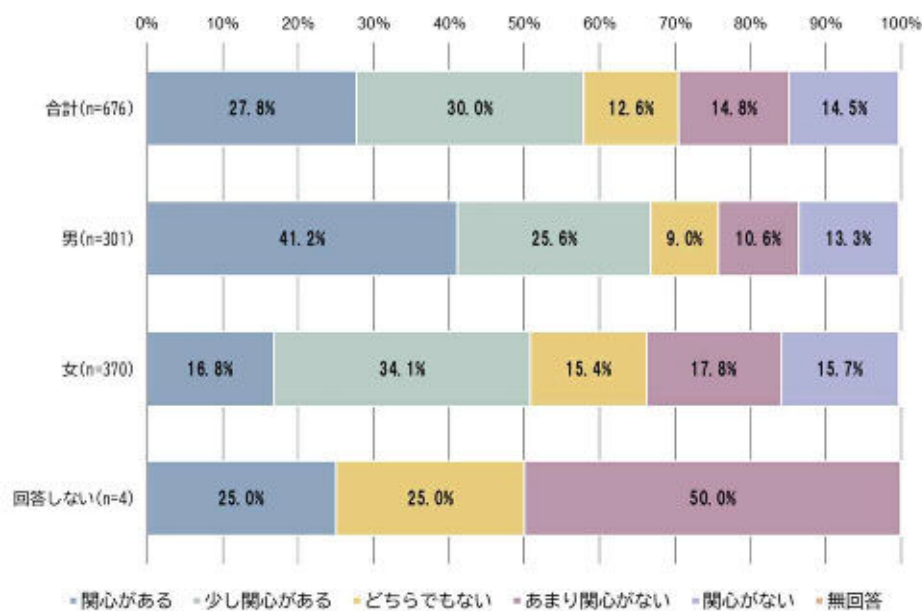
- サッカーに関心がある、少し関心がある人は57.8%と過半数を超える。
- 20代、30代の関心が他の年代よりも比較的低い。

		関心がある	少し関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	関心がない	無回答
全年代	(n=676)	27.8%	30.0%	12.6%	14.8%	14.5%	0.3%
10代 (18歳以上)	(n=15)	33.3%	20.0%	20.0%	13.3%	13.3%	0.0%
20代	(n=63)	25.4%	19.0%	7.9%	23.8%	23.8%	0.0%
30代	(n=73)	26.0%	20.5%	8.2%	17.8%	27.4%	0.0%
40代	(n=103)	29.1%	25.2%	13.6%	18.4%	13.6%	0.0%
50代	(n=113)	34.5%	32.7%	8.8%	13.3%	10.6%	0.0%
60代	(n=133)	24.1%	39.1%	15.8%	9.8%	11.3%	0.0%
70代以上	(n=176)	26.7%	33.0%	14.8%	13.1%	11.4%	1.1%

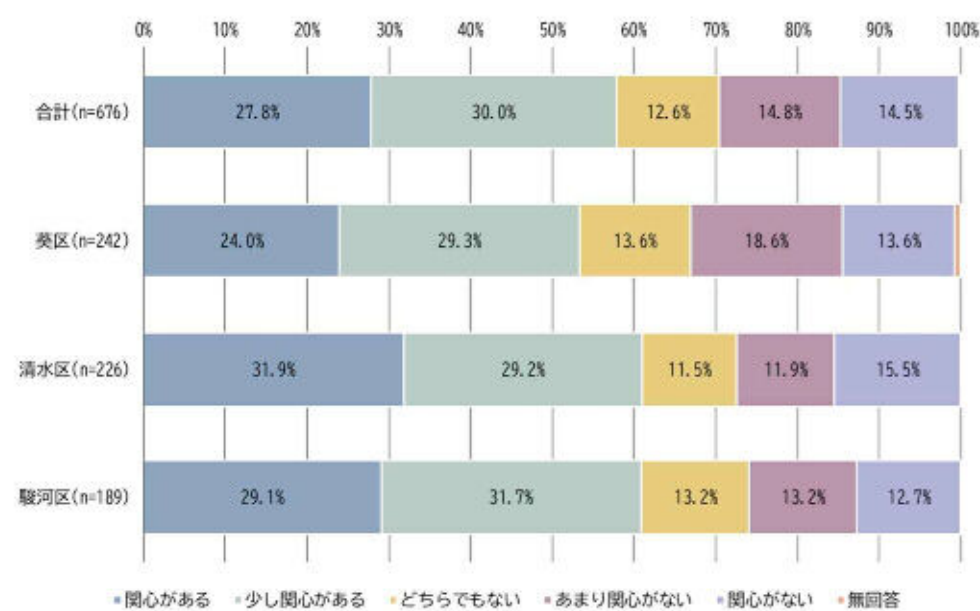
サッカーへの関心のクロス集計

- 女性よりも男性の方がサッカーに関心のある割合が多い。
- 清水区、駿河区に居住する方の関心が高い傾向にある。

性別でのクロス集計

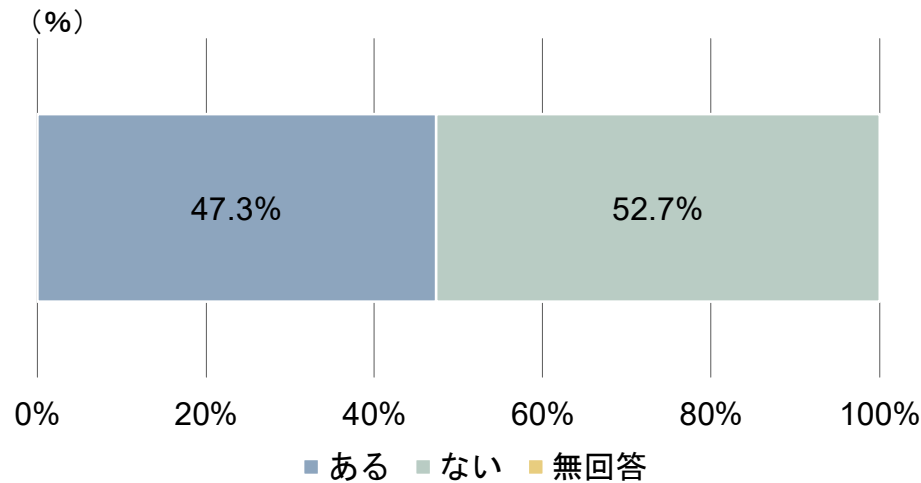


居住地（区）でのクロス集計



設問6 (SA: 単一回答)

あなたは、清水エスパルスの試合をI A Iスタジアム日本平で観戦したことがありますか。(n=676)



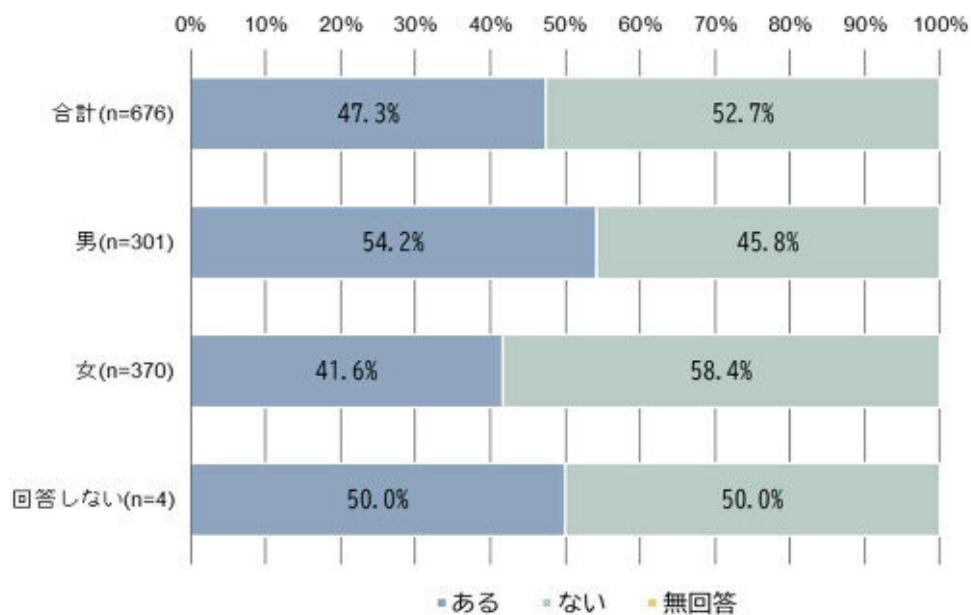
- スタジアムの観戦の有無では、観戦経験がある人が47.3%である。
- 関心がある人は約66%の人が観戦経験があり、関心がない人は約16%の人が観戦経験がある。

		ある	ない	無回答
合計	(n=676)	47.3%	52.7%	0.0%
関心がある	(n=391)	65.7%	34.3%	0.0%
どちらでもない	(n=85)	37.6%	62.4%	0.0%
関心がない	(n=198)	15.7%	84.3%	0.0%

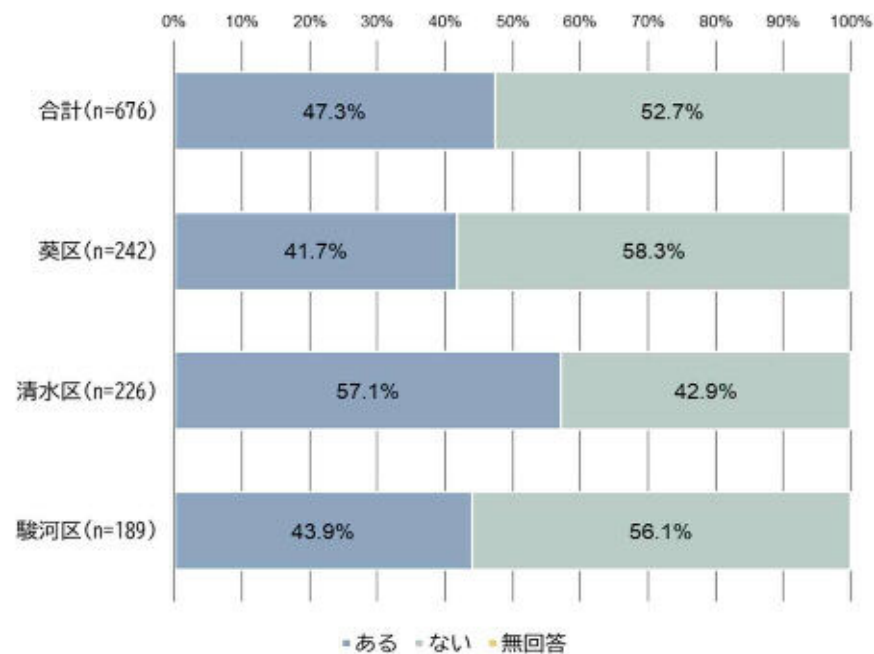
清水エスパルスの試合をIAIスタジアム日本平で観戦したことがあるかのクロス集計

- サッカーへの関心と同様に男性の方が観戦したことがある方の割合が多い。
- 清水区に居住する方が最も観戦したことがある割合が高い。

性別でのクロス集計



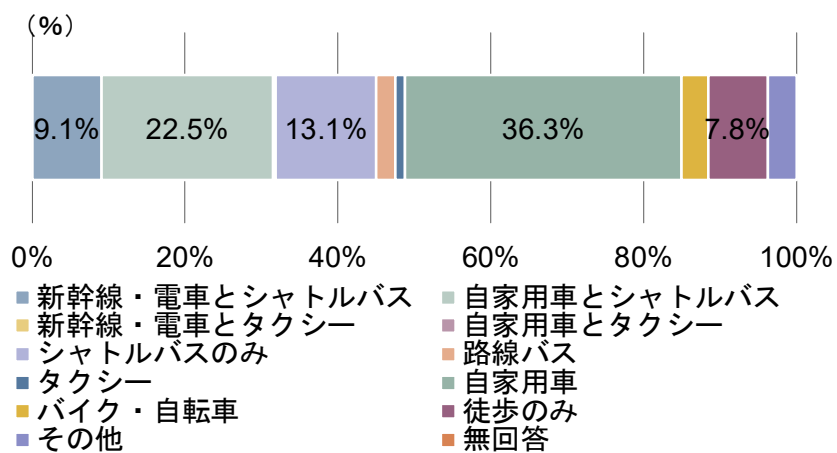
居住地（区）でのクロス集計



設問7 (SA: 単一回答)

I A I スタジアムには主にどのような交通手段で行きますか。

※清水エスパルスの試合をI A I スタジアム日本平で
観戦したことがある回答者への設問 (設問6)



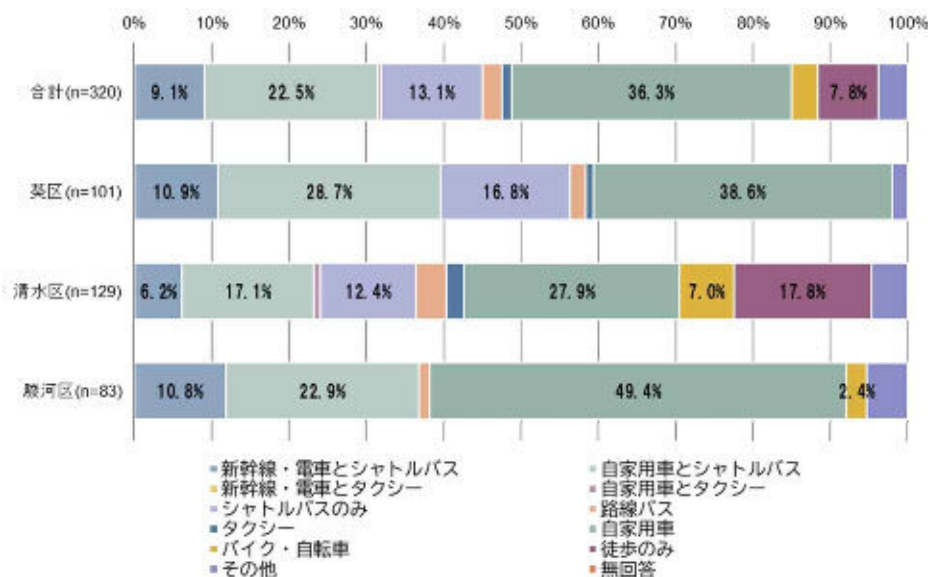
- IAIスタジアムへの交通手段は、36.3%の人が「自家用車」と最も高く、次いで「自家用車とシャトルバス」が高い。

		新幹線・電車とシャトルバス	自家用車とシャトルバス	新幹線・電車とタクシー	自家用車とタクシー	シャトルバスのみ	路線バス	タクシー	自家用車	バイク・自転車	徒歩のみ	その他	無回答
合計	(n=320)	9.1%	22.5%	0.0%	0.3%	13.1%	2.5%	1.3%	36.3%	3.4%	7.8%	3.8%	0.0%
関心がある	(n=257)	8.9%	21.0%	0.0%	0.4%	12.8%	2.3%	1.2%	37.4%	3.5%	7.8%	4.7%	0.0%
どちらでもない	(n=32)	9.4%	28.1%	0.0%	0.0%	15.6%	0.0%	3.1%	28.1%	3.1%	12.5%	0.0%	0.0%
関心がない	(n=31)	9.7%	29.0%	0.0%	0.0%	12.9%	6.5%	0.0%	35.5%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%

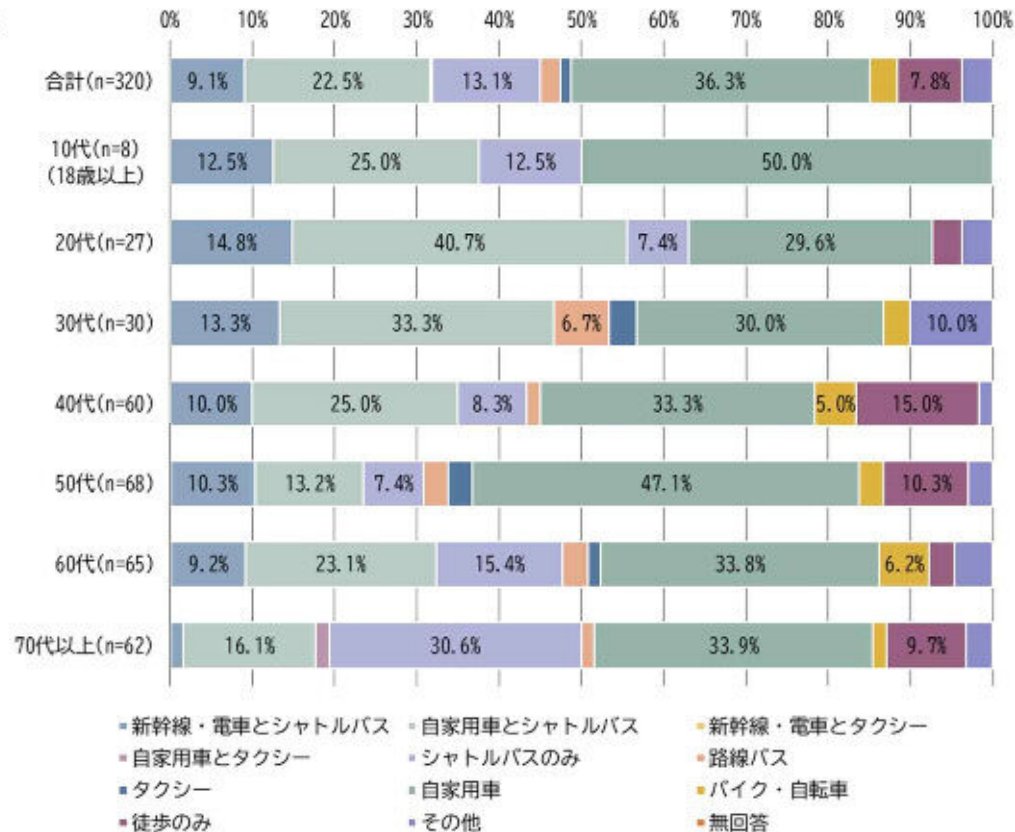
I A I スタジアム日本平への交通手段のクロス集計

- 葵区・駿河区に居住する方は自動車でアクセスする割合が高い。葵区に居住する方のシャトルバス利用率が高い。
- 若い年代の方が「自動車とシャトルバス」を利用する割合が高く、10代と60代、70代はシャトルバスの利用率が高い。また、50代は自家用車でアクセスする割合が高い。

居住地（区）でのクロス集計



年代でのクロス集計

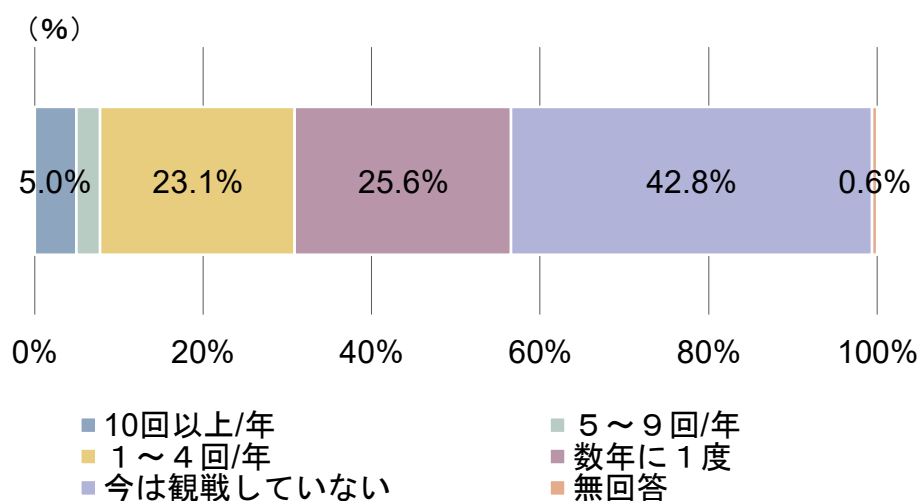


設問8 (SA：単一回答)

IAIスタジアムでどのくらい観戦していますか。(n=320)

(※コロナ禍前の頻度でご回答ください)

※清水エスパルスの試合をIAIスタジアム日本平で観戦したことがある回答者への設問（設問6）



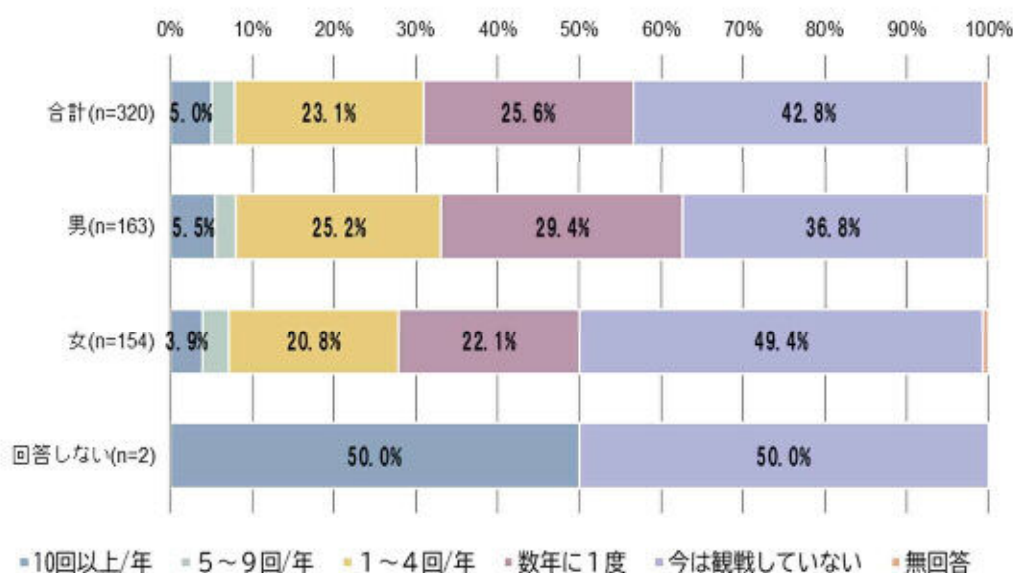
- IAIスタジアムでの観戦頻度は、「今は観戦していない」が42.8%と最も高い
- 関心がある人は、年に複数回観戦をしている傾向が高くなる。関心がない人は、今は観戦していない人が約71%いる。

		10回以上/年	5~9回/年	1~4回/年	数年に1度	今は観戦していない	無回答
合計	(n=320)	5.0%	2.8%	23.1%	25.6%	42.8%	0.6%
関心がある	(n=257)	6.2%	3.5%	27.6%	24.5%	37.4%	0.8%
どちらでもない	(n=32)	0.0%	0.0%	3.1%	37.5%	59.4%	0.0%
関心がない	(n=31)	0.0%	0.0%	6.5%	22.6%	71.0%	0.0%

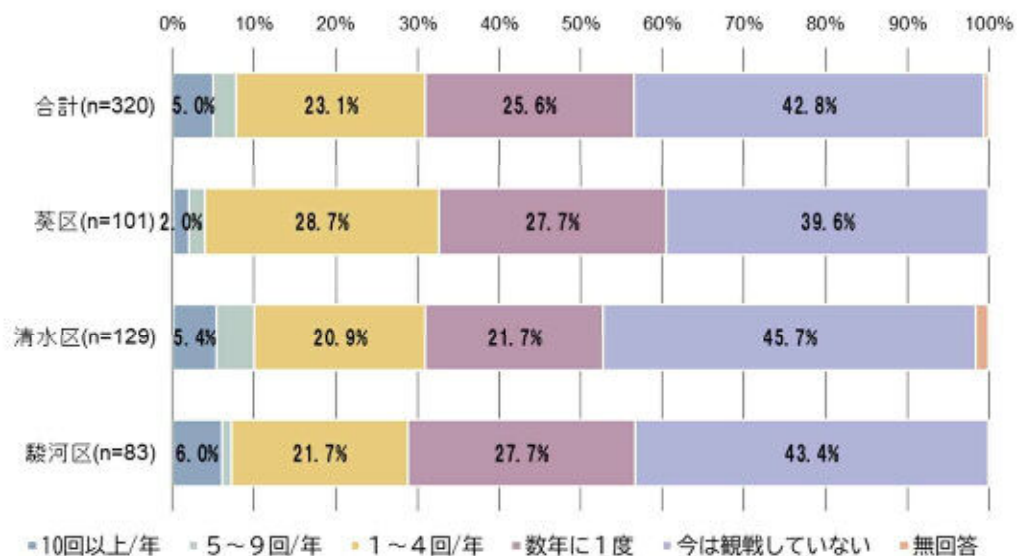
スタジアムでの観戦頻度のクロス集計

- 男性の方が観戦の頻度が高く、女性の方が今は観戦していない割合が高い。
- 清水区・駿河区の方は年に10回以上観戦する割合が高く、葵区の方は観戦頻度は低いものの、定期的に観戦している割合が比較的高い。

性別でのクロス集計



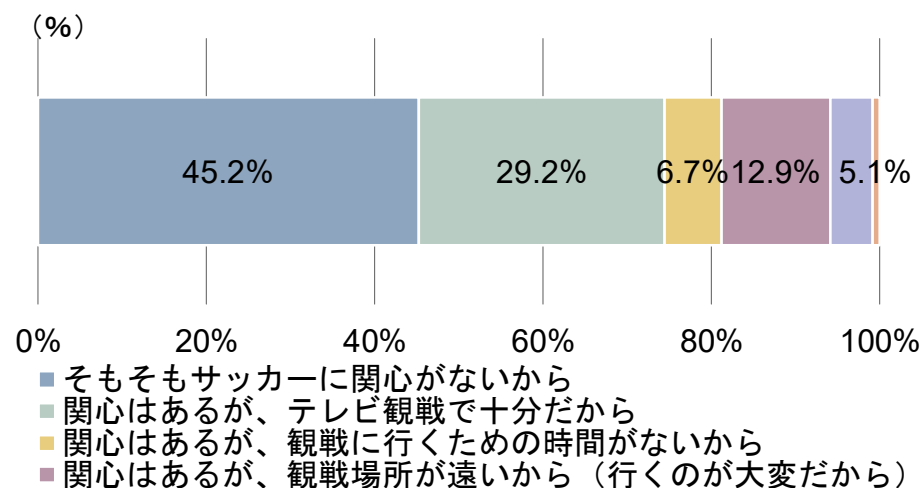
居住地（区）でのクロス集計



設問9

観戦したことが無い理由は何ですか。(SA：単一回答)

※清水エスパルスの試合をIAIスタジアム日本平で
観戦したことがない回答者への設問（設問6）



	そもそもサッカーに関心がないから	関心はあるが、テレビ観戦で十分だから	関心はあるが、観戦に行くための時間がないから	関心はあるが、観戦場所が遠いから	その他	無回答
全年代 (n=356)	45.2%	29.2%	6.7%	12.9%	5.1%	0.8%
～10代 (n=7)	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
20代 (n=36)	80.6%	5.6%	8.3%	2.8%	2.8%	0.0%
30代 (n=43)	69.8%	14.0%	0.0%	7.0%	4.7%	4.7%
40代 (n=43)	48.8%	27.9%	9.3%	7.0%	7.0%	0.0%
50代 (n=45)	44.4%	28.9%	11.1%	11.1%	4.4%	0.0%
60代 (n=68)	30.9%	38.2%	8.8%	19.1%	1.5%	1.5%
70代～ (n=114)	31.6%	37.7%	5.3%	17.5%	7.9%	0.0%

- IAIスタジアムで観戦したことがない人において、観戦したことがない理由は「そもそも関心がないから」が45.2%で、次いで「関心はあるがテレビ観戦で十分だから」が29.2%である。
- 年代が低くなるにつれて、「そもそも関心がないから」の割合が増加傾向にある。一方で、年代が高くなるにつれて、「関心はあるが、テレビ観戦で十分だから」の割合が増加傾向にある。

観戦したことが無い理由のクロス集計

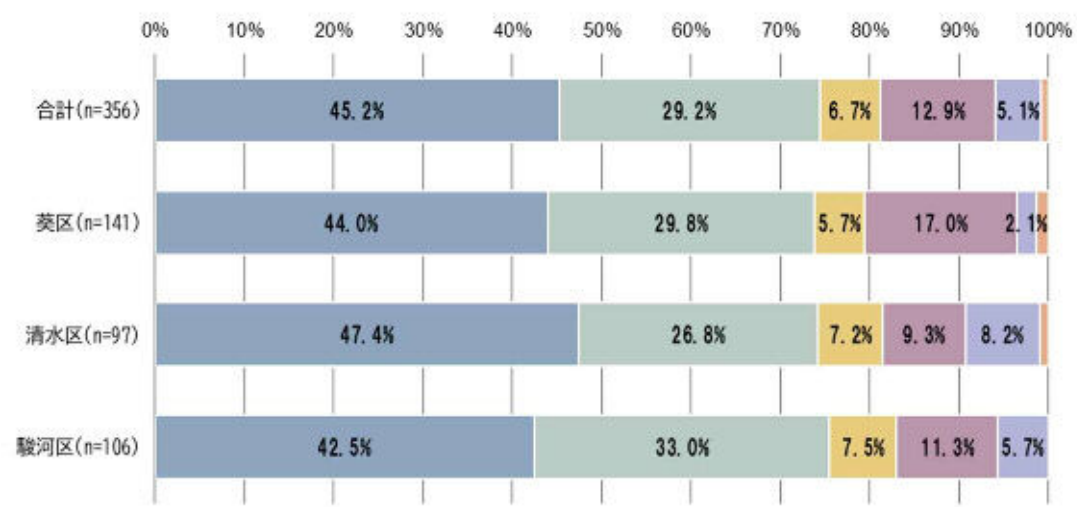
- 性別による差はあまりない。
- 葵区の方は「関心はあるが、観戦場所が遠いから（行くのが大変だから）」の割合が高い。

性別でのクロス集計



- そもそもサッカーに関心がないから
- 関心はあるが、観戦に行くための時間がないから
- 関心はあるが、テレビ観戦で十分だから
- 関心はあるが、観戦場所が遠いから（行くのが大変）
- その他
- 無回答

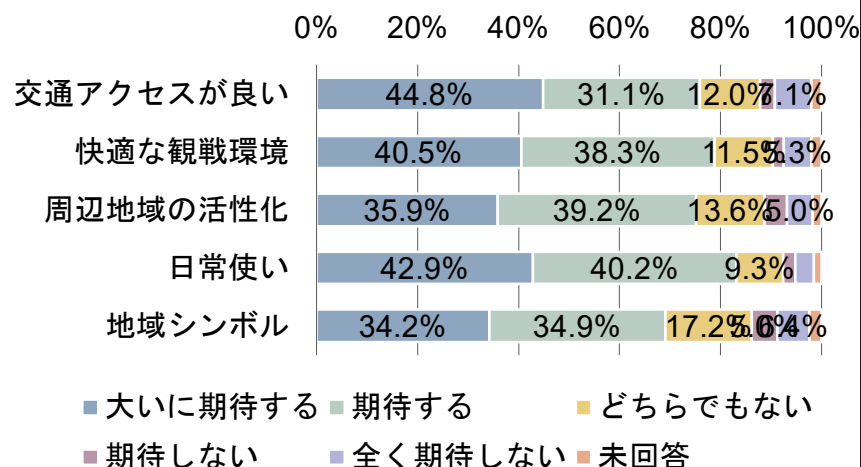
居住地（区）でのクロス集計



- そもそもサッカーに関心がないから
- 関心はあるが、観戦に行くための時間がないから
- 関心はあるが、テレビ観戦で十分だから
- 関心はあるが、観戦場所が遠いから（行くのが大変）
- その他
- 無回答

設問10 (MT)

もし、サッカースタジアムを新たに整備する場合、あなたが期待することは何ですか。



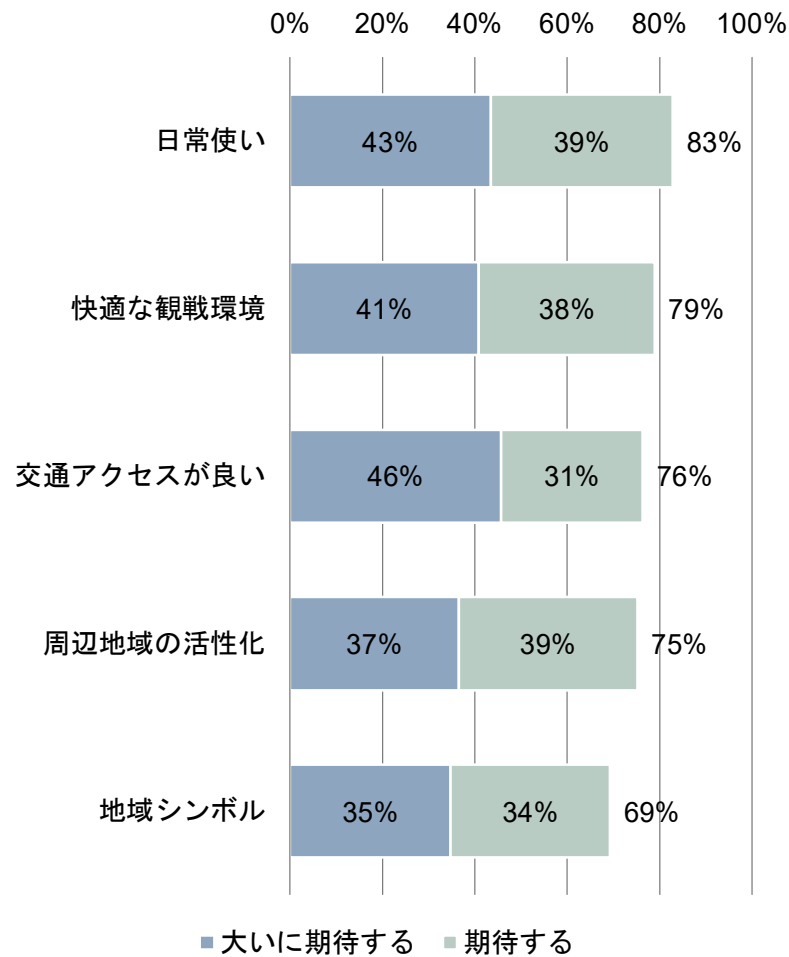
- 市民がサッカースタジアムに期待することは、日常使いが約83%と最も高く、次いで「快適な観戦環境」、「交通アクセスが良い」が高い。

		大いに期待する	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない	無回答
合計 (n=676)	交通アクセス	44.8%	31.1%	12.0%	3.0%	7.1%	2.1%
	観戦環境	40.5%	38.3%	11.5%	2.2%	5.3%	2.1%
	周辺地域の活性化	35.9%	39.2%	13.6%	4.4%	5.0%	1.8%
	日常使い	42.9%	40.2%	9.3%	2.4%	3.7%	1.5%
	地域シンボル	34.2%	34.9%	17.2%	5.0%	6.4%	2.4%
関心がある (n=391)	交通アクセス	59.1%	29.9%	7.7%	0.5%	2.0%	0.8%
	観戦環境	51.7%	38.1%	7.2%	1.0%	1.3%	0.8%
	周辺地域の活性化	42.7%	40.4%	12.3%	2.8%	1.3%	0.5%
	日常使い	46.5%	40.4%	9.7%	1.8%	1.0%	0.5%
	地域シンボル	46.3%	34.0%	13.6%	2.8%	2.6%	0.8%
どちらでもない (n=85)	交通アクセス	40.0%	34.1%	21.2%	1.2%	1.2%	2.4%
	観戦環境	38.8%	41.2%	14.1%	2.4%	1.2%	2.4%
	周辺地域の活性化	32.9%	43.5%	14.1%	4.7%	2.4%	2.4%
	日常使い	40.0%	47.1%	8.2%	1.2%	2.4%	1.2%
	地域シンボル	30.6%	38.8%	18.8%	7.1%	1.2%	3.5%
関心がない (n=198)	交通アクセス	19.2%	32.3%	16.7%	8.6%	19.7%	3.5%
	観戦環境	19.7%	37.9%	19.2%	4.5%	15.2%	3.5%
	周辺地域の活性化	24.2%	35.4%	16.2%	7.6%	13.6%	3.0%
	日常使い	37.4%	37.4%	9.1%	4.0%	9.6%	2.5%
	地域シンボル	12.1%	35.4%	23.7%	8.6%	16.2%	4.0%

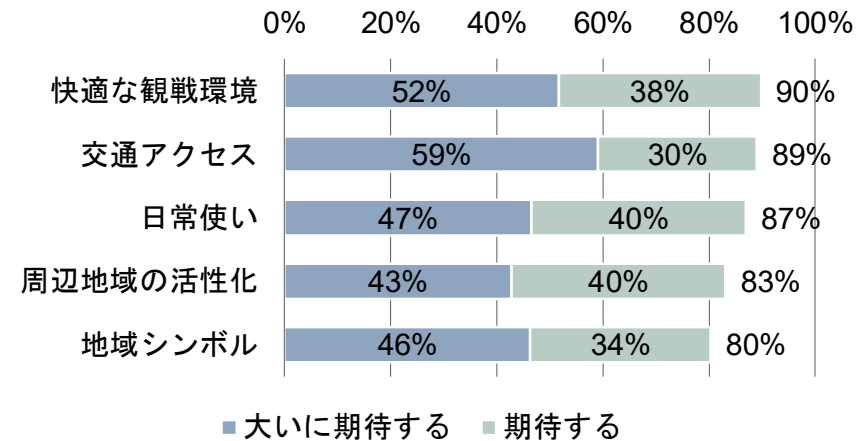
サッカーへの関心別、新たなサッカースタジアムに期待すること

- 市民にとって、「日常使い」が最も期待されている。
- サッカーに関心がある市民は、「快適な観戦環境」が最も高く、次いで「交通アクセス」、「日常使い」の順に高い。
- サッカーに関心がない市民は、「日常使い」が群を抜いて高く、次いで「周辺地域の活性化」が高い。

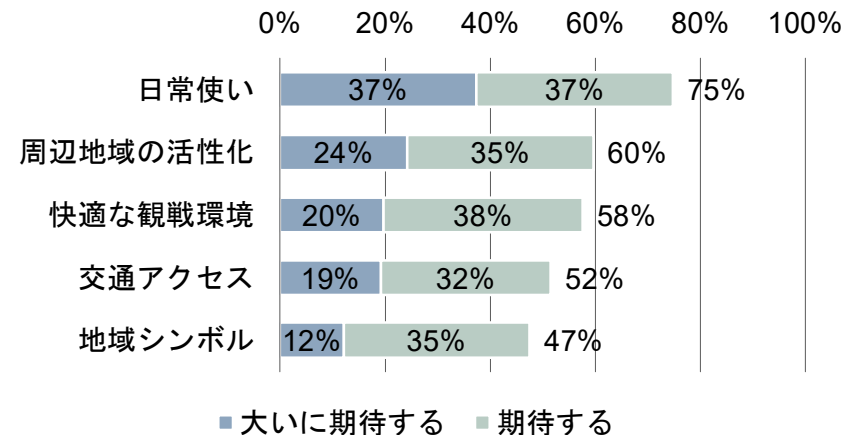
○新たなサッカースタジアムに期待すること (n = 676)



○うちサッカーに関心がある市民 (n = 391)



○うちサッカーに関心がない市民 (n = 198)



- 主な自由回答は以下のとおり。
- 交通アクセス改善に関する意見や、日常使いに利用できるスタジアム、エスパルスへの愛着に関する意見が見られた。

設問1 1

サッカースタジアムに関することをご意見があれば下枠内に記入してください。(自由記述)

【交通アクセス】

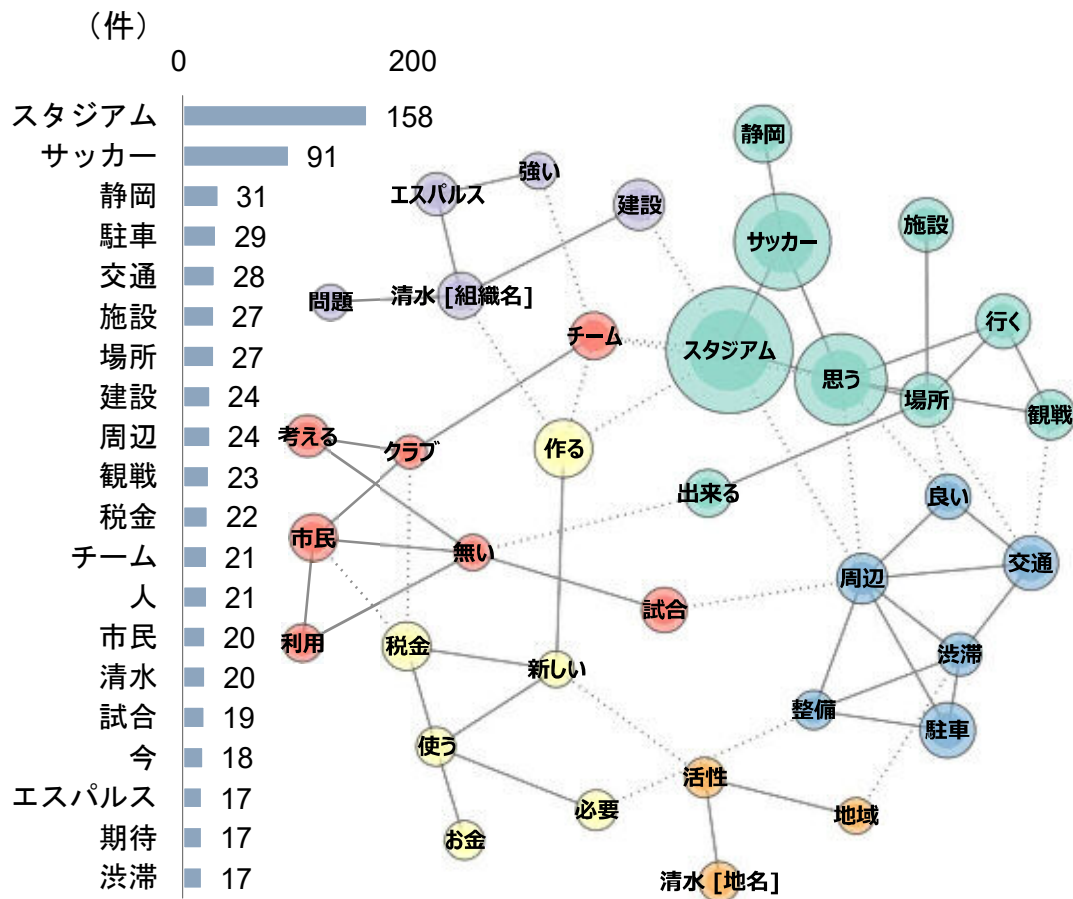
- 私は最近スタジアムでの観戦回数がかんり少なくなってしまいました。東京在住の息子はかなりの回数来ていますので、ぜひ清水駅近くに作っていただきたいです。
- 正直行くことはほとんどないです。なぜなら、交通の便が悪すぎるから。出来ればお酒を飲んで楽しく観戦して、楽しかった、また行こう、また次の試合行こうとなればいいけどなれない。だから、エスパルスが強くなることと、交通の便が改善するすれば大に行きたい気持ちは増幅します。
- 新たなスタジアムまで自家用車で行けるようになると、周辺の交通渋滞等が心配。

【周辺地域の活性化】

- スタジアム周辺のムードの改良。異業種のイベント。商業施設(食べる・飲む・コーヒー・ジュース・ビュッフェ・見せるアニメ大会・イベント)人を集める企画
- デパートやレストラン、アウトレットなど商業施設の発展を望みます。
- 歳をとると行くのが大変になってしまうので、駅などから近い場所に出来ると、行きやすくて良いと思います。そして周辺に休むことの出来る商業施設などがあると助かります。
- 作る事だけでは、雇用や町の活性化は無理だと思う。箱物ではなく、ソフト面での政治を希望する。

【日常使い・その他】

- 湘南のホームであるレモンガススタジアムの自慢は豊富なフードパークです。今日は何を食べようかな?と試合以外の楽しみもあるので、清水エスパルスのスタジアムもそうだったら良いと思います。
- 島田の子ども館のように、駐車場やスーパーを兼ね備えた雨天でも遊べるような施設があれば、子育て世代は助かると思う。
- サッカーだけでなくコンサートなどのイベントが出来たら嬉しいです。
- ぜひ新スタジアムと観光施設が一体となった複合施設を作ってサッカーの街静岡のシンボルになってくれたらこんなに嬉しいことはありません。
- 近くに宿泊施設 温浴施設 などサッカーがない時にも人が集まるような施設を考えてください。
- サッカータウンの様な周りの施設を充実して欲しい。
- 鉄道の最寄駅の設置や、当日のチケットで当日の交通機関乗り放題。試合が無い日でも利用できるショッパや、飲食店を設ける。
- 新しいスタジアムを東静岡駅近くに造るなら、試合の日だけJR臨時列車を出して欲しい。グッズショッパや飲食店を設けて欲しい。



2. 利用者アンケート概要

目的・実施日・対象者

■目的

静岡市にとってどういったスタジアムであるべきか、新たなスタジアムへ求める機能等について調査を実施。

■実施日

利用者アンケート（WEB）

令和4年8月17日～8月31日

（チラシ配布：令和4年8月20日、8月27日）

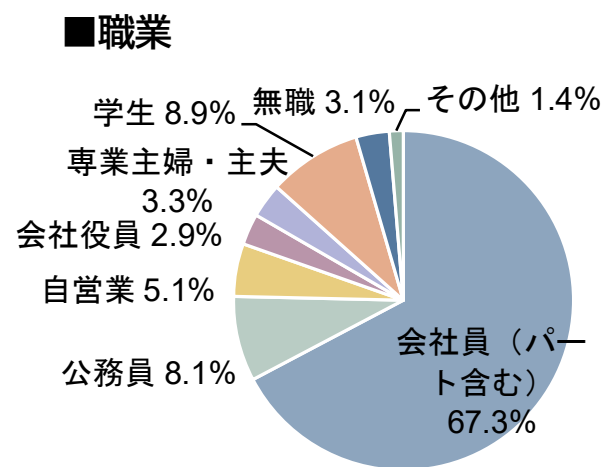
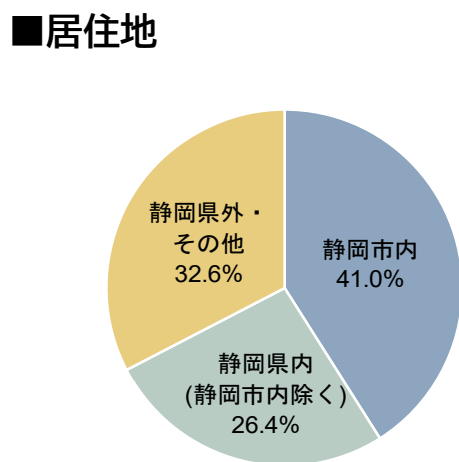
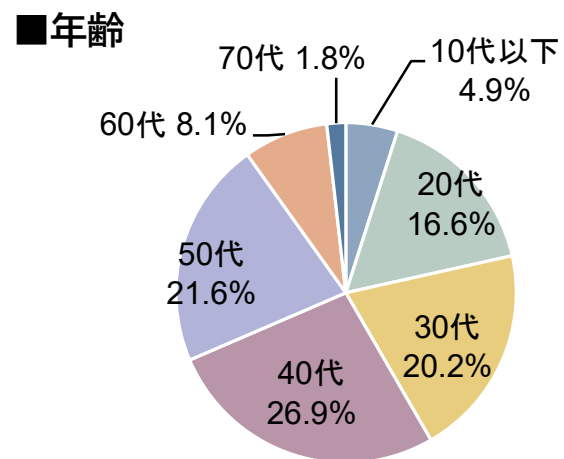
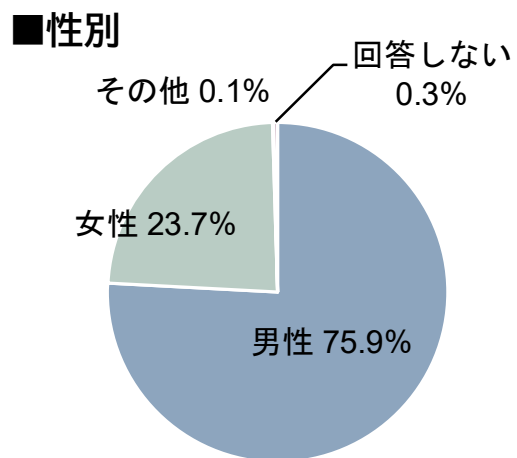
形式	対象者人数	回答者人数
利用者アンケート WEB回答方式	上記日程のIAIスタジアム日本平にて開催されたサッカーの試合への参加者など	8,055人

■アンケート設問

設問No	設問
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	居住地（郵便番号）
Q4	職業
Q5	サッカーへの関心の有無
Q6	清水エスパルスの試合を I A I スタジアム日本平で観戦した経験の有無
Q7	観戦した目的
Q8	I A I スタジアム日本平での観戦歴
Q9	I A I スタジアム日本平への主な交通手段
Q10	サッカー観戦頻度
Q11	アウェーのスタジアムでの観戦頻度
Q12	スタジアムに行くまで、スタジアム内、試合終了後の消費額
Q13	サッカー観戦の前後の立ち寄り先
Q14	I A I スタジアムで観戦する際の宿泊予定
Q15	観戦したことが無い理由
Q16	I A I スタジアム日本平に誇りや親しみを感じるか
Q17	屋根のカバー率不足を除く、I A I スタジアム日本平の課題
Q18	新たなサッカースタジアムに期待すること
Q19	スタジアム周辺に欲しい施設
Q20	I A I スタジアム日本平以外でおすすめのスタジアム
Q21	前問で回答したスタジアムをおすすめする理由

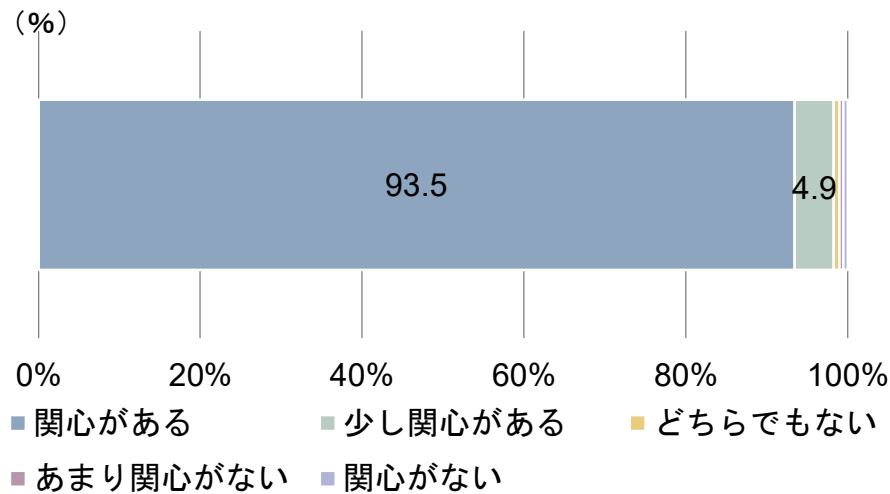
2. 利用者：WEBアンケート結果

■ 回答者の性別、年齢、居住地、職業は以下の通り。（設問1.2.3.4）（n=8,055）



設問5

あなたはサッカーに関心がありますか。（SA：単一回答）

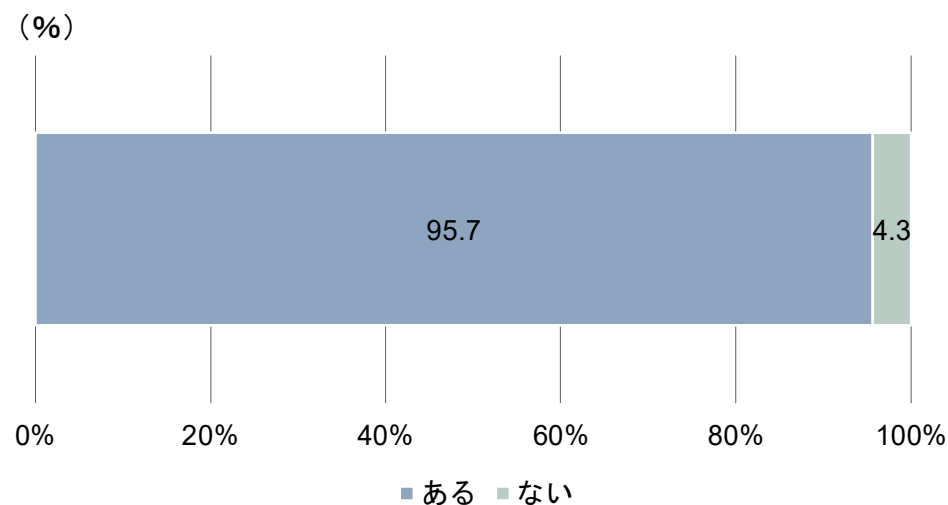


- 利用者のうち、93.5%がサッカーに関心がある。
- 市民は少し関心がある、どちらでもない割合が比較的高い。

	関心がある	少し関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	関心がない	無回答
全年代 (n=8055)	93.5%	4.9%	0.7%	0.5%	0.5%	0.0%
10代以下 (n=396)	90.9%	5.6%	0.8%	1.0%	1.8%	0.0%
20代 (n=1337)	93.0%	5.2%	0.7%	0.6%	0.4%	0.0%
30代 (n=1624)	92.5%	5.3%	0.9%	0.7%	0.6%	0.0%
40代 (n=2164)	93.8%	4.9%	0.5%	0.1%	0.6%	0.0%
50代 (n=1738)	94.5%	4.2%	0.7%	0.3%	0.2%	0.0%
60代 (n=650)	93.5%	4.9%	0.5%	0.9%	0.2%	0.0%
70代 (n=146)	97.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%
全地域 (n=8055)	93.5%	4.9%	0.7%	0.5%	0.5%	0.0%
静岡市内 (n=3305)	90.0%	7.0%	1.2%	0.8%	1.1%	0.0%
静岡県内 (n=2123)	95.6%	3.3%	0.5%	0.3%	0.2%	0.0%
その他 (n=2627)	96.2%	3.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%

設問6

あなたは、清水エスパルスの試合をIAIスタジアム日本平で観戦したことがありますか。(SA：単一回答)

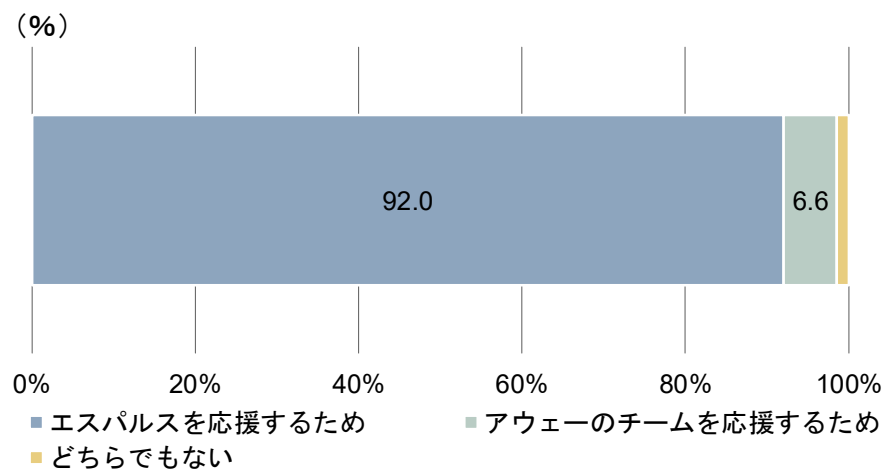


- IAIスタジアムでエスパルスの試合を観戦したことがある人が95.7%いる。

	ある	ない	無回答
全年代 (n=8055)	95.7%	4.3%	0.0%
10代以下 (n=396)	91.7%	8.3%	0.0%
20代 (n=1337)	95.1%	4.9%	0.0%
30代 (n=1624)	95.8%	4.2%	0.0%
40代 (n=2164)	95.3%	4.7%	0.0%
50代 (n=1738)	96.5%	3.5%	0.0%
60代 (n=650)	96.9%	3.1%	0.0%
70代 (n=146)	98.6%	1.4%	0.0%
全地域 (n=8055)	95.7%	4.3%	0.0%
静岡市内 (n=3305)	96.5%	3.5%	0.0%
静岡県内 (n=2123)	97.3%	2.7%	0.0%
その他 (n=2627)	93.3%	6.7%	0.0%

設問7

観戦したのはエスパルスの応援のためですか、それともアウエーのチームを応援するためですか。（SA：単一回答）

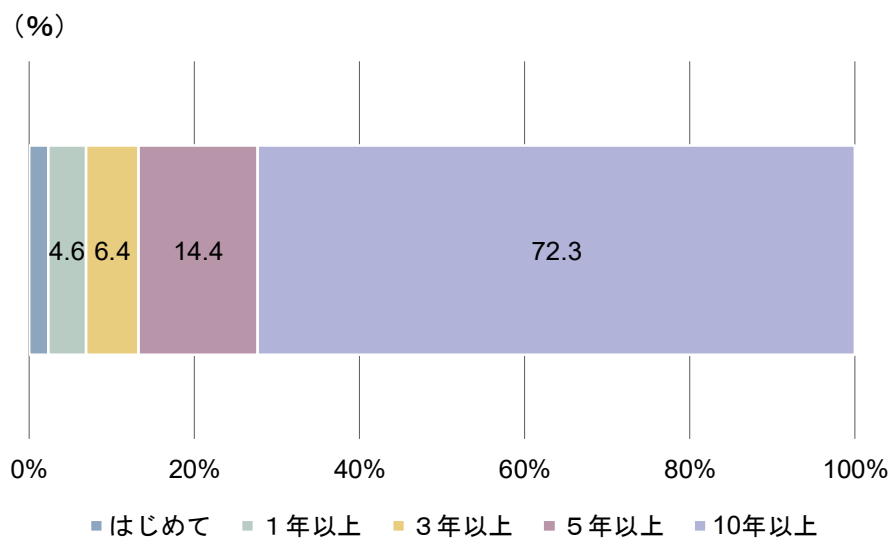


- エスパルスを応援するために観戦した人が92%である。
- アウエーのチームを応援するために観戦した人は、若い人ほど増加傾向である。

	エスパルス を応援す るため	アウエーのチ ームを 応援する ため	どちらでも ない	無回答
全年代 (n=7705)	92.0%	6.6%	1.4%	0.0%
10代以下 (n=363)	94.8%	4.1%	1.1%	0.0%
20代 (n=1272)	90.0%	8.5%	1.5%	0.0%
30代 (n=1555)	91.4%	6.8%	1.8%	0.0%
40代 (n=2063)	90.3%	7.8%	1.9%	0.0%
50代 (n=1678)	93.7%	5.6%	0.7%	0.0%
60代 (n=630)	95.6%	3.3%	1.1%	0.0%
70代 (n=144)	99.3%	0.7%	0.0%	0.0%
全地域 (n=7705)	92.0%	6.6%	1.4%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	97.0%	1.1%	1.9%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	96.2%	3.0%	0.8%	0.0%
その他 (n=2452)	82.0%	16.6%	1.3%	0.0%

設問8

IAIスタジアム日本平での観戦歴はどれくらいですか。(n=7,091)

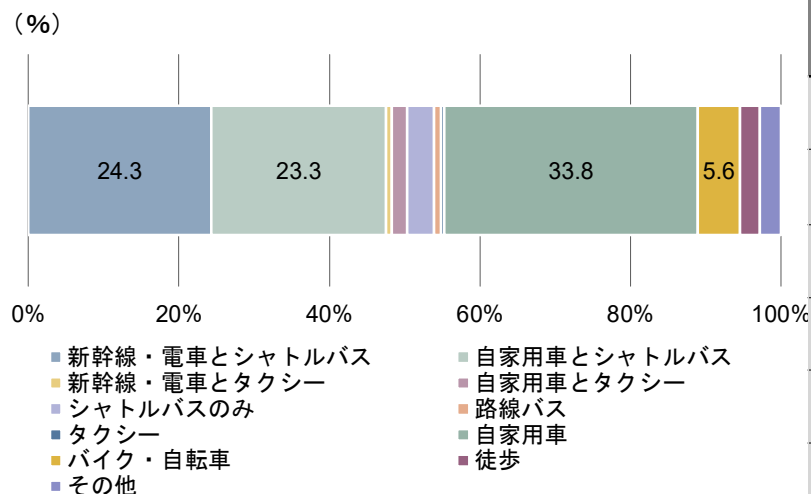


- IAIスタジアムで観戦経験のある人のうち、72.3%が10年以上の観戦歴を有する。
- 年代が上がるにつれて、観戦歴も増加する。

	はじめて	1年以上	3年以上	5年以上	10年以上	無回答
全年代 (n=8055)	2.3%	4.6%	6.4%	14.4%	72.3%	0.0%
10代以下 (n=396)	5.5%	9.9%	12.8%	36.3%	35.5%	0.0%
20代 (n=1337)	3.9%	7.6%	9.8%	17.6%	61.0%	0.0%
30代 (n=1624)	2.3%	5.7%	7.6%	16.5%	67.9%	0.0%
40代 (n=2164)	1.7%	4.1%	5.9%	13.7%	74.6%	0.0%
50代 (n=1738)	1.5%	2.6%	3.2%	9.9%	82.8%	0.0%
60代 (n=650)	1.2%	1.2%	3.5%	7.3%	86.9%	0.0%
70代 (n=146)	0.0%	0.7%	4.2%	5.6%	89.5%	0.0%
全地域 (n=8055)	2.3%	4.6%	6.4%	14.4%	72.3%	0.0%
静岡市内 (n=3305)	2.2%	4.3%	6.5%	14.7%	72.3%	0.0%
静岡県内 (n=2123)	2.1%	5.2%	6.9%	15.9%	69.9%	0.0%
その他 (n=2627)	2.5%	4.6%	5.6%	12.5%	74.8%	0.0%

設問9

I A I スタジアムには主にどのような交通手段で行きますか。

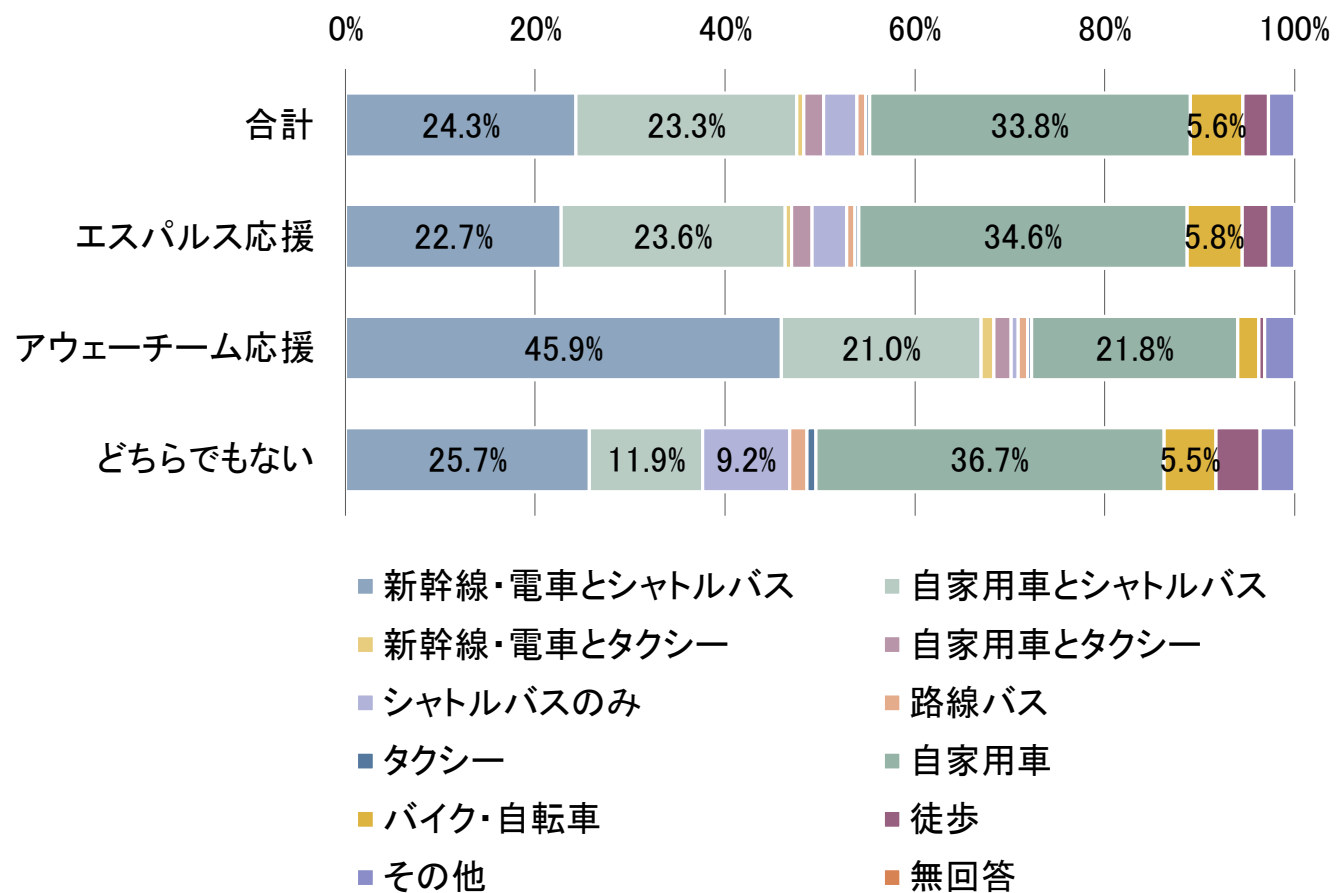


- 「自家用車」が33.8%と最も多く、次いで「新幹線・電車とシャトルバス」、「自家用車とシャトルバス」の順に多い。
- 利用者の51.1%がシャトルバスを利用している。
- 居住地別では、静岡市内や静岡県内は自家用車の割合が高く、その他は新幹線・電車とシャトルバスが高い。

	新幹線・電車とシャトルバス	自家用車とシャトルバス	新幹線・電車とタクシー	自家用車とタクシー	シャトルバスのみ	路線バス	タクシー	自家用車	バイク・自転車	徒歩	その他	無回答
全年代 (n=7705)	24.3%	23.3%	0.7%	2.1%	3.5%	0.9%	0.4%	33.8%	5.6%	2.7%	2.8%	0.0%
10代以下 (n=363)	25.6%	20.7%	0.3%	2.2%	3.0%	0.8%	0.0%	34.2%	7.7%	2.5%	3.0%	0.0%
20代 (n=1272)	30.5%	19.6%	0.7%	2.2%	2.7%	0.7%	0.4%	33.1%	5.8%	2.9%	1.4%	0.0%
30代 (n=1555)	27.5%	24.3%	0.8%	2.6%	2.5%	1.0%	0.4%	32.5%	4.1%	1.8%	2.5%	0.0%
40代 (n=2063)	23.1%	25.7%	0.8%	1.6%	3.1%	1.0%	0.4%	33.0%	5.3%	2.5%	3.4%	0.0%
50代 (n=1678)	21.7%	23.3%	0.7%	1.6%	4.6%	0.8%	0.5%	34.5%	6.3%	3.3%	2.6%	0.0%
60代 (n=630)	16.0%	22.1%	0.5%	2.9%	5.4%	1.4%	0.5%	38.4%	5.9%	2.7%	4.3%	0.0%
70代 (n=144)	13.9%	21.5%	0.7%	3.5%	8.3%	1.4%	0.7%	34.7%	6.3%	7.6%	1.4%	0.0%
全地域 (n=7705)	24.3%	23.3%	0.7%	2.1%	3.5%	0.9%	0.4%	33.8%	5.6%	2.7%	2.8%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	12.3%	21.0%	0.3%	2.6%	6.7%	1.7%	0.7%	35.1%	11.2%	5.4%	3.0%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	20.0%	29.3%	0.5%	1.6%	0.6%	0.2%	0.1%	44.6%	0.6%	0.4%	2.0%	0.0%
その他 (n=2452)	43.5%	21.1%	1.5%	1.8%	1.8%	0.6%	0.3%	23.0%	2.4%	1.2%	3.0%	0.0%

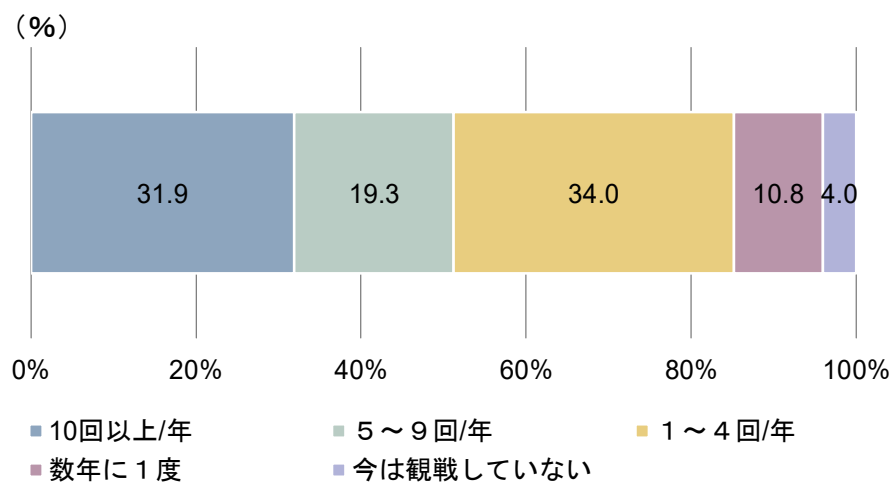
応援するチーム別アクセス手段

- アウェーチームを応援する利用者はエスパルスを応援する利用者よりも、公共交通機関やシャトルバスを利用するの来場が多い。



設問10

どのくらいの頻度で観戦していますか。(※コロナ禍前の頻度でご回答ください) (SA：単一回答)

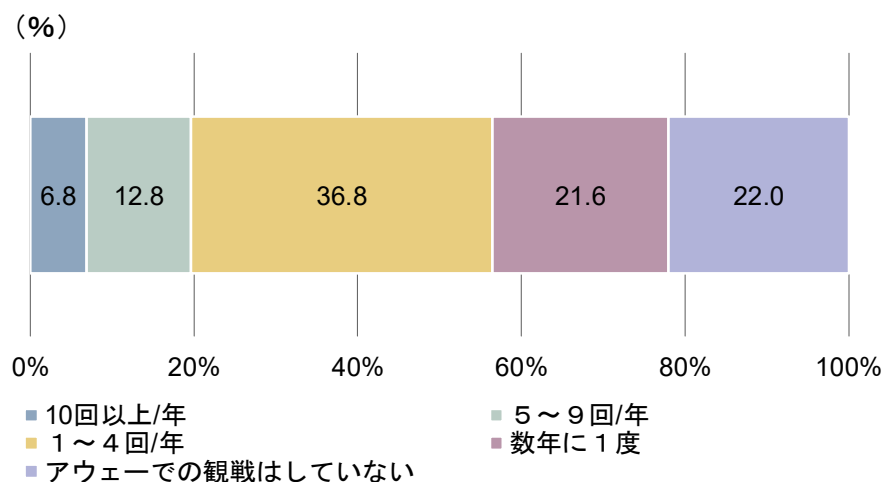


- 観戦頻度を見ると、1年に1回から4回が最も多く、次いで1年に10回以上が多い。
- 年に10回以上の観戦頻度の人、年齢が高くなればなるほど増加傾向にある。

	10回以上/年	5~9回/年	1~4回/年	数年に1度	今は観戦していない	無回答
全年代 (n=7705)	31.9%	19.3%	34.0%	10.8%	4.0%	0.0%
10代以下 (n=363)	27.0%	26.4%	33.9%	8.5%	4.1%	0.0%
20代 (n=1272)	25.4%	21.0%	38.5%	12.3%	2.8%	0.0%
30代 (n=1555)	24.6%	20.8%	39.6%	12.0%	3.0%	0.0%
40代 (n=2063)	27.0%	19.4%	35.8%	12.7%	5.1%	0.0%
50代 (n=1678)	39.8%	18.1%	28.4%	8.5%	5.1%	0.0%
60代 (n=630)	51.6%	13.7%	24.1%	7.6%	3.0%	0.0%
70代 (n=144)	71.5%	7.6%	14.6%	2.1%	4.2%	0.0%
全地域 (n=7705)	31.9%	19.3%	34.0%	10.8%	4.0%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	35.7%	19.5%	30.4%	9.2%	5.2%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	34.4%	22.8%	31.5%	8.2%	3.0%	0.0%
その他 (n=2452)	24.8%	16.2%	40.7%	14.9%	3.5%	0.0%

設問 1 1

アウェーのスタジアムでは、どのくらいの頻度で観戦していますか。（※コロナ禍前の頻度でご回答ください）（SA：単一回答）



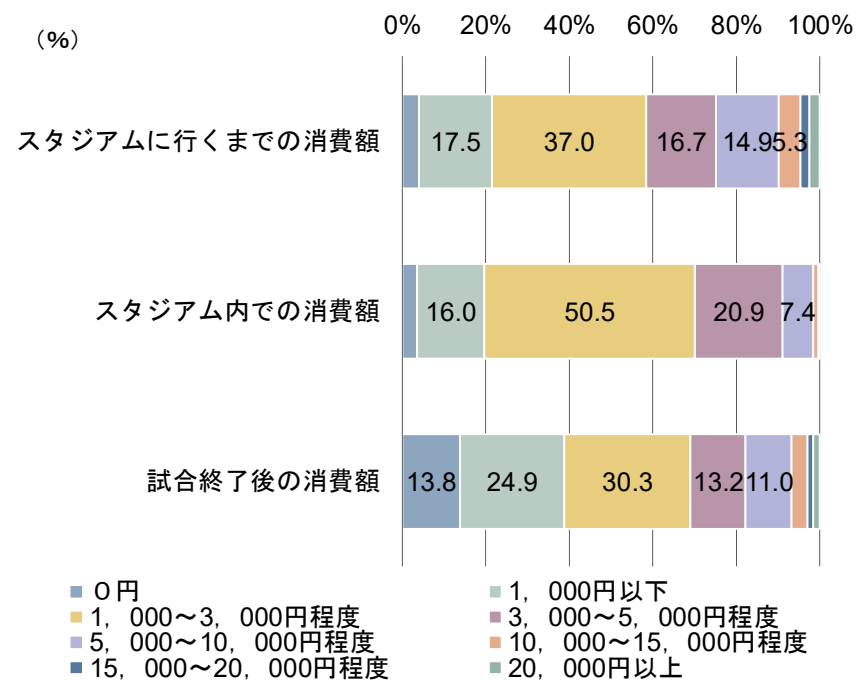
- アウェーでは、1年に1回から4回の観戦が最も多い。
- 年代別では大きな差がない。

	10回以上/年	5~9回/年	1~4回/年	数年に1度	アウェーでの観戦はしていない	無回答
全年代 (n=7705)	6.8%	12.8%	36.8%	21.6%	22.0%	0.0%
10代以下 (n=363)	3.0%	7.7%	26.7%	24.0%	38.6%	0.0%
20代 (n=1272)	8.2%	14.9%	40.0%	18.7%	18.2%	0.0%
30代 (n=1555)	6.9%	15.0%	38.0%	21.7%	18.3%	0.0%
40代 (n=2063)	6.5%	11.7%	36.1%	22.5%	23.2%	0.0%
50代 (n=1678)	6.4%	12.9%	36.4%	22.0%	22.3%	0.0%
60代 (n=630)	7.6%	9.8%	37.9%	21.9%	22.7%	0.0%
70代 (n=144)	9.0%	10.4%	30.6%	18.8%	31.3%	0.0%
全地域 (n=7705)	6.8%	12.8%	36.8%	21.6%	22.0%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	3.9%	6.7%	29.4%	26.7%	33.3%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	5.6%	9.8%	37.0%	25.1%	22.4%	0.0%
その他 (n=2452)	11.6%	23.3%	46.2%	11.9%	7.0%	0.0%

設問12

スタジアムに行くまでの消費額

(例：交通費、飲食代、買い物代など) (SA：単一回答)



- スタジアム観戦前後の消費額をみると、どの時点でも3,000円程度以下で大半を占める。
- 居住地別にみると、その他など市から遠ざかれば遠ざかるほど消費額が高くなる傾向がある。

■スタジアムに行くまでの消費額

	0円	1,000円以下	3,000円以下	5,000円以下	10,000円以下	15,000円以下	20,000円以下	20,000円以上	無回答
全年代 (n=7705)	4.0%	17.5%	37.0%	16.7%	14.9%	5.3%	2.1%	2.5%	0.0%
10代以下 (n=363)	11.0%	26.4%	34.7%	15.4%	6.9%	2.8%	0.8%	1.9%	0.0%
20代 (n=1272)	3.5%	18.2%	35.4%	19.1%	14.5%	5.3%	2.0%	2.0%	0.0%
30代 (n=1555)	2.9%	16.1%	35.9%	15.8%	17.0%	6.2%	2.6%	3.4%	0.0%
40代 (n=2063)	4.0%	16.3%	34.4%	17.1%	16.8%	6.0%	2.4%	3.1%	0.0%
50代 (n=1678)	3.6%	16.9%	38.5%	16.3%	15.1%	5.2%	2.4%	2.0%	0.0%
60代 (n=630)	4.1%	19.0%	45.2%	15.1%	10.6%	3.7%	0.5%	1.7%	0.0%
70代 (n=144)	6.3%	20.8%	50.7%	13.2%	6.3%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%
全地域 (n=7705)	4.0%	17.5%	37.0%	16.7%	14.9%	5.3%	2.1%	2.5%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	7.8%	30.4%	45.4%	11.5%	3.8%	0.7%	0.2%	0.2%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	1.1%	10.5%	46.7%	25.7%	12.8%	1.9%	0.8%	0.5%	0.0%
その他 (n=2452)	1.5%	6.6%	17.8%	15.7%	31.2%	14.1%	5.7%	7.3%	0.0%

■スタジアム内での消費額

	0円	1,000円以下	3,000円以下	5,000円以下	10,000円以下	15,000円以下	20,000円以下	20,000円以上	無回答
全年代 (n=7705)	3.6%	16.0%	50.5%	20.9%	7.4%	1.1%	0.2%	0.2%	0.0%
10代以下 (n=363)	6.3%	23.4%	44.9%	16.5%	6.6%	1.7%	0.3%	0.3%	0.0%
20代 (n=1272)	4.2%	16.0%	52.7%	18.0%	7.1%	1.3%	0.3%	0.4%	0.0%
30代 (n=1555)	3.5%	12.6%	50.5%	23.5%	8.2%	1.0%	0.2%	0.5%	0.0%
40代 (n=2063)	2.6%	12.9%	50.0%	24.1%	8.7%	1.4%	0.1%	0.2%	0.0%
50代 (n=1678)	3.5%	16.9%	51.4%	20.1%	6.9%	0.8%	0.3%	0.1%	0.0%
60代 (n=630)	4.0%	24.4%	48.4%	17.5%	5.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
70代 (n=144)	8.3%	30.6%	49.3%	9.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全地域 (n=7705)	3.6%	16.0%	50.5%	20.9%	7.4%	1.1%	0.2%	0.2%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	4.5%	20.7%	51.1%	17.4%	5.2%	0.8%	0.1%	0.2%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	2.8%	12.5%	52.3%	21.8%	9.1%	1.1%	0.3%	0.1%	0.0%
その他 (n=2452)	3.1%	12.8%	48.2%	24.9%	9.0%	1.5%	0.2%	0.4%	0.0%

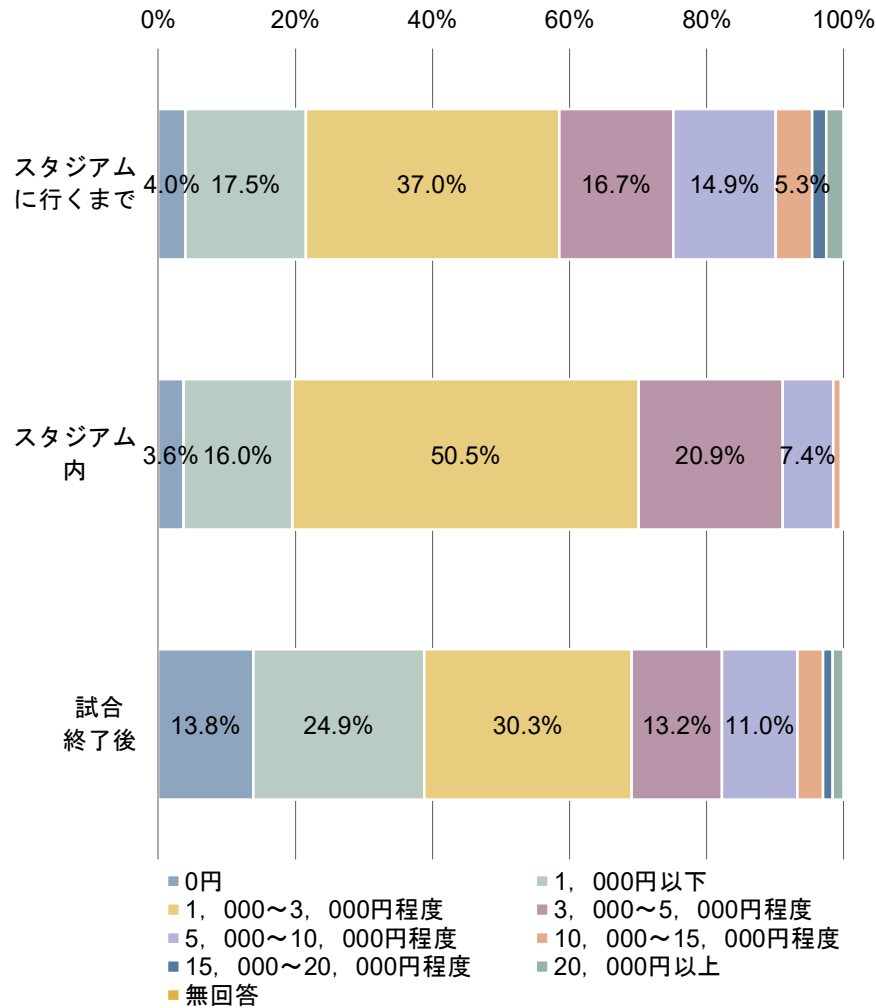
■試合終了後の消費額

	0円	1,000円以下	3,000円以下	5,000円以下	10,000円以下	15,000円以下	20,000円以下	20,000円以上	無回答
全年代 (n=7705)	13.8%	24.9%	30.3%	13.2%	11.0%	3.7%	1.4%	1.6%	0.0%
10代以下 (n=363)	22.6%	28.9%	30.3%	11.0%	3.3%	2.5%	0.8%	0.6%	0.0%
20代 (n=1272)	12.2%	24.1%	33.1%	13.1%	10.9%	4.1%	1.5%	1.1%	0.0%
30代 (n=1555)	12.6%	23.9%	30.0%	13.0%	12.7%	4.2%	1.0%	2.6%	0.0%
40代 (n=2063)	12.8%	23.0%	30.0%	13.9%	12.3%	4.4%	1.6%	2.1%	0.0%
50代 (n=1678)	13.3%	25.6%	29.3%	14.7%	10.8%	3.2%	2.1%	1.0%	0.0%
60代 (n=630)	17.3%	29.4%	29.4%	11.1%	8.4%	2.5%	0.5%	1.4%	0.0%
70代 (n=144)	26.4%	34.0%	27.8%	4.2%	6.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
全地域 (n=7705)	13.8%	24.9%	30.3%	13.2%	11.0%	3.7%	1.4%	1.6%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	22.0%	36.9%	30.0%	7.1%	3.2%	0.5%	0.1%	0.3%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	10.0%	21.7%	43.3%	18.1%	5.3%	1.2%	0.2%	0.3%	0.0%
その他 (n=2452)	6.5%	12.2%	19.7%	17.0%	25.9%	10.1%	4.1%	4.5%	0.0%

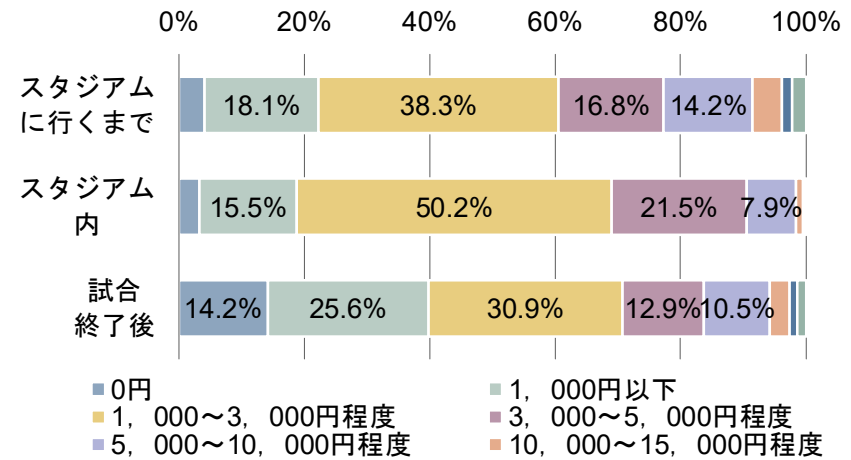
応援するチーム別消費額

- スタジアム観戦前後の消費額は、1,000円から3,000円程度が約30%～約50%と最も高い。
- アウェーチームの応援者は試合前には5,000円から10,000円程度が26.7%と最も高い。

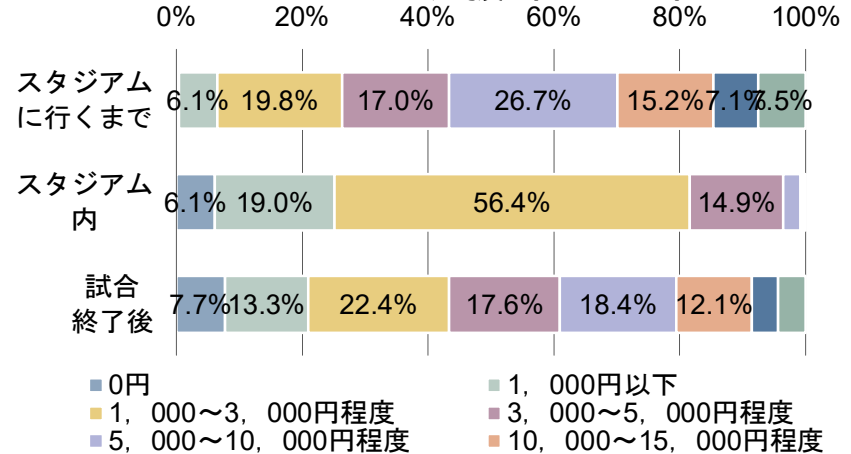
○ IAIスタジアム観戦前後の消費額 (n=7,705)



うち、エスパルス応援 (n=7,091)



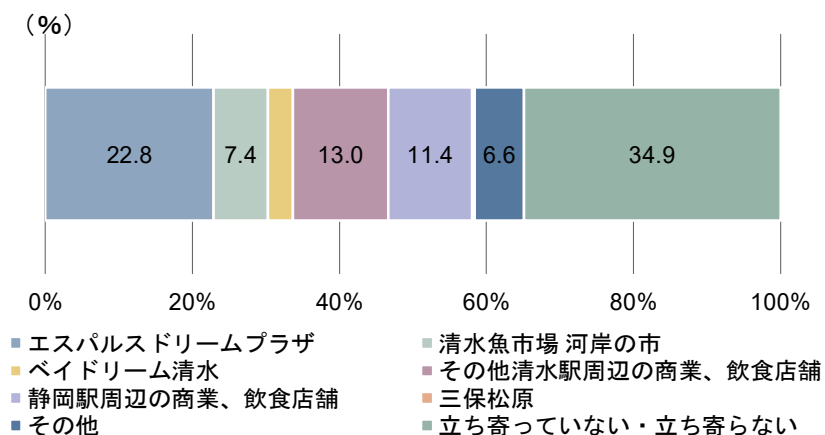
うち、アウェーチーム応援 (n=505)



設問13

サッカー観戦の前にどのような施設に立ち寄りましたか。また、観戦後自宅に帰るまでの間に立ち寄る予定はありますか。

(SA：単一回答)



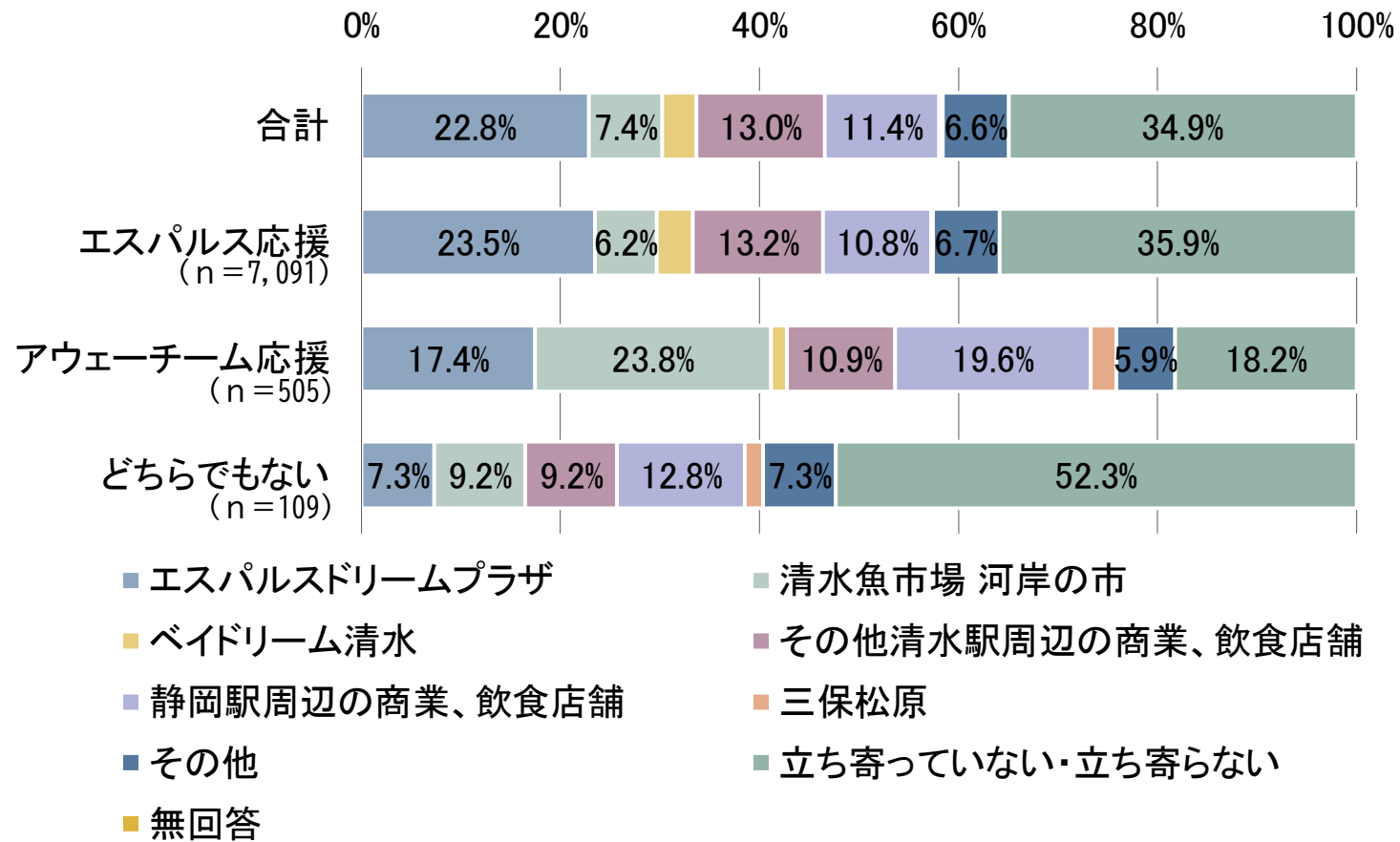
- 約65%の人が観戦前後に施設に立ち寄っており、エスパルスドリームプラザが22.8%と最も高い。
- 年齢が高くなればなるほど、立ち寄らない割合が高くなる。

	エスパルスドリームプラザ	清水魚市場 河岸の市	ベイドリーム清水	その他清水駅周辺の商業、飲食店舗	静岡駅周辺の商業、飲食店舗	三保松原	その他	立ち寄っていない・立ち寄らない	無回答
全年代 (n=7705)	22.8%	7.4%	3.4%	13.0%	11.4%	0.4%	6.6%	34.9%	0.0%
10代以下 (n=363)	26.2%	2.8%	4.1%	9.1%	8.0%	0.3%	5.8%	43.8%	0.0%
20代 (n=1272)	23.6%	10.6%	3.4%	12.7%	12.4%	0.5%	3.9%	32.9%	0.0%
30代 (n=1555)	24.2%	8.0%	3.7%	14.4%	12.9%	0.3%	5.0%	31.5%	0.0%
40代 (n=2063)	23.8%	7.2%	3.5%	12.9%	11.7%	0.4%	7.6%	32.9%	0.0%
50代 (n=1678)	22.6%	7.3%	3.1%	11.9%	11.1%	0.3%	8.8%	34.9%	0.0%
60代 (n=630)	16.3%	4.0%	3.0%	15.2%	8.9%	0.2%	7.8%	44.6%	0.0%
70代 (n=144)	11.1%	4.2%	2.1%	12.5%	6.9%	0.7%	6.9%	55.6%	0.0%
全地域 (n=7705)	22.8%	7.4%	3.4%	13.0%	11.4%	0.4%	6.6%	34.9%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	13.4%	2.3%	3.7%	13.4%	9.8%	0.1%	8.1%	49.2%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	30.7%	6.0%	4.9%	12.6%	7.6%	0.2%	6.3%	31.7%	0.0%
その他 (n=2452)	28.6%	15.2%	1.7%	12.6%	16.8%	0.9%	5.1%	19.2%	0.0%

応援するチーム別立ち寄った施設、立ち寄る施設

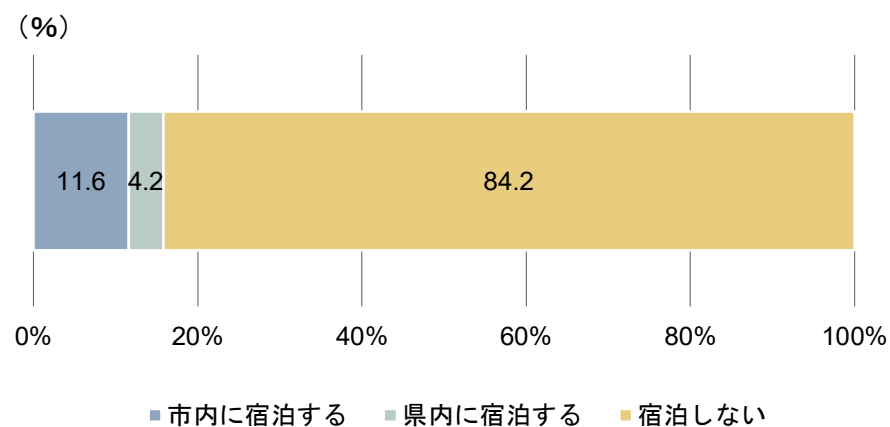
- 立ち寄った施設をみると、立ち寄らないが34.9%と最も高い。
- アウェーチーム応援者は、「清水魚市場河岸の市」が23.8%と最も高い。

○観戦前に立ち寄った施設、観戦後に立ち寄る施設 (n = 7,705)



設問 1 4

IAIスタジアムで観戦する際は県内や市内に宿泊しますか。
(SA：単一回答)



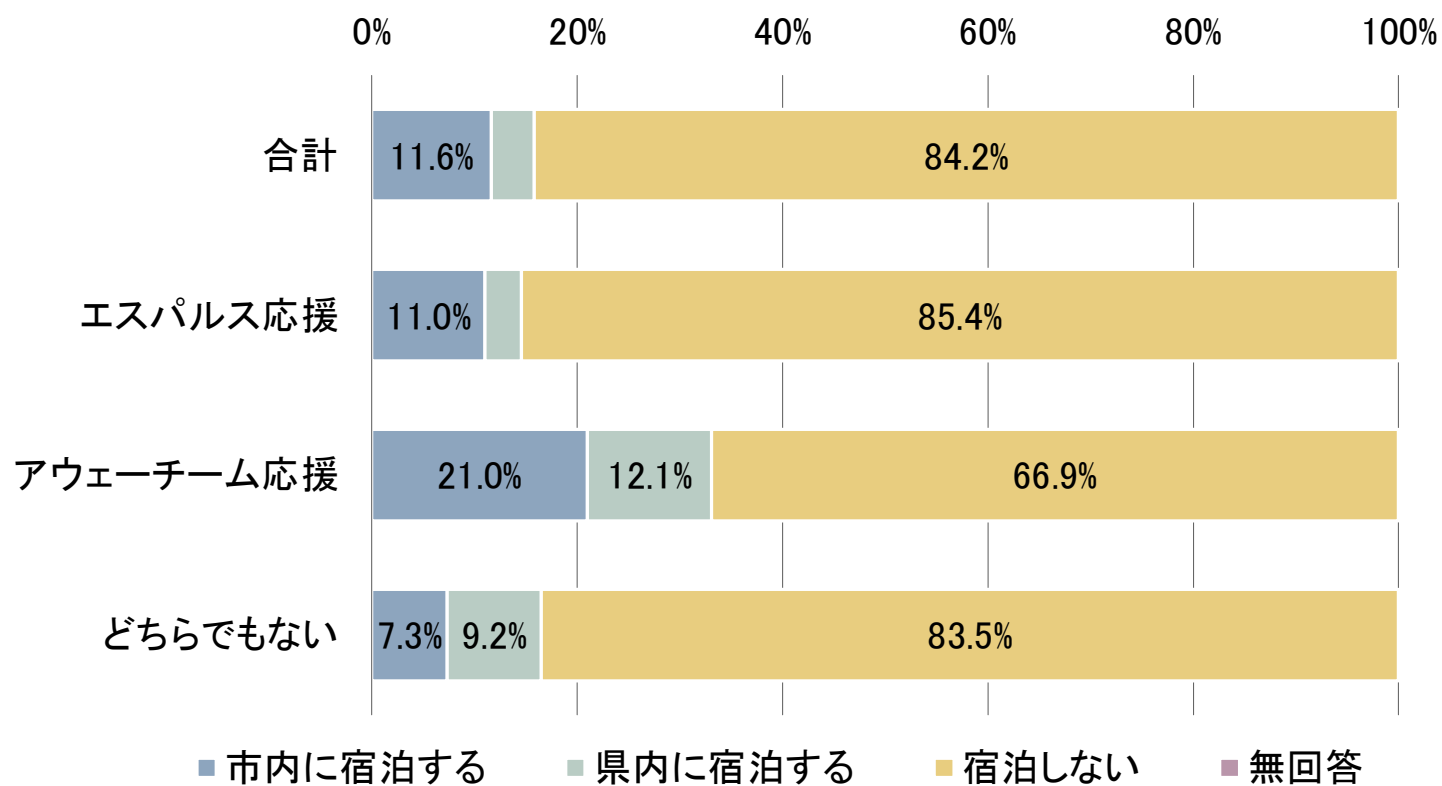
- IAIスタジアムで観戦する際、県内や市内で宿泊する人は約15%である。
- 特に、県外を含めたその他では、市内に宿泊する人が約30%である。

	市内に宿泊する	県内に宿泊する	宿泊しない	無回答
全年代 (n=7705)	11.6%	4.2%	84.2%	0.0%
10代以下 (n=363)	9.4%	3.6%	87.1%	0.0%
20代 (n=1272)	13.0%	6.2%	80.8%	0.0%
30代 (n=1555)	14.7%	5.0%	80.4%	0.0%
40代 (n=2063)	12.5%	4.1%	83.5%	0.0%
50代 (n=1678)	9.6%	3.5%	86.9%	0.0%
60代 (n=630)	7.1%	1.7%	91.1%	0.0%
70代 (n=144)	4.9%	0.0%	95.1%	0.0%
全地域 (n=7705)	11.6%	4.2%	84.2%	0.0%
静岡市内 (n=3188)	3.3%	0.1%	96.7%	0.0%
静岡県内 (n=2065)	2.5%	1.5%	96.0%	0.0%
その他 (n=2452)	30.3%	11.8%	58.0%	0.0%

応援するチーム別宿泊の有無

- スタジアム観戦の際の宿泊の有無では、宿泊しない人が84.2%である。
- アウェーチームの応援者は、宿泊する人が33.1%おり、そのうち21%が市内に宿泊する。

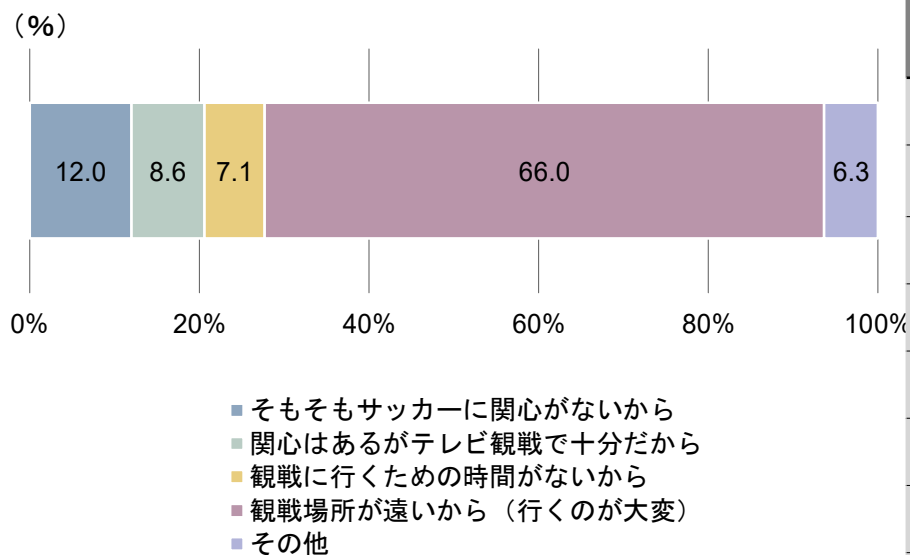
○ I A I スタジアムで観戦する際の宿泊の有無 (n=7,705)



設問15

観戦したことが無い理由はなんですか。

(SA：単一回答)



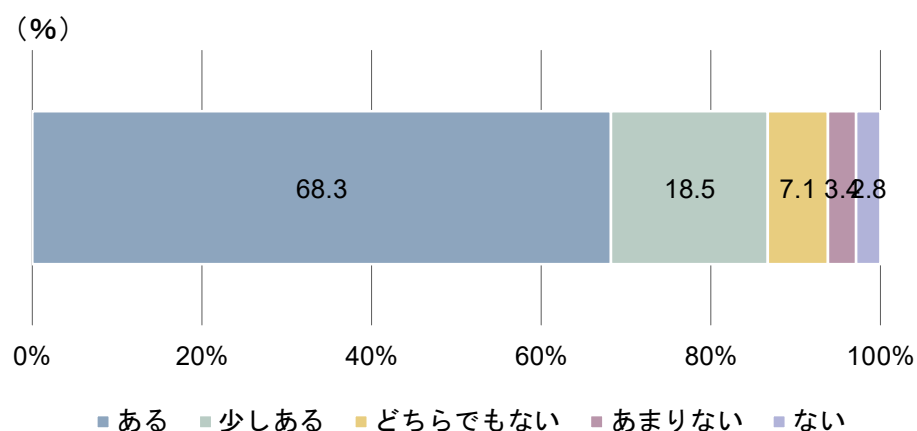
- 観戦したことがない人における観戦しない理由をみると、「観戦場所が遠いから」が66%と最も多い。
- 観戦場所が遠いからと回答した人は、40代で最も多く、次いで60代、50代である。

	そもそもサッカーに関心がないから	関心はあるがテレビ観戦で十分だから	観戦に行くための時間がないから	観戦場所が遠いから (行くのが大変)	その他	無回答
全年代 (n=350)	12.0%	8.6%	7.1%	66.0%	6.3%	0.0%
10代以下 (n=33)	21.2%	9.1%	0.0%	63.6%	6.1%	0.0%
20代 (n=65)	13.8%	6.2%	10.8%	60.0%	9.2%	0.0%
30代 (n=69)	14.5%	11.6%	5.8%	63.8%	4.3%	0.0%
40代 (n=101)	7.9%	5.0%	7.9%	72.3%	6.9%	0.0%
50代 (n=60)	10.0%	11.7%	10.0%	65.0%	3.3%	0.0%
60代 (n=20)	5.0%	15.0%	0.0%	70.0%	10.0%	0.0%
70代 (n=2)	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
全地域 (n=350)	12.0%	8.6%	7.1%	66.0%	6.3%	0.0%
静岡市内 (n=117)	29.1%	15.4%	12.8%	38.5%	4.3%	0.0%
静岡県内 (n=58)	6.9%	10.3%	6.9%	67.2%	8.6%	0.0%
その他 (n=175)	2.3%	3.4%	3.4%	84.0%	6.9%	0.0%

設問16

IAIスタジアム日本平に誇りや親しみはありますか。

(SA：単一回答)



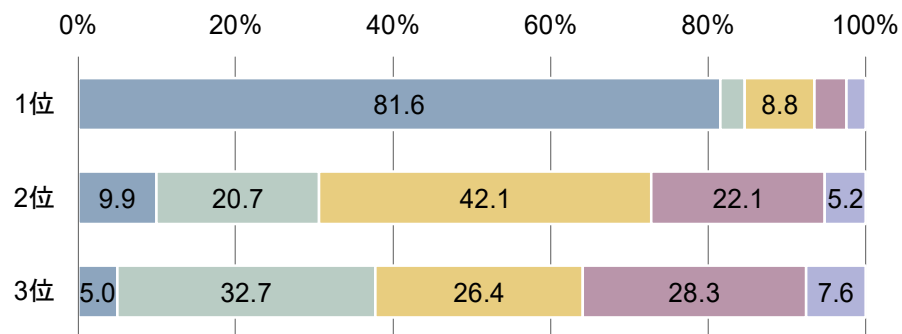
- 86.8%の人がIAIスタジアムに誇りや親しみがあると答えている。
- 年齢が高くなればなるほど、誇りや親しみがあると回答した割合が高くなる傾向がある。

	ある	少しある	どちらでもない	あまりない	ない	無回答
全年代 (n=8055)	68.3%	18.5%	7.1%	3.4%	2.8%	0.0%
10代以下 (n=396)	67.2%	16.2%	7.3%	6.1%	3.3%	0.0%
20代 (n=1337)	64.4%	20.3%	7.9%	3.8%	3.5%	0.0%
30代 (n=1624)	66.7%	19.8%	7.3%	3.5%	2.8%	0.0%
40代 (n=2164)	67.1%	19.7%	7.0%	3.2%	3.0%	0.0%
50代 (n=1738)	72.0%	16.5%	6.4%	2.5%	2.6%	0.0%
60代 (n=650)	72.6%	15.7%	6.8%	3.5%	1.4%	0.0%
70代 (n=146)	78.1%	11.6%	6.2%	2.1%	2.1%	0.0%
全地域 (n=8055)	68.3%	18.5%	7.1%	3.4%	2.8%	0.0%
静岡市内 (n=3305)	68.4%	18.6%	6.8%	3.4%	2.8%	0.0%
静岡県内 (n=2123)	72.1%	16.7%	6.1%	3.2%	1.9%	0.0%
その他 (n=2627)	65.1%	19.7%	8.1%	3.6%	3.6%	0.0%

設問17

屋根のカバー率不足を除き、IAIスタジアム日本平の課題は何だと思いますか。より課題である順番に3つ並べてください。

(MT)



- アクセス性の悪さ
- 狭い観客席
- その他
- 狭いコンコースや物販スペース
- 数の少ないトイレ

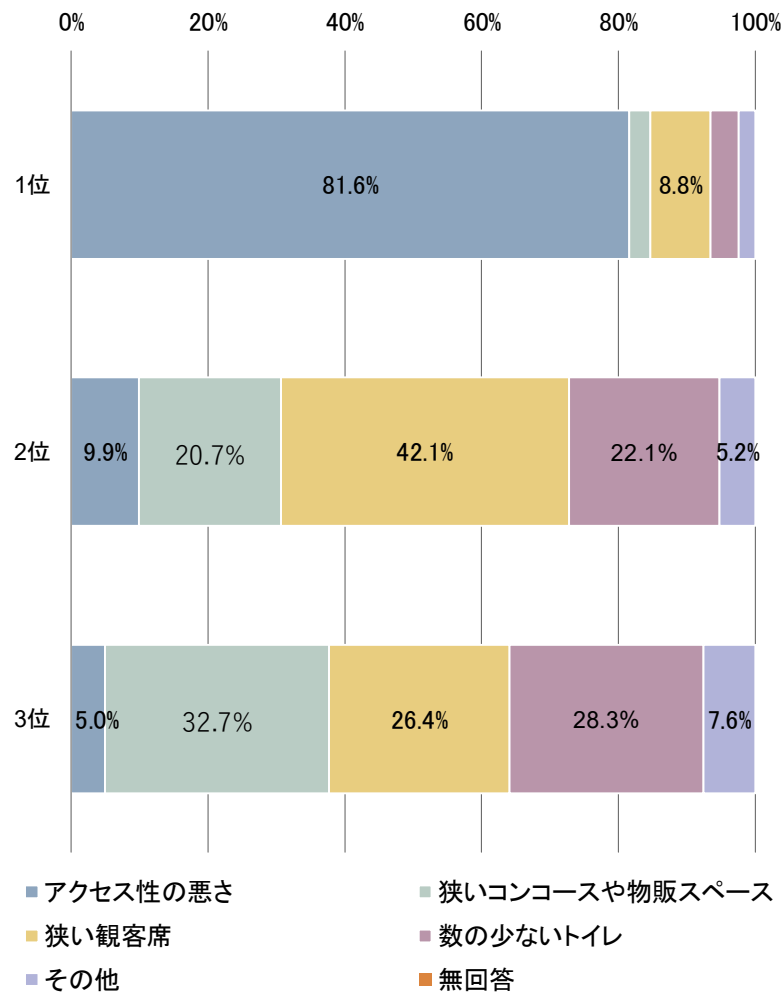
- IAIスタジアムの課題は、第一位に「アクセス性の悪さ」を挙げている人が81.6%いる。
- 関心がある人は、アクセス性の悪さ、狭い観客席、狭いコンコースや物販スペースの順に割合が高い。

		アクセス性の悪さ	狭いコンコースや物販スペース	狭い観客席	数の少ないトイレ	その他	無回答
合計 (n=8055)	1位	81.6%	3.1%	8.8%	4.1%	2.4%	0.0%
	2位	9.9%	20.7%	42.1%	22.1%	5.2%	0.0%
	3位	5.0%	32.7%	26.4%	28.3%	7.6%	0.0%
関心がある (n=7920)	1位	81.7%	3.1%	8.9%	4.0%	2.3%	0.0%
	2位	9.8%	20.8%	42.2%	21.9%	5.2%	0.0%
	3位	5.0%	32.8%	26.3%	28.3%	7.6%	0.0%
どちらでもない (n=55)	1位	89.1%	1.8%	3.6%	5.5%	0.0%	0.0%
	2位	7.3%	10.9%	41.8%	34.5%	5.5%	0.0%
	3位	3.6%	25.5%	40.0%	23.6%	7.3%	0.0%
関心がない (n=80)	1位	61.3%	3.8%	10.0%	11.2%	13.8%	0.0%
	2位	23.7%	17.5%	31.3%	26.2%	1.3%	0.0%
	3位	2.5%	28.7%	26.2%	32.5%	10.0%	0.0%

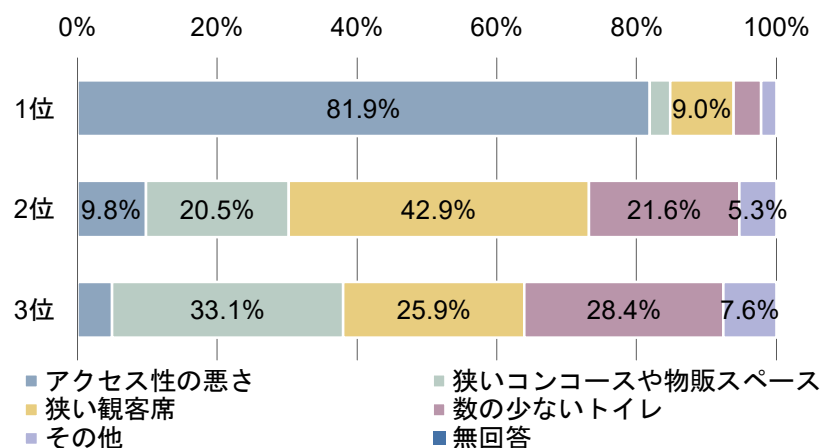
応援するチーム別、IAIスタジアム日本平の課題

- IAIスタジアム日本平の課題の順位をみると、エスパルス応援者かアウェーチーム応援者問わず、1位にアクセス性の悪さを挙げている人が多い。

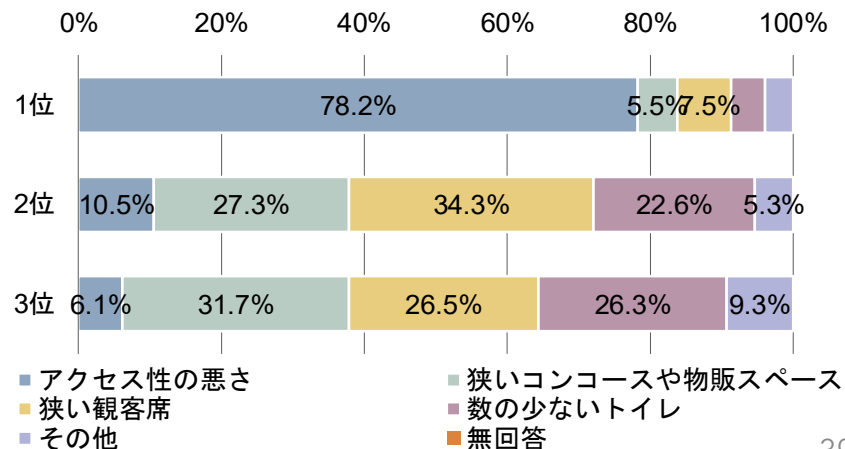
○IAIスタジアム日本平の課題 (n=8,055)



うち、エスパルス応援 (n=7,091)



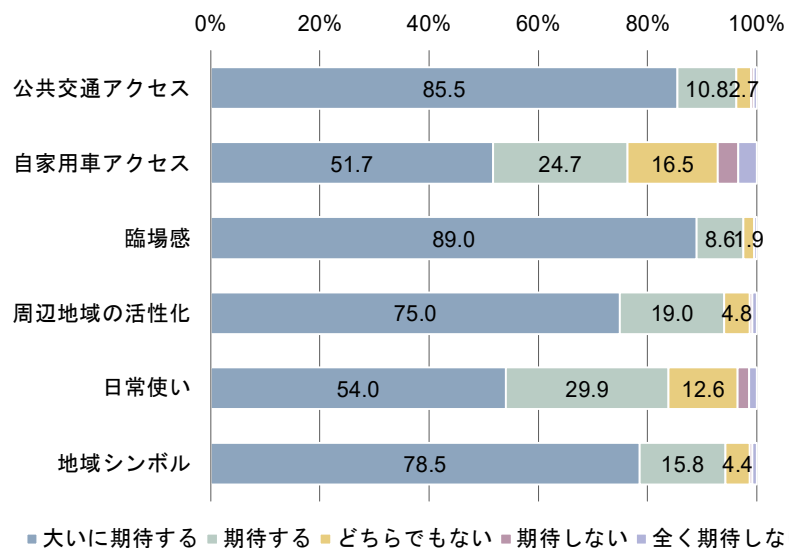
うち、アウェーチーム応援 (n=505)



設問18

もし、サッカースタジアムを新たに整備する場合、あなたが期待することは何ですか。次の各項目であなたの考えに最も近いものを選択してください。

(SA：単一回答)



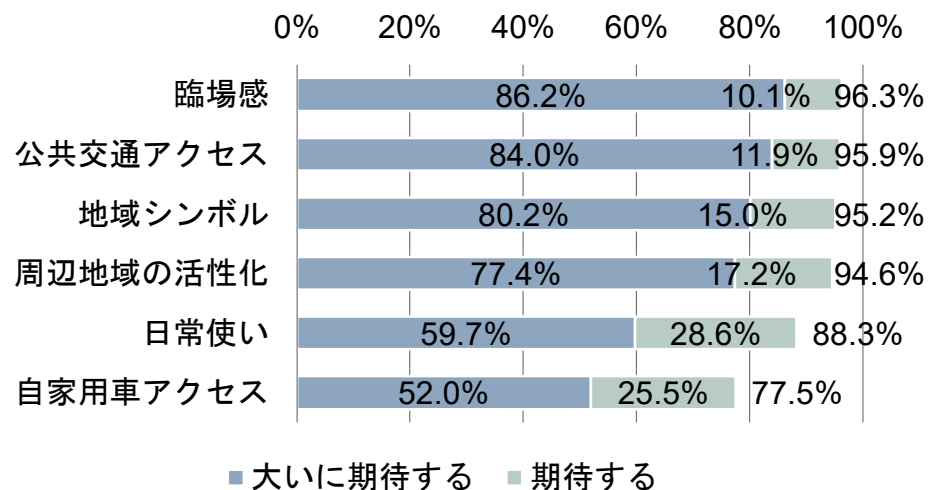
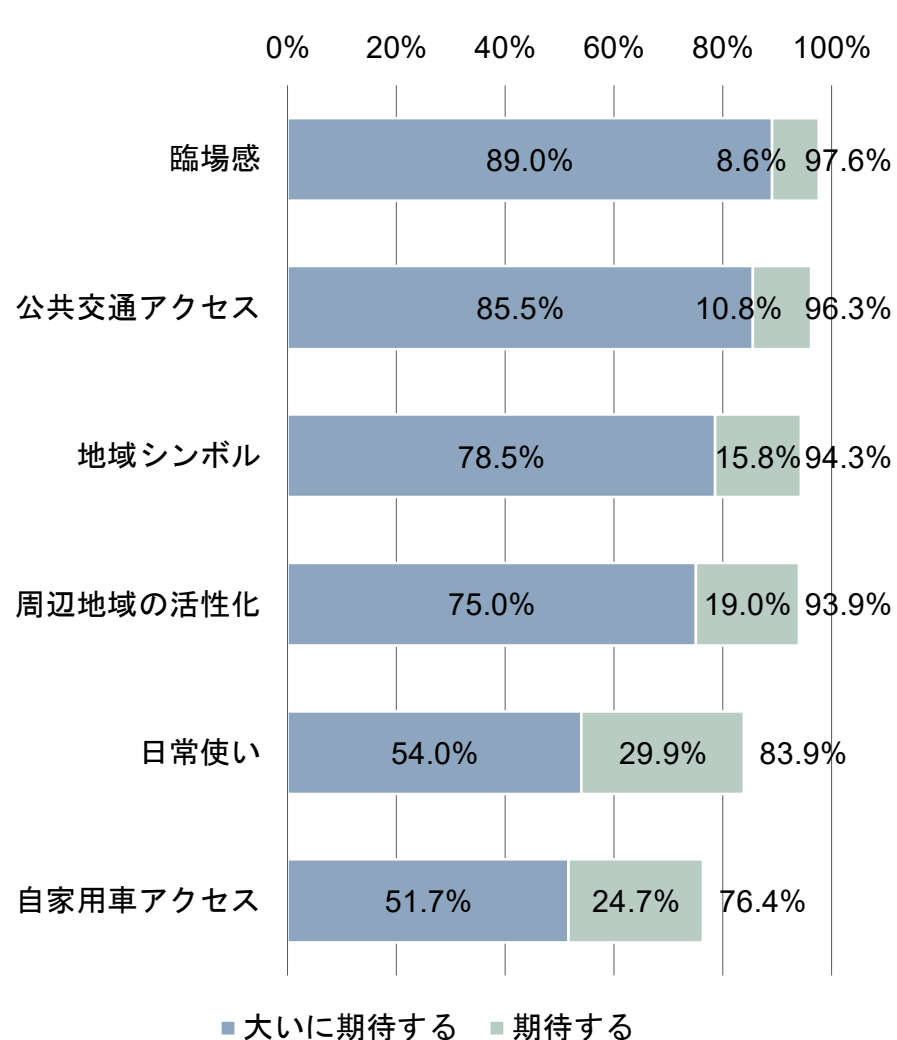
- 臨場感のほか、公共交通アクセスがよいことや、地域シンボルになるスタジアムを期待している人が多い。

		大いに期待する	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない	無回答
合計 (n=8055)	公共交通アクセス	85.5%	10.8%	2.7%	0.4%	0.6%	0.0%
	自家用車アクセス	51.7%	24.7%	16.5%	3.8%	3.4%	0.0%
	臨場感	89.0%	8.6%	1.9%	0.1%	0.4%	0.0%
	周辺地域の活性化	75.0%	19.0%	4.8%	0.4%	0.8%	0.0%
	日常使い	54.0%	29.9%	12.6%	2.1%	1.5%	0.0%
	地域シンボル	78.5%	15.8%	4.4%	0.5%	0.8%	0.0%
関心がある (n=7920)	公共交通アクセス	86.1%	10.6%	2.7%	0.3%	0.4%	0.0%
	自家用車アクセス	51.9%	24.7%	16.4%	3.8%	3.2%	0.0%
	臨場感	89.9%	8.3%	1.5%	0.1%	0.2%	0.0%
	周辺地域の活性化	75.3%	18.9%	4.7%	0.4%	0.6%	0.0%
	日常使い	54.0%	30.0%	12.6%	2.1%	1.3%	0.0%
	地域シンボル	79.1%	15.6%	4.3%	0.5%	0.6%	0.0%
どちらでもない (n=55)	公共交通アクセス	85.5%	10.8%	2.7%	0.4%	0.6%	0.0%
	自家用車アクセス	51.7%	24.7%	16.5%	3.8%	3.4%	0.0%
	臨場感	89.0%	8.6%	1.9%	0.1%	0.4%	0.0%
	周辺地域の活性化	75.0%	19.0%	4.8%	0.4%	0.8%	0.0%
	日常使い	54.0%	29.9%	12.6%	2.1%	1.5%	0.0%
	地域シンボル	78.5%	15.8%	4.4%	0.5%	0.8%	0.0%
関心がない (n=80)	公共交通アクセス	42.5%	20.0%	7.5%	10.0%	20.0%	0.0%
	自家用車アクセス	27.5%	28.7%	18.8%	3.8%	21.3%	0.0%
	臨場感	21.3%	31.3%	26.2%	2.5%	18.8%	0.0%
	周辺地域の活性化	47.5%	18.8%	12.5%	1.3%	20.0%	0.0%
	日常使い	46.3%	22.5%	12.5%	3.8%	15.0%	0.0%
	地域シンボル	41.2%	23.7%	11.2%	2.5%	21.3%	0.0%

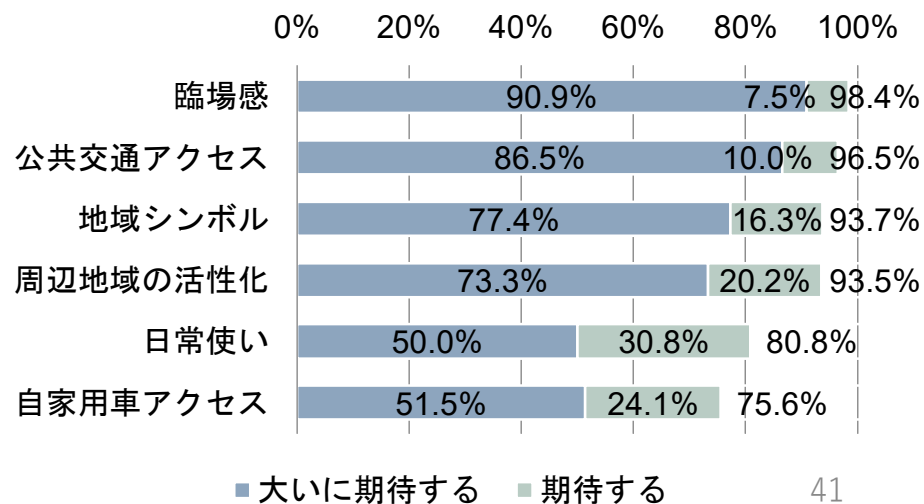
居住地別、新たなサッカースタジアムに期待すること

- スタジアム利用者全体では「公共交通のアクセス」が最も高い。
- 利用者のうち、静岡市民も静岡市民以外ともに同様の傾向である。

○新たなサッカースタジアムに期待すること（n = 8,055）のうち、静岡市民（n = 3,305）



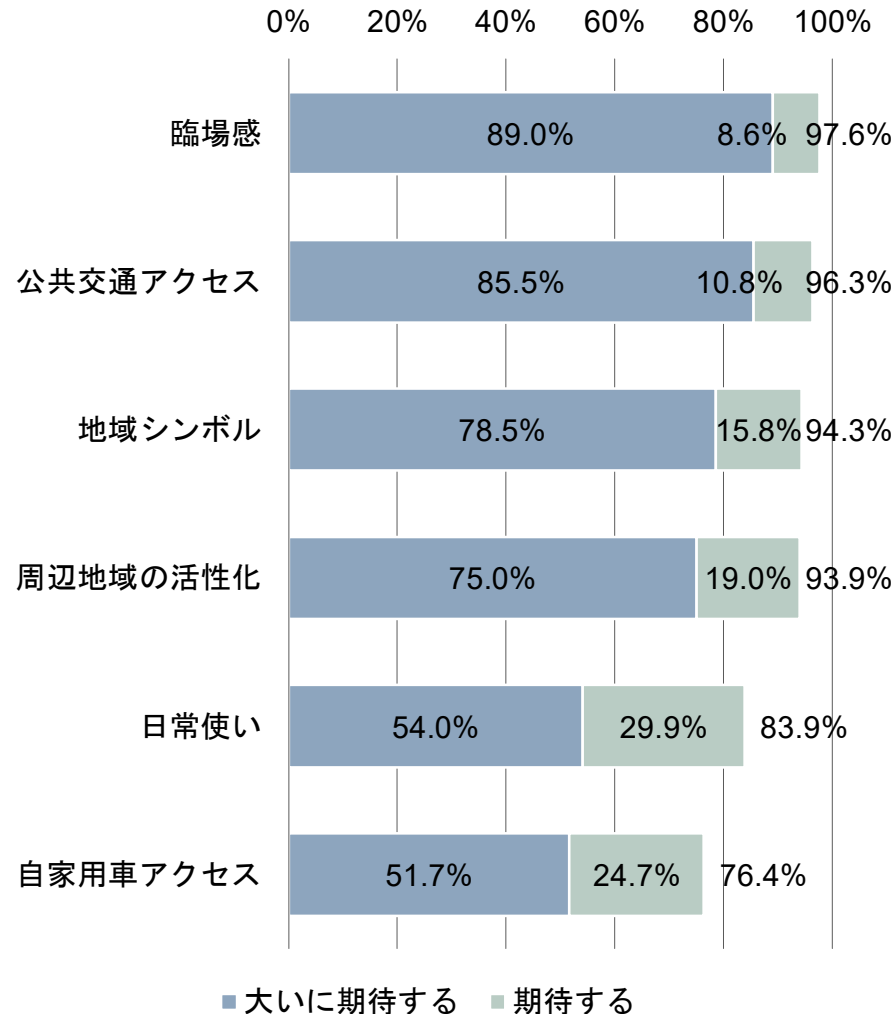
うち、静岡市民以外（n = 4,750）



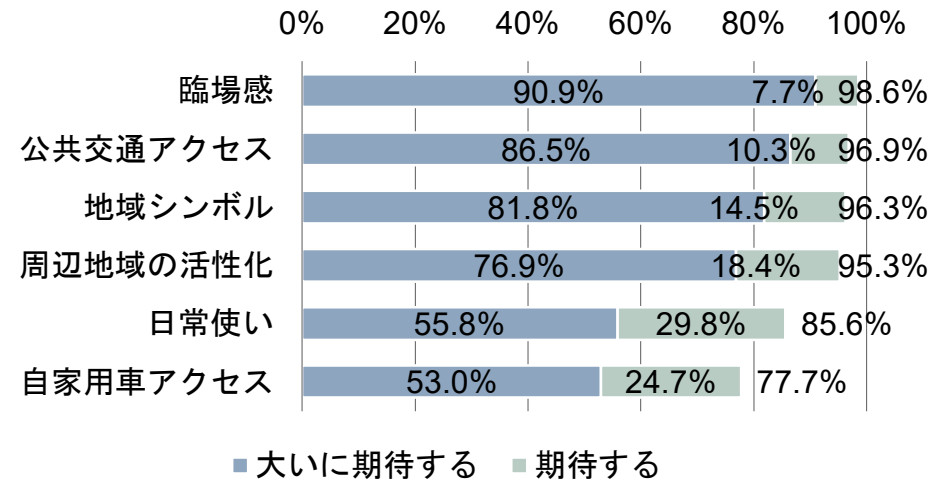
応援するチーム別、新たなサッカースタジアムに期待すること

- スタジアム整備に期待することとして、臨場感が97.6%と最も高く、次いで公共交通アクセスが96.3%である。
- エスパルス応援者は臨場感、公共交通アクセス、地域シンボルの順に高く、アウェーチーム応援者は臨場感、公共交通アクセス、周辺地域の活性化の順に高い。

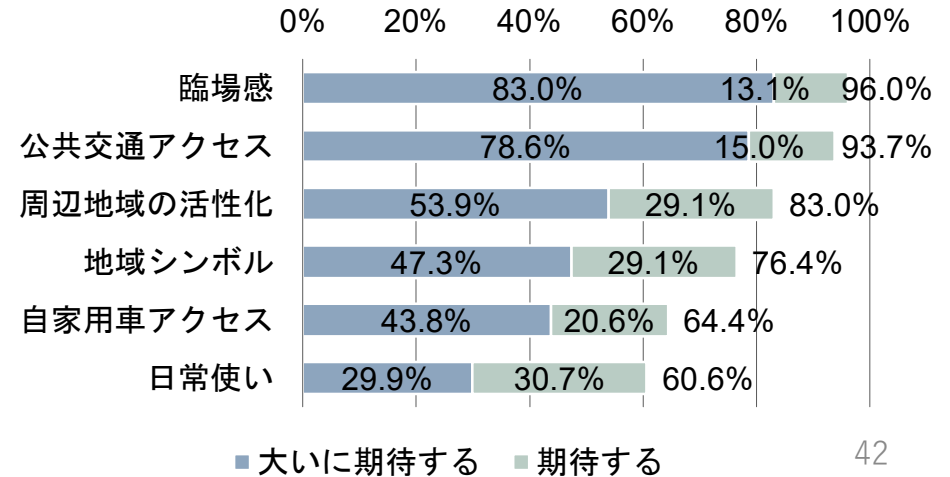
○サッカースタジアム整備に期待すること (n=8,055)



うち、エスパルスを応援 (n=7,096)



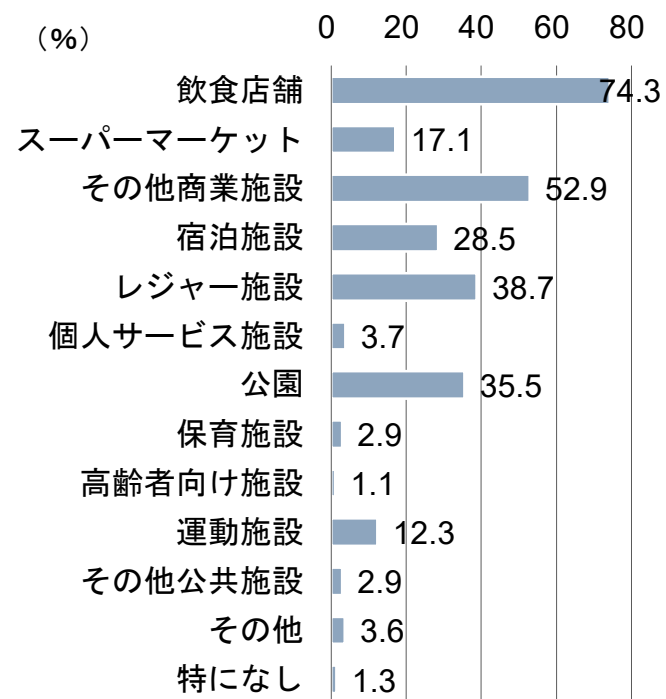
うち、アウェーチームを応援 (n=505)



設問19

スタジアム周辺にどのような店舗や施設があると、よりスタジアムやその周辺の魅力が高まると思いますか。

(最大3つまで複数回答可能) (MA: 複数選択回答)



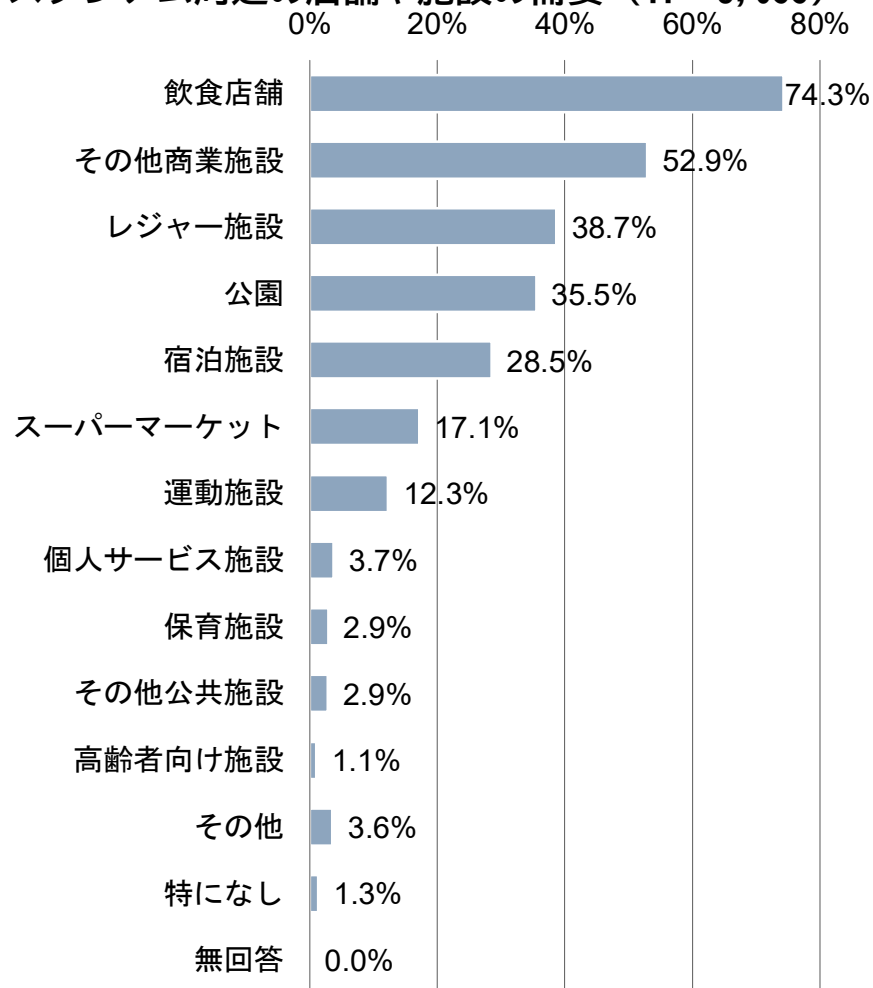
	飲食店舗	スーパーマーケット	その他商業施設	宿泊施設	レジャー施設	個人サービス施設(スポーツジムなど)	公園	保育施設	高齢者向け施設	運動施設	その他公共施設	その他	特になし	無回答
合計 (n=8055)	74.3%	17.1%	52.9%	28.5%	38.7%	3.7%	35.5%	2.9%	1.1%	12.3%	2.9%	3.6%	1.3%	0.0%
関心がある (n=7920)	74.5%	17.1%	53.1%	28.5%	38.8%	3.7%	35.6%	2.9%	1.0%	12.3%	2.8%	3.5%	1.2%	0.0%
どちらでもない (n=55)	63.6%	18.2%	52.7%	23.6%	34.5%	5.5%	38.2%	0.0%	1.8%	20.0%	7.3%	3.6%	0.0%	0.0%
関心がない (n=80)	58.7%	17.5%	32.5%	31.3%	30.0%	3.8%	27.5%	7.5%	5.0%	6.3%	5.0%	8.7%	11.2%	0.0%

- スタジアム周辺に求める店舗や施設では、「飲食店」が74.3%と最も高く、次いで「その他商業施設」、「レジャー施設」の順に高い。

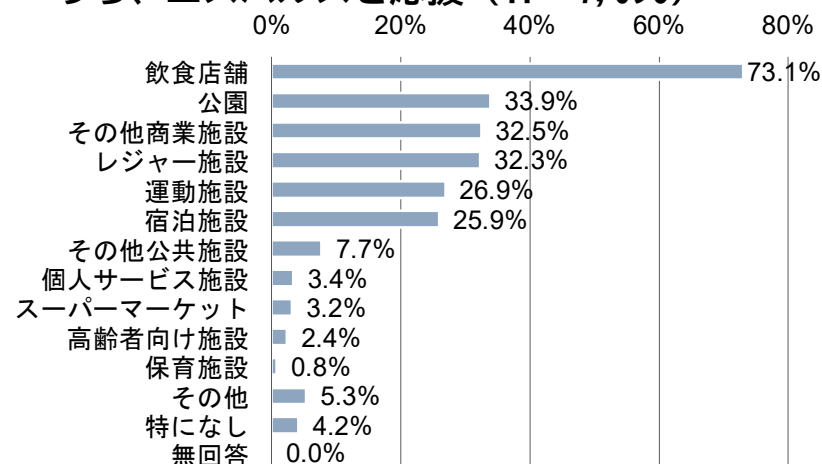
応援するチーム別、スタジアム周辺の店舗や施設の需要

- スタジアム周辺の店舗や施設の需要では、飲食店が74.3%と最も高く、次いでその他商業施設が52.9%である。
- エスパルス応援者は飲食店舗、レジャー施設、宿泊施設、アウェーチーム応援者は飲食店舗、公園、その他商業施設の順に高い。

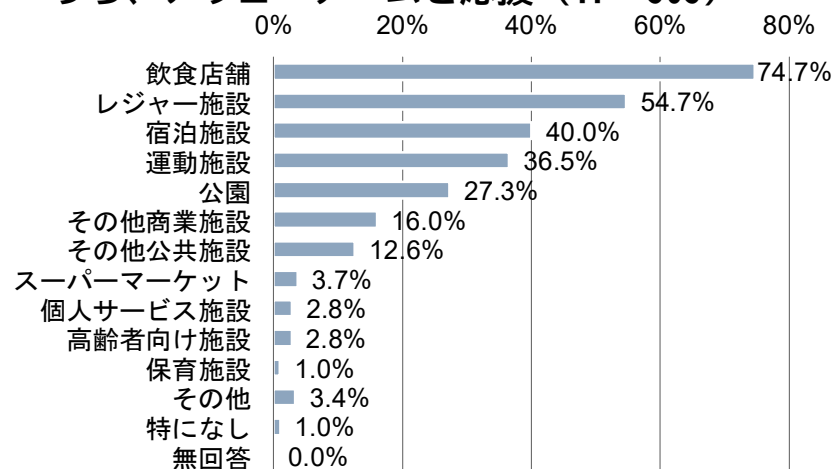
○スタジアム周辺の店舗や施設の需要 (n=8,055)



うち、エスパルスを応援 (n=7,096)



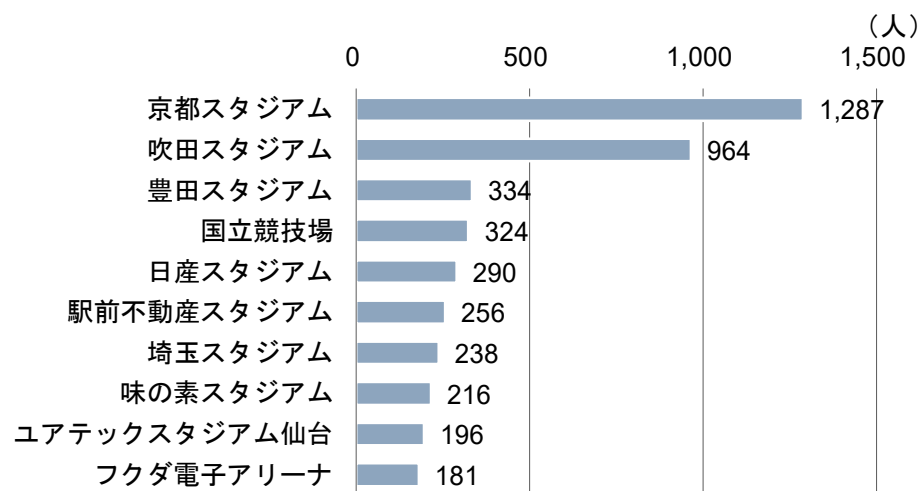
うち、アウェーチームを応援 (n=505)



設問20

I A I スタジアム日本平以外でおすすめのスタジアムがあれば教えてください。 ※スタジアム名がわからない場合はチーム名をご記入ください。

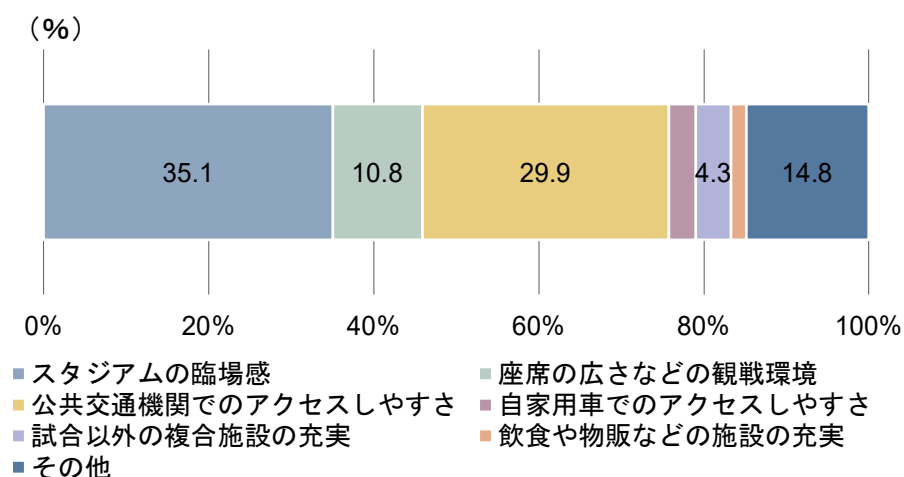
(上位10位のみ抜粋、スタジアムの判別がつかない回答はカウントせず)



(n= 6,690)

設問21

前問で回答したスタジアムをおすすめする理由について、最もあてはまるものをひとつ選択してください。(SA: 単一回答)



(n= 6,690)

- おすすめのスタジアムでは、京都スタジアムが群を抜いて高く、次いで吹田スタジアムも高い。
- おすすめする理由として、スタジアムの臨場感が35.1%、公共交通機関でのアクセスのしやすさが29.9%と高い。

■ 主な自由回答は以下のとおり。

■ 「アクセス」の良いスタジアムに関する言及は非常に多い。また臨場感あるスタジアムや地域の活性化に繋がるシンボリックなスタジアムに関する言及も見られる。

設問22

サッカースタジアムに関することでご意見があればご記入ください。(自由記述)

【アクセス】

- 公共交通機関アクセスの良さ
- アクセスの良さとトイレの充実、飲食店の充実は日本全国のスタジアムに行ってきた経験から大事だと思います。
- 清水の街の活性化のためにもぜひ駅近くのスタジアムが早急に出来ることを楽しみにしています。特に試合後の最寄り駅までのアクセスをスムーズにしてほしい。
- アイスタも悪くはありませんがアクセスという面を考えるとあの坂道は大変です。
- 市民としては自家用車で気軽に行けること、他地域からの方には交通アクセスのよさが重要な要素ではないかと思えます。

【シンボル】

- 清水のシンボルであるスタジアム。
- 「サッカーの街 清水」を体現するようなスタジアムを建設して欲しい。
- 清水のシンボルとなるようなスタジアムを希望します！
- スタジアムを整備して終わりではなく、地域全体で盛り立てるようになっていないと一過性で終わる感じになるので、まちづくりと絡めてシンボルとなるようにしてもらいたいです。
- 試合開催日以外にも人が集まり、平日でも地域住民が利用するような複合型施設を建設し清水の新たなシンボルになって欲しい。

【エスパルス】

- エスパルスの応援はとても素晴らしい。
- エスパルスのためだけでなく、多数ある学生レベルの強豪校のためにも、静岡として誇れるスタジアムを一刻も早く整備して欲しいです。
- 公共交通機関で気軽に行ける、そしてエスパルスらしいスタジアムが出来れば嬉しいです。
- 清水エスパルスのファンなのでサッカースタジアムが必要だと鼻息目で見てしまいますが、重要なのはサッカーというコンテンツだけでなく、その周辺や違う目的を持った人たちがスタジアムに向かわせる仕組み・設備・環境を創ることだと思います。
- 市外の住民なので何にも言えませんが、せっかくのエスパルスという魅力的なコンテンツを静岡市としても有効利用して共栄共存をはかれる様して下さい

【日常使い、観光】

- JRの駅から徒歩で行けるスタジアムで、試合日以外でも楽しめるエリアにしてもらいたい。
- スタジアムを利用する人たちが清水駅前銀座商店街も利用することで駅前の活気が戻ってくると思います。
- せっかく世界遺産もあり、観光に恵まれた清水にあるので、アウェイサポーターがついでに観光できるから行こうと思いやすいスタジアムであってほしい。

(件)

